

カード式日本地理

675

特71

301258-001-9

特71-675

カード式日本地理

小酒井五一郎／編

M43.7

ADB-0001



# 發行の要旨及使用法

本綴は學生諸氏が繁雜なる復習を容易にし、記憶力を増進せしめんが爲に。従来の類書と異りたる新形式を以て編輯せられたるものなり。蓋力下式の便利は何人も認むる所なれども、未だ各學科に用れるものなきを遺憾とし、多年教授に經驗ある各専門大家に執筆を請ひ、綴り方に就き幾多の新工風を凝らしたるもの即ち本綴なりとす。是れが使用法等に就きては、使用者自ら便宜の方法を執るべきも試みに其一二の例を示さん。

一 使用者は、カード表面の略表に依りて、其事を答へ、後裏面を見て答の正否を檢すべし。

一 右の方法に依り、毎日カードの數を定めて順序に復習し、記憶し終はりたる物は位置を換へ、記憶し難き物は残し置きて更に復習すべし。

一 又各學科中より、特に復習せんとする部分又は記憶し難きもの、みを蒐めて練習するも一方法なり。

一 斯くして記憶し得たらば、左欄の参考問題につき更に練習を試むべし。答案はカード中にて解するを得ん。

一 一學科の全體を通過せんと欲せば、カードの裏面のみを見るべし。疑問あらば索引に依りて同じくカードの裏面を見、直に氷解すべし。

一 各教科書中の事項は網羅したれども尙數學に於ける問題の如き遺漏は使用者自らカードを製し、充分に補足して、完全のものとなせらるべし。

一 右の便利を計らん爲、本社に於て、同形同質の紙に罫を引き、穴を穿ち實費を以て發賣せり。

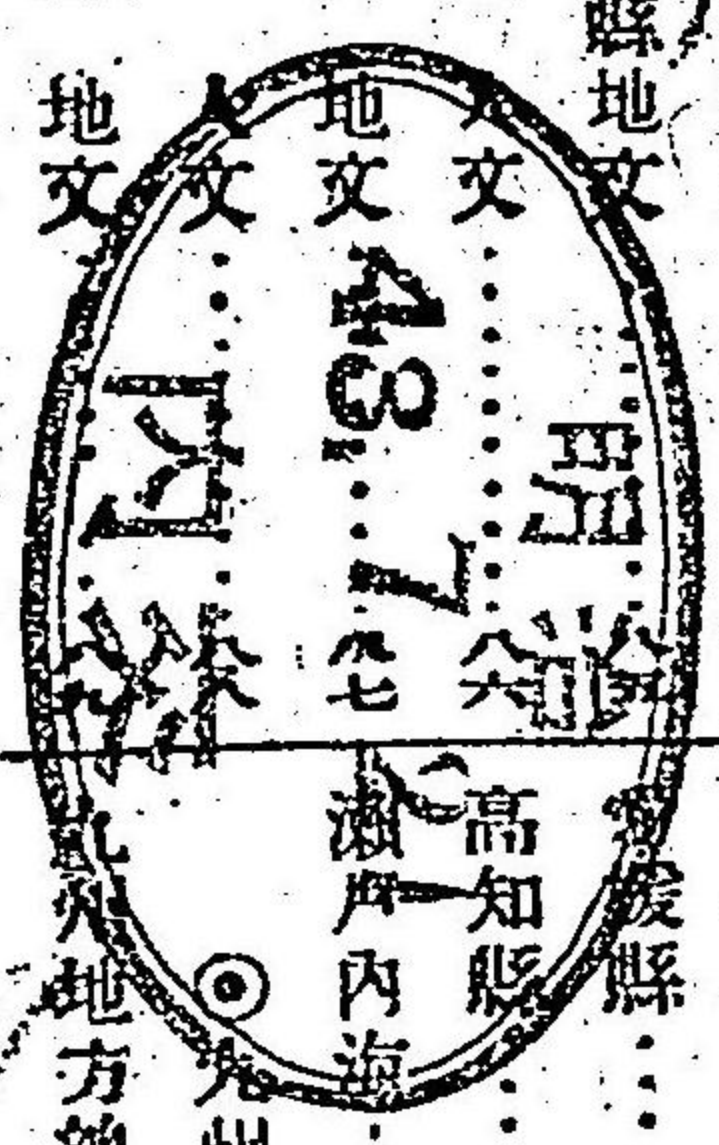
(實用新案登録一一六五一號)

特別  
675

## カード式日本地理下綴目次

下綴カード番號ハ七十一號ヨリ始マル

近畿地方	全	近畿地方總論(1) 山系	全	中國地方	全
		(2) 水系	全	中國地方總論	全
		(3) 平野海岸	全	鳥取縣	全
		(4) 人文	全	島根縣	全
滋賀縣	全	滋賀縣 地文	全	岡山縣	全
三重縣	全	三重縣 地文	全	廣島縣	全
京都府	全	京都府 地文	全	山口縣	全
		物産交通	全	四國地方	全
奈良縣	全	奈良縣 地文	全	四國地方總論	全
		人文	全	德島縣	全
和歌山縣	全	和歌山縣 地文	全	香川縣	全
		人文	全	高知縣	全
大阪府	全	大阪府 地文	全	瀨戶内海	全
		人文	全	九州地方	全
兵庫縣	全	兵庫縣 地文	全	九州地方總論(1) 海岸	全



カ下式日本地理下綴 目次終

全	(2) 山系水系……………二〇七	全	(2) 氣候ト人文……………二二五
全	(3) 氣候人文……………二〇八	全	政治ト都會……………二二六
福岡縣	總論……………二〇九	全	都會……………二二七
全	交通線ト都會……………二一〇	◎北海道地方	
全	都會……………二一一	北海道總論(1) 地形……………二一六	
佐賀縣	總論……………二一二	全	(2) 氣候物産……………二二九
長崎縣	總論……………二一三	全	(3) 人文……………二三〇
全	都會……………二一四	全	(1) 都會……………二三一
熊本縣	總論……………二一五	全	(2) 都會……………二三二
全	都會……………二一六	◎樺太南部	
大分縣	總論……………二一七	樺太南部地文……………二二三	
宮崎縣	總論……………二一八	全	人文……………二三四
全	都會……………二一九	◎概括	
鹿兒島縣總論(1) 地文……………二二〇	概括(1) 住民……………二二五		
全	(2) 氣候人文……………二二二	全	(2) 政治ト軍備……………二二六
全	都會……………二二三	全	(3) 條約國ト開港場……………二二七
沖繩縣	總論……………二二四	全	(4) 日本近海……………二二八
◎臺灣地方		全	(5) 教育……………二二九
臺灣總論(1) 地文……………二二五		全	(6) 物産……………二三〇

近畿(1)

- 一 位置及ビ區劃
- 二 地形
  - 山系
  - 水系
- 三 平野
- 四 海岸
- 五 交通

(日本地理七一)

參考問題

- 一 近畿地方ノ位置ニツキテ記セ
- 二 區劃ハ如何
- 三 何故ニ近畿地方ト稱スルカ
- 四 畿内トハ如何
- 五 此ノ地方ヲ道分ケニ分チ見ヨ
- 六 此ノ地方ノ地形ノ特徴ハ何レニアルカ
- 七 斷層山脈トハ何ゾ
- 八 其ノ適例二三ヲ示セ
- 九 琵琶湖及淀川ノ低地帶ヲ界トシテ地形ヲ分テ
- 〇 丹波高原ノ特性ヲ舉ゲヨ
- 一 斷層山脈トハ何ゾ
- 二 笠置山脈ヲ説明セヨ
- 三 近畿地方ニ於テ名高キ關址ヲ記セ
- 四 紀伊山脈ニツキテ記セ
- 五 吉野群山ニツキテ記セ

近畿地方 (1) (日本地理七一)

一 位置及ビ區劃 本州ノ中央部ニ當リ、南北ヨリ伊勢若狹ノ二大灣入り來リ、恰モ地峽ノ如キ觀アリ、此ノ狹キ地峽ヨリ西南一帯ノ地域ヲ占メ、京都大阪ノ二府、滋賀奈良三重和歌山兵庫ノ五縣ヨリ成ル。

二 地形

山系 此地方ハ我國ニテ地變ノ最モ甚ダシカリシ地ニテ、各所ニ斷層作用起リテ盆地ヲ作り、其ノ殘壘ハ所謂斷層山脈ナリ。  
 陷落地帯ハ東ハ琵琶湖ニ起リ、淀川トナリ大阪灣ヨリ延ビテ瀬戸内海ニ連續スルモノニテ瀬戸内地溝帶トイフ。此ノ地溝帶ヲ界トシテ西北ノ一帯ハ所謂丹波高原ニシテ、立派ニ高原ノ特質ヲ有シ、四周ノ平原ニ臨ミテハ山脈ヲナセドモ内地ニハ峻峯ヲ見ズ、中國山脈ノ東端ニ當リ大江山大悲山等聞ユ。地溝帶ノ東南ニハ東ニ伊吹山脈、鈴鹿山脈アリ不破ノ關址ヲ以テ其ノ界トス。鈴鹿山脈ト平行シテ西ニ笠置山脈アリ、滋賀縣ノ南部ニ起リ笠置山トナリ奈良ノ中央ニ至ル。河内大和ノ國境ヲ縱走スルモノハ葛城山脈ニシテ金剛山ヲ其ノ主峯トス。紀伊ト河内和泉ノ國境ヲ東西ニ走ルハ和泉山脈ナリ。  
 櫛田川及吉野川以南ノ地ハ所謂紀伊山系ニシテ、東西ニ走ル數列ノ山脈ヨリナル。西ハ四國山脈ニ連ナリ、東ハ志摩半島渥美半島ヲ經テ赤石山脈ニ亘リ、到ル所山岳重疊、高山ノ特色ヲ有ス、特ニ奈良縣吉野郡ニテ甚ダシ、世ニ吉野群山ト稱ス。

近畿(2) 地形 山系 水系

(日本地理七二)

〇九八七六五四三二一〇九八七六五四三二一

參考問題

- 由良川ニツキテ記セ
- 丹波高原ノ河流ニツキテ記セ
- 其ノ不規則ナルハ何故ナルカ
- 琵琶湖ノ成因ニツキテ記セ
- 琵琶湖ニ流入スル河流ニツキテ記セ
- 何ニヨリテ其ヲ證スルカ
- 琵琶湖ノ性質ヲ考ヘヨ
- 宇治川ノ如何ナル地ニアルカ
- 淀川トハ如何ナル地ニアルカ
- 保津川ノ如何ナル地ニアルカ
- 山崎川ノ如何ナル地ニアルカ
- 三角洲トハ如何ナル地ニアルカ
- 淀川ノ下流ニツキテ記セ
- 大和川ノ下流ニツキテ記セ
- 横谷ト縦谷トナリテ如何ナルカ
- 其ノ適例ニツキテ記セ
- 伊勢川ノ如何ナル地ニアルカ
- 紀伊川ノ如何ナル地ニアルカ
- 熊野川ノ如何ナル地ニアルカ
- 熊野川ノ如何ナル地ニアルカ
- 横谷ニ奇景多キハ何故ナルカ
- 日本略圖ヲ畫キ次ノ事項ヲ記入セヨ (三十五年)
- 士官校
- 信濃川
- 利根川
- 木曾川
- 淀川
- 筑後川

近畿地方 (2) (日本地理七二)

水系 丹波高原ニテハ山脈ノ走向不規則ナルガタメ  
 河流モ隨テ不規則ニシテ、由良川ノ如ク大屈曲ヲナ  
 シ舞鶴灣ニ注ク、南流スルモノハ保津川ニシテ山城  
 ニ入りテ桂川トナル。琵琶湖ハ陥底地帯ノ一部ニ水  
 ナ湛ヘタルモノニテ、其形琵琶ニ類セルガ故ニ此ノ  
 名アリ、周圍六十里本邦第一ノ大湖ニテ、最深ハ竹  
 生島ノ南ニアリ。此ニ注ク河流ノ重ナルモノニハ、  
 東ニ姉川、愛知川、野洲川、西ニ安曇川アリ、湖水  
 ノ水ハ流レテ宇治川トナリ、淀ニテ淀川ト稱セラレ、  
 山崎八幡ノ峽路ヲ過ギ、大阪平野ニ出テ大三角洲ヲ  
 ナシテ大阪灣ニ入ル。其ノ分流上ニ大阪市アリ、日  
 本ノ水市ノ稱アル、故ナキニアラス。支流ニ伊賀ヨ  
 リ來ル木津川アリ淀ニテ合ス。  
 大和盆地ノ水ヲ集メテ西流スルモノハ大和川ニシ  
 テ、葛城山脈ヲ横ギリテ大阪平野ニ出テ大阪灣ニ注  
 グ、淀川ト共ニ大阪平野ヲ作ル。  
 東方伊勢海ニ注クモノニハ雲出川、櫛田川、宮川等  
 アリ、何レモ山脈ノ主軸ノ間ヲ流ル、縦谷ノ適例ナ  
 リ。櫛田川ト相對シテ西流スル吉野川ハ、紀伊ニ入  
 リテ紀ノ川トナリ、和歌山市附近ニテ海ニ注ク。其  
 他南方ノ有田川、日高川等皆縦谷ニ屬ス。  
 吉野群山ノ水ヲ集メテ南流スル十津川、北山川ハ相  
 合シテ熊野川トナリ、新宮ニテ熊野浦ニ注ク、有名  
 ナル峽谷ヲナシ、兩岸ニ平野ナク奇景甚ダ多シ、此  
 レ横谷ノ適例ニシテ吉野材ヲ流ス外殆ント舟楫ノ便  
 ナシ。

八七六五四三二一〇九八七六五四三二一

近畿地方ノ盆地ヲ擧ゲヨ  
 其ノ成因ハ如何  
 盆地ト山脈トノ關係ニツキテ記セ  
 近畿地方ノ近江盆地トノ關係ヲ問フ  
 琵琶湖地方ニテ平野多キハ何レノ地方ナルカ  
 近畿地方ニツキテ略述セヨ  
 海岸ト太平洋海岸トナ比較セヨ  
 日本内海ト伊勢海トナ比較セヨ  
 瀬戸内海ト伊勢海トナ比較セヨ  
 重ナル半島及ビ海峽ヲ記セ  
 リアル式海峽ニツキテ記セ  
 何放ニカ、野ノ海岸ニツキテ記セ  
 海岸ト平野トノ配合ニツキテ記セ  
 潮岬及ビ大島ニツキテ記セ  
 淡路海峽ハ軍事上如何ナル地位ニアルカ  
 大阪灣ニツキテ記セ  
 日本海海岸ノ防禦ニツキテ語レ  
 日本全國ヲ描キ本州ト諸島トノ間ニアル諸海峽  
 ノ名ヲ記セ(三十五年機關校)

參考問題

近畿 (3)

三 平野  
 四 海岸

(日本地理七三)

近畿地方 (3) (日本地理七三)

三 平野 近江盆地、京都盆地、大和盆地等小盆地多シ、此等ノ平野ハ皆土地ノ陥落ニヨリテ成レルモノニテ、近江盆地ハ低所ニ尙ホ水ヲ湛フ。此ノ他大阪灣ニ沿ミテハ大阪平野アリテ淀川大和川ニヨリテ灌溉セラレ、伊勢海ニ臨ミテハ狭長キ海岸平野アリ、丹波高原紀伊山原ノ地方ニハ平野ナク山岳重疊ス。

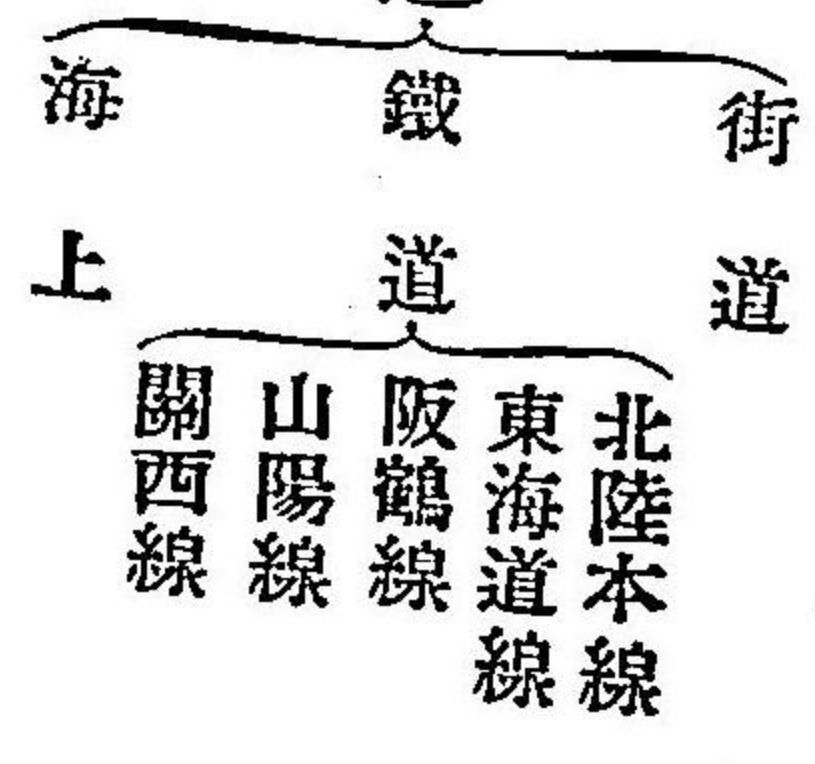
四 海岸 日本海沿岸地方ニハ經ケ崎半島舞鶴灣入アリ、沿岸平野極メテ少ク丘陵直チニ海ニ逼ル。伊勢海ハ平滑ナル海岸ニシテ淺ケレドモ四日市港ノ如キ良港アリ、志摩ノ海岸ハ出入多ク小絶壁海ニ臨ミ鳥羽的矢灣ノ港灣アリ、其ノ南端大王崎ヲ巡レハ名高キ熊野灘トナル。

紀伊國海岸ハ出入鋸齒ノ如ク所謂リアス式海岸ノ特色ヲ有シ、海岸毫モ平原ナク、交通甚タ不便ナリ、岬ハ本州ノ最南端ニシテ波浪荒レテ舟行困難ナリ。日ノ御崎ト四國ノ蒲生田岬トノ間ヲ紀伊水道ト云ヒ其ノ北ニ淡路島横ハリ瀬戸内海ヲ閉セリ。其ノ東ナル海峽ハ由良海峽ニシテ西ナルハ鳴門海峽ナリ。由良海峽ハ大阪灣ノ門戶ヲナシ船舶ノ出入極メテ多ク、軍事交通上重要地點ナリ。淡路島ハ瀬戸内海ニ横ハリテ大阪灣ト播磨灘トヲ分チ、其ノ北端ノ海峽ヲ明石海峽トナス。

大阪灣ハ深度深カラズ、沿岸大阪神戸等ノ良港アリ、播磨灘ニ至レバ沿岸平滑ニシテ出入少シ。

近畿(4) 五 交通

(日本地理七四)



參考問題

- 一 交通線路ト地形トノ關係ニツキテ記セ
- 二 街道ノ中心ニツキテ記セ
- 三 京都ヨリ四通スル重ナル街道ニツキテ述ベヨ
- 四 東海道中仙道北陸道ニツキテ記セ
- 五 ソレ等ノ街道ノ通路ニ當ル重ナル關所ヲ舉ゲヨ
- 六 鐵道ノ中心ハ何レナルカ
- 七 東海道線ニツキテ記セ
- 八 山陽線ニツキテ記セ
- 九 關西線ニツキテ記セ
- 〇 鐵道ノ分布ニツキテ考ヘヨ
- 一 丹波高原及ビ紀伊半島ニ鐵道少キハ何故カ
- 二 海上ノ交通ニツキテ記セ
- 三 其ノ中心ハ何レニアルカ

近畿地方 (4) (日本地理七四)

五 交通 古來久シク帝都ノ地ナリシカバ交通大ニ發達ス。

街道 京ヨリ東、逢阪關ヲ越ヘ草津ニテ中山道ト分レ鈴鹿峠ニ向ヒ、伊勢ニ入り、尾張ヲ經テ江戸ニ至ルモノハ東海道ニシテ、草津ヨリ北行シ彦根關ケ原岐阜ヲ經テ木曾ニ入ルモノハ中仙道ナリ。北陸街道ハ彦根ヨリ北進シ木芽峠ヲ越エテ越前ニ入り、中國街道ハ淀川ニ從フテ下リ大阪兵庫姫路等ヲ經テ西下ス。

鐵道

北陸本線(米原ヨリ北陸道ニ入り泊ニ至ル)

東海道本線(新橋—京都—神戸)

阪鶴線(神崎—新舞鶴)

山陽線(神戶—下ノ關)

播但線(飾磨—城崎)

關西本線(名古屋—奈良—湊町)

參宮線(龜山—山田)

草津線(柘植—草津)

奈良線(京都—木津)

關西線 櫻ノ宮線(木津—網島—櫻ノ宮)

櫻井線(奈良—高田)

和歌山線(天王子—和歌山)

海上ノ交通モ甚ダ便利ニシテ大阪神戸ハ本邦西部海上交通ノ中心タリ。

(日本地理七五)

滋賀縣(1)

- 一 位置及ビ境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

參考問題

- 一 本縣ノ位置ニツキテ記セ
- 二 地形ノ大體ヲ語レ
- 三 盆地ノ成因ニツキテ記セ
- 四 近江ノ山脈ニツキテ記セ
- 五 ソノ山脈ノ特徵如何ヲ語レ
- 六 交通ノ見タル琵琶湖ヲ語レ
- 七 湖ノ南西兩岸ヲ比較セヨ
- 八 京都ニ對スル關係ヲ記セ
- 九 關西ニ出ヅル有名ナル峠ヲ記セ
- 一〇 關所ニツキテ知ル所アルカ
- 一一 湖沼ヨリ流レ出ツル河流ニツキテ記セ
- 一二 竹生島ニツキテ記セ
- 一三 左ノ縣ノ縣廳所在ノ國名及ビ地名ヲ問フ(三十)
- 一四 六年幼(年校)
- 一五 神奈川縣 茨城縣 群馬縣 愛知縣 三重縣
- 一六 滋賀縣 宮崎縣 兵庫縣 香川縣
- 一七 我邦ニ於ケル縣廳名ト所在地名ノ異ナル縣廳名トヲ擧ゲ且ツ管轄國名ノ大略ヲ記セヨ(三十八年士官校)

滋賀縣

(1) (日本地理七五)

一 位置及ビ境界 若狹灣伊勢海ノ中間ニ位シ、北ハ福井縣ニ、東ハ岐阜三重ノ二縣ニ、南ヨリ西ニカケテ京都府ニ界ス。

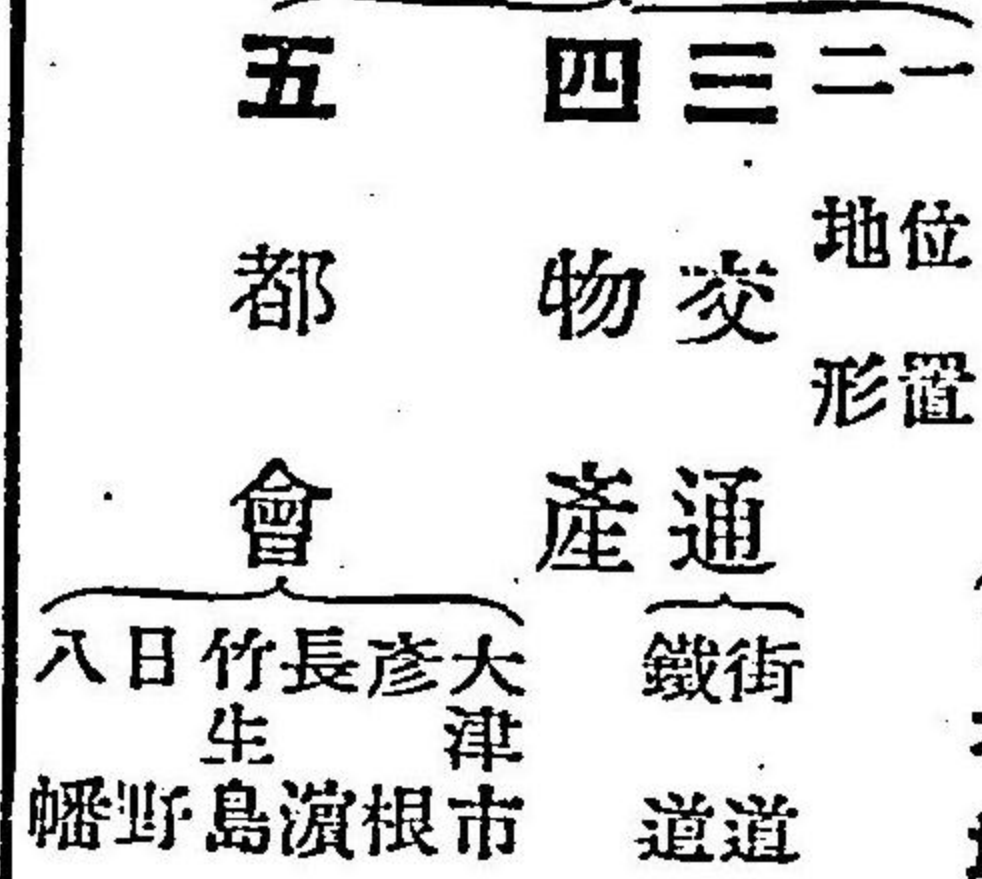
二 地形 近江盆地ニ琵琶湖アリ、其ノ形琵琶ニ酷似セルヨリ此ノ名アリ、周圍六十里、本邦最大ノ湖水タリ、湖上汽船ノ往來繁ク、彦根、長濱、竹生島、今津、大津等ノ要津アリ。沿岸至ル所風光絶佳ニシテ世ニ稱シテ近江八景トイフ。蜀山人ノ歌ニ

のせたからさきは粟津かたゝのかこ、

石山比良やはせらして三井

東岸ハ平野廣ク、河流ハ土砂ヲ運ビテ次第ニ湖水ヲ埋ム、西ニハ安曇川アリ川口小平原ヲナス。湖水ノ溢レタル瀬田川ハ、山城ニ入りテ宇治川トナリ、遂ニ淀川ニ注グ。盆地ノ周圍ハ悉ク山脈ニシテ東ニ伊吹山脈、鈴鹿山脈ノニアリ伊吹山ノ南麓ノ不破關、鈴鹿山脈ノ鈴鹿峠ハ古來要衝ニ當ル。縣ノ南隅ニアルモノハ笠置山脈ニシテ田上山ノ名山アリ。西方一帶ノ山地ハ比良山脈ト丹波高原ニシテ、比良山及比叡山聳ユ、北ニハ丹波高原ヨリ山脈東走シテ福井縣界ヲナシ北陸本線ノ通ズル柳ヶ瀬越等アリ。

滋賀縣(2)



參考問題

- 一 交通ト地形トノ關係ニツキテ記セ
- 二 鐵道ニツキテ語レ
- 三 本縣内ノ主要物産ニツキテ記セ
- 四 物産ト交通及ビ都會ノ關係トヲ述ベヨ
- 五 都會ノ分布ハ如何
- 六 大津市ニツキテ記セ
- 七 彦根ニツキテ記セ
- 八 長濱ニツキテ記セ
- 九 近江商人トハ如何
- 一〇 湖岸ノ重ナル都會四ヲ列舉セヨ
- 一一 草津ト米原トヲ比較セヨ



滋賀縣 (2) (日本地理七六)

三 交通

街道

東海道 京都ヨリ來リ草津ヲ過ギ鈴鹿峠ヲ越エ三重縣ニ入ル  
 中仙道 草津ニテ東海道ヲ分レ彦根ヲ經テ不破關ニテ岐阜縣ニ入ル  
 北陸道 彦根ヨリ北進シ福井縣ニ入ル  
 東海道本線 大垣ヨリ來リ草津ヲ經テ京都ニ至ル  
 北陸本線 米原ヨリ分岐シテ福井縣ニ入ル  
 草津線 關西線ニ屬シ柘植ニ至ル  
 近江鐵道 彦根ヨリ日野ヲ經テ貴生川ニテ草津線ニ合ス

開道

四 物産 湖岸平野ニハ米菜種ノ産アリ、東北部ハ養蠶盛ニシテ長濱ニ縮緬ノ産アリ、東南部地方ニテハ蚊帳麻布等ノ機業盛ナリ。

五 都會 縣民一帯ニ商業ニ巧ニシテ縣外ニ行商スルモノ多シ、稱シテ近江商人又ハ日野商人トイフ。

大津市 (四、一) 縣廳所在地ニシテ三井寺ノ名刹アリ、此ヨリ京都市ニ疏水ヲ通ズ。

彦根 (二、一) 井伊氏ノ城下ニシテ東部ニ於ケル商業ノ中心タリ。

長濱 縮緬ノ産地ニシテ商業盛ニ湖上ノ良港タリ。

竹生島 古來參詣多キ辨財天ヲ祀ル、汽船ノ便アリ。

日野、八幡、近江商人ノ多ク出ヅル地方ニテ麻織盛ナリ。

三重縣 (1)

一 位置及ビ境界 (日本地理七七)  
 二 地形 山系 水系 平原 海岸  
 三 物産  
 四 交通  
 五 都會

參考問題

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六

伊勢海ニツキテ記セ  
 本縣ノ位置ヲ略述セヨ  
 山系ニツキテ略述セヨ  
 鈴鹿山脈ト紀伊山脈トナ比較セヨ  
 主ナル河流ヲ示セ  
 カ、ル川向チナスハ何故カ  
 柳田川宮川ノ性質ニツキテ記セ  
 平野ニツキテ記セ  
 志摩ノ地形ヲ示セ  
 伊勢浦ト熊野浦トナ比較セヨ  
 熊野浦ト熊野浦トナ比較セヨ  
 大王崎ハ如何ナル性質ヲ有スルカ  
 沿岸ノ著名ナル港灣ヲ挙ゲヨ  
 我邦ニ於テ縣廳名ト所在地トノ異ナル縣廳名ヲ舉ゲ且ツ管轄國名ノ大略ヲ記セヨ (三十八年七官校)  
 左ノ市邑ノ所在國ヲ問フ (三十四年美術校)  
 長野 舞鶴 鳥羽 洲本

三重縣 (1) (日本地理七七)

一 位置及境界 伊勢海及ヒ熊野浦ノ西岸一帯ノ地ヲ占メ、北ハ岐阜愛知ノ二縣ニ界シ、東ト南ハ太平洋及ビ伊勢海ニ臨ミ、西ハ京都府、奈良縣、和歌山縣ニ界ス。

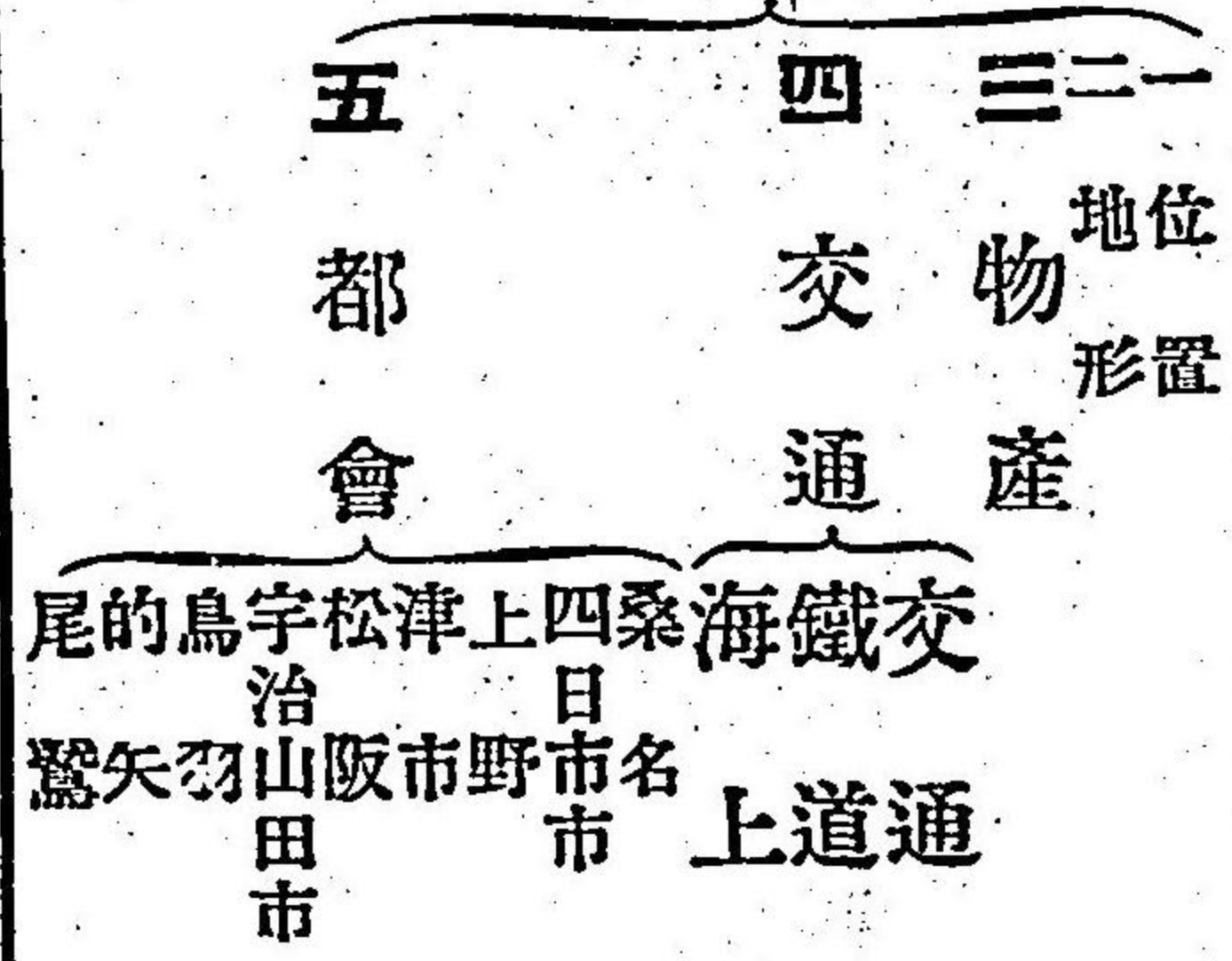
二 地形

山系 北ニ養老山脈アリテ岐阜縣トノ界ニ小山地ヲ作シ、西境ニ連亘スルハ鈴鹿山脈ニシテ恰モ屏風ヲ立テタルガ如シ、伊賀ノ西境ニアルハ笠置山脈ニシテ、南方一帯ノ山脈ハコレ紀伊山系ニ屬ス。紀伊山脈ハ西南西ヨリ東北東ニ向ヒ、志摩半島トナリ、伊良湖水道ヲ渡リテ、渥美半島トナリ、遂ニ赤石山脈ニ連ナル、高見山、大台原山等時シ。

水系 西ニ山脈ヲ控エ東一帯海ニ臨ムニヨリ悉ク東流シテ伊勢海ニ入ル、雲出川、櫛田川、宮川等其ノ主ナルモノナリ、此レ等ノ諸川ハ何レモ山脈ノ間ヲ平行シテ流レ縦谷ノ適例ヲナス。伊勢海沿岸ニハ平原連ナリ、物産豊カナリ、只松阪以南ノ地方ハ地味ヨロシカラズ。

海岸 伊勢海一帯ニ平滑ナル低地ニシテ、出入少ナシ。北隅木曾川口ニ河港桑名アリ、貿易港トシテハ四日市港アリ、津、二見浦等モ灣内ノ要津タリ。志摩以南ノ海岸ハ所謂リアス式海岸ニシテ出入極メテ多ク、鳥羽、的矢、尾鷲等ノ良港アリト雖モ背後ニ平地ナク陸上ノ交通不便ナルガタメ繁昌セズ。大王崎以南ノ荒海ハ即チ名高キ熊野浦ニシテ波浪常ニ高シ。

三重縣(2)



(日本地理七八)

參考問題

- 一 本縣ノ物産ヲ略述セヨ
- 二 交通ニツキテ記セ
- 三 海上ノ交通ヲ考ヘヨ
- 四 四日市市ニツキテ記セ
- 五 上野盆地ノ中心ニツキテ記セ
- 六 津市ニツキテ記セ
- 七 松阪ニツキテ記セ
- 八 日本ノ神都ニツキテ述ベヨ
- 九 鳥羽的矢ノ性質ハ如何
- 〇 尾鷲港ハ如何ナル所カ

三重縣 (2) (日本地理七八)

三 物産 北方ノ平野ヨリハ良米ヲ出ス、伊勢米ト稱シ市場ニ名アリ、桑名及四日市市ニテ集散ス。中部ノ平野ニハ茶ノ産出アリ。又沿岸水産物多ク伊勢海ノ鰹及ヒ真珠養殖熊野浦ノ鱈鯨等名アリ。工業モ大ニ興リ津松阪ノ綿絲紡績有名ナリ。

四 交通

鐵道 關西本線ハ名古屋ヨリ入り上野ヲ經テ奈良縣ニ入ル。柘植ヨリ分ル、モノハ草津線ニシテ龜山宇治山田間ヲ參宮線トス。

五 都會

桑名、河港ニシテ米ノ取引ノ盛ナル所ナリ。四日市市 (三、二) 茶ノ輸出港ニテ水陸ノ交通便ナルガタメ、商況却テ津市ヲ壓スル勢アリ、物産ニハ紡績洋紙搾油陶器等アリ。上野 上野盆地ノ中心ヲナシ地方的都會ナリ。津市 (三、八) 參宮街道ニ沿ヒ街筋長ク、縣廳所在地ナリ紡績業聞ユ。松阪 茶ノ産地ノ中心及機業地トシテ聞ユ。宇治山田市 (三、五) 參宮線ノ南端ニ位シ、内宮外宮アリ、伊勢神宮ノ所在地ニシテ日本ノ神都タリ、神宮司廳、神宮皇學館等アリ。海岸ノ二見浦又名所トシテ聞ユ。鳥羽、的矢 共ニ避難港ニシテ漁業ノ中心ヲナス。熊野灘ニ入レバ尾鷲ノ良港アリ、附近ヨリ集マレル材木ノ輸送港ニシテ又水産物ニ名アリ。

京都府(1)

- 一 位置及ビ境界
- 二 地形
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

(日本地理七九)

參考問題

- 一 位置ニツキテ記セ
  - 二 地形ノ大體ヲ記セ
  - 三 水系ニツキテ記セ
  - 四 丹波高原ニツキテ記セ
  - 五 其ノ河流ノ特質ハ
  - 六 平野ニツキテ記セ
  - 七 京都盆地トハ何ゾ
  - 八 京都盆地ヲ灌溉スル主ナル河流ニツキテ語レ
  - 九 京都盆地ハモト湖水ナリト云フ其ノ證如何
  - 一〇 桂川ト宇治川トニツキテ記セ
  - 一一 木津川ニツキテ
  - 一二 淀川トハ
  - 一三 淀川ノ河航ヲ問フ
  - 一四 由良川ノ性質ヲ問フ
  - 一五 海岸ニツキテ記セ
  - 一六 左ノ諸地ノ位置ヲ別紙ノ圖中ニ記入セヨ (三十八年機關校)
- 舞鶴 八代 石卷 室蘭 小濱 洲本 嚴原

# 京都府

(1) (日本地理七九)

一 位置及ビ境界 日本海ニ臨メル經岬ヨリ琵琶湖ノ南方ニ巨ル一帯ノ地域ニシテ、北ハ日本海及福井縣ニ、東ハ滋賀三重ノ二縣ニ、南ハ奈良縣大阪府兵庫縣ニ、西ハ兵庫縣ニ接ス。

二 地形

山系 縣ノ大部ハ丹波高原ニシテ大江山、愛宕山聳ユ、東方滋賀トノ縣界ニアルハ比良山脈ニシテ比叡ノ名山アリ、南方ハ丘陵性ノ笠置山脈ニシテ木津川ノ南岸ニ近ク笠置山アリ。

水系 丹波高原ハ河流甚ダ不規則ニシテ、由良川ハ大悲山ニ發源シ西流福知山ニ至リ激カニ北流シ、沿岸平地ナシ。保津川モ大屈曲ヲナシ山城ニ入りテ桂川トナル、龜岡以下有名ナル峽流ニシテ急流激湍將々壯絶ヲ極ム、世ニ保津川下リト稱シテ人ノ試ムル所ナリ、嵐山ノ景致マタコ、ニアリ。琵琶湖ヨリ流レ來ルモノハ宇治川ニシテ平等院附近ハ急流ナレドモ伏見以下ハ流緩ナリ。木津川ハ上野盆地ノ水ヲ集メテ西流ス、木津以下水流緩ニ、舟楫ノ便アリ、淀附近ニテ淀川ニ合ス。淀川ハ淀以下ノ名稱ニシテ山崎ノ峽流ヲ過ギテ大阪平野ニ入ル、伏見以下小汽船ノ通航アリ。

平野 桂、宇治、木津合流一帯ノ地方ハ平野ヲナシ、中ニ巨椋池ノ沼澤アリ、是レ則チ山城盆地又ハ京都盆地ト稱スルモノニテ、山崎木津ノ峽路ニヨリテ大阪大和兩平野ト連ナル。

# 京都府(2)

- 一 位置及ビ境界
- 二 地形
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

(日本地理八〇)

## 參考問題

- 一 府下ノ主ナル物産ヲ列舉セヨ
- 二 丹波高原ノ物産ハ
- 三 山城平野ノ物産ハ
- 四 茶ノ產地ニツキテ記セ
- 五 宇治茶ノ特徴何レニアルカ
- 六 美術工藝品ヲ列舉セヨ
- 七 何故ニカ、ル發達ヲナセルカ
- 八 西陣織ニツキテ記セ
- 九 清水焼ト粟田焼トノ差別ヲ述ベヨ
- 一〇 京ヨリ通ズル主ナル街道ニツキテ記セ
- 一一 鐵道ニツキテ
- 一二 京都市ニ集中スル鐵道ニツキテ記セ
- 一三 海上ノ交通ヲ述ベヨ
- 一四 河ノ交通如何
- 一五 下ノ交通如何
- 一六 横須賀 舞鶴 吳 佐世保 關ヶ原 石橋山
- 一七 賤ヶ岳 一ノ谷 湊川 田原坂 金剛山 菟道
- 一八 壇浦

京都府 (2) (日本地理 八〇)

三 物産 丹波丹後ノ山地ハ養蠶業盛ニシテ、峯山ニハ縮緬ノ産出アリ。南方宇治以南ノ地ハ茶ノ産ニ名アリ、其ノ量ニ就テハ静岡三重ノ二縣ニ乏ルト雖モ其ノ質ニ至リテハ遙カニ之ヲ凌グ。

京都市ハ古來美術工藝ノ地ナリ、近來發達殊ニ著シク諸種ノ絹織物及ヒ刺繡等ノ輸出サル、モノ多シ。染物ニハ友禪染アリ、其他漆器、陶磁器(清水焼、粟田焼、樂焼等)、七寶焼アリテ殆ンド枚擧スルニ遑アラズ。

四 交通 桓武天皇以來ノ帝都ナリシカバ、古來交通ノ中心タリ、東海道、中山道、中國街道、山陰街道皆此ノ地ヲ中心トセリ。今ハ稍ヤ偏在スレドモ尙ホ鐵道ノ便大ナリ。

東海道本線

京都線(京都—園部)

奈良線(京都—木津)

又海上ノ交通モ不便ナラズ舞鶴及宮津ハ日本海ノ要津ニシテ沿岸ノ航行繁シ。

河航ノ主ナルモノハ淀川ニシテ、由良川マタ下流四五里ノ間舟楫ノ便アリ。

山城盆地ハ交通便ニ人口稠密ナレドモ、丹波丹後ノ一帯ハ交通不便ニシテ都會モ少ク文化低シ、只阪鶴線ヲ唯一ノ交通路トス。

京都府 (3) (日本地理 八一)

京都府 (3)

一 位置及境界  
二 地形  
三 物産  
四 交通

五 都會

京都市 伏見 宇治 山崎 八幡 舞鶴 宮津

參考問題

- 一 京都市ニツキテ略述セヨ  
二 美術市トシテノ京都市ヲ述ベヨ  
三 學術ノ中心トシテ  
四 交通トシテ  
五 宗教ノ中心トシテ  
六 伏見ニツキテ述ベヨ  
七 宇治ニツキテ  
八 山崎ニツキテ  
九 八幡ノ港ニツキテ知ル所ヲ問フ  
十 此ニ屬スル海軍區ヲ知ルカ  
十一 軍事上如何ナル任務ヲ有スルカ  
十二 宮津ニツキテ語レ  
十三 天橋立ニツキテ  
十四 海軍鎮守府ノ所在地ヲ問フ(三十五年機關校)  
十五 本部師團所在地ノ名稱ヲ列記セヨ(三十七年同上)  
十六 左ノ地ノ位置ヲ問フ(三十八年同上)  
十七 伏見 高山 宮古 高岡 小樽 中津 嚴原

京都府 (3) (日本地理八一)

五 都會

京都市(四四) 桓武帝以後一千年ノ久シキ帝都ナリシカバ、名所舊跡神社佛閣甚ダ多シ。  
 御所 二條城ヲ始メトシ、北野天滿、上賀茂、下賀茂、伏見稻荷、豐國神社、金閣、銀閣、智恩院、清水寺、東寺、東西本願寺等有名ナリ。  
 其ノ他諸種ノ美術工藝品ノ產出アリ、加フルニ東山、北山、嵐山、高尾等ノ山水明媚ノ地アレバ美術市ノ稱蓋シ至當トイフ可シ。又關西ニ於ケル學問ノ中心ニシテ、京都帝國大學、第三高等學校、高等工藝學校、帝國博物館等アリ。  
 伏見 (二、四) 京都市ノ南方ニアリ第十六師團司令部ノ所在地。  
 宇治 附近一帶ニ茶園ナリ。  
 山門を出づれば日本の茶摘茶……芭蕉  
 又平等院アリ山河ノタヅマヒ愛スベシ。  
 笠置山、高サ低シト雖モ南朝ノ遺跡トシテ名高ク、來訪建武ノ昔ヲ偲ブモノ多シ。山上行宮ノ址アリ。  
 八幡 男山八幡ノアル所ニシテ古來朝廷ノ尊信アツカリシ所。  
 舞鶴 舞鶴港ノ東ニ隣リテ新舞鶴ノ軍港アリ、第四海軍港ノ鎮守府ノアル所ニシテ、附近要塞地帯ニ屬ス。  
 宮津 良港ニシテ汽船ノ出入繁シ。天ノ橋立ノ勝地アリ、日本三景ノ一ニシテ白砂青松ノ景他ニ多ク比テ見ズ。

奈良縣(1)

- 一 位置及ビ境界 (日本地理八二)
- 二 地形
  - 山系
  - 水系
  - 平野
- 三 交通
- 四 物産
- 五 史跡
- 六 都會

參考問題

- 一 位置ヲ述ベヨ
- 二 大和盆地ニツキテ記セ
- 三 吉野群山ニツキテ記セ
- 四 大和盆地ト吉野群山トヲ比較セヨ
- 五 葛城山脈ト笠置山脈トニツキテ述ベヨ
- 六 紀伊山系ニツキテ
- 七 縣内ノ高山二三ヲ列舉セヨ
- 八 吉野川大和川トヲ比較セヨ
- 九 十津川及ビ北山川ニツキテ記セ
- 一〇 吉野群山ノ交通如何
- 一一 平野ト都會トノ關係如何
- 一二 縣内ノ名山ヲ列舉セヨ
- 一三 京都盆地ト大和盆地トニツキテ述ベヨ
- 一四 吉野川ノ性質ヲ問フ

奈良縣 (1) (日本地理 八二)

一 位置及境界 近畿地方ノ中心ニ位シ、北ハ京都府、東ハ三重縣、南ハ和歌山縣、西ハ大阪府及ヒ和歌山縣ニ界ス。

二 地形

山系 縣内山地多ク特ニ南部ハ山岳重疊ス、北方丘陵ニヨリテ京都盆地ト連ナリ、東方ノ山地ハ笠置山脈ニシテ紀伊山系ト交ハリ、西方ナルハ葛城山脈ニシテ大和川ニヨリテ中斷サル、其ノ北半ニアルハ葛城山ニシテ南半ニ登ユルハ金剛山ナリ。南方ノ山地ハ所謂吉野群山ニシテ、巍々タル山嶽聳エ、山上嶽大台原山、高見山等有名ナリ、特ニ夏季白衣ノ行者峻阪ヲ攀シテ山上大台原等ニ登ル頗ル奇觀タリ。此ノ群山ハ森林繁茂シ所謂吉野杉テフ良材ヲ出ス。水系 平地ヲ流ル、ハ大和川ニシテ、遂ニ葛城山脈ヲ被リテ大阪府ニ入り海ニ注ク横谷ノ適例タリ。吉野川ハ大台原山麓ニ發源シ、西流シテ下市五條等ノ名邑ヲ過ギ、和歌山市ニテ海ニ朝ス、下流紀ノ川ノ稱アリ。吉野群山ニハ十津川北山川ノ二アリ、何レモ著名ナル横谷ヲナシ兩岸平地ナク交通甚ダ困難ナリ、相合シテ熊野川トナリ新宮ニシテ海ニ入ル。平原 北部ニ大和盆地アリ物産交通線路此ニ集中シ奈良郡山高田等ノ名邑アリ縣内一帶ニ山地ニシテ平地ハ極メテ狭ク見ルニ足ラズ。

奈良縣 (2)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 史蹟
- 六 都會

(日本地理 八三)

參考問題

- 一 交通ニツキテ記セ
- 二 交通ト地形トノ關係ニツキテ記セ
- 三 吉野群山ノ交通ヲ記セ
- 四 關西線ニツキテ詳述セヨ
- 五 縣内ノ主要物産ヲ述ベヨ
- 六 森林業ノ盛ナル理由ハ?
- 七 主ナル材木ヲ問フ
- 八 其ノ森林ノ有様ハ?
- 九 材木運送ハ如何
- 一〇 吉野ノ物産ヲ問フ
- 一一 大和盆地ノ物産ハ?
- 一二 奈良縣ノ物産ハ?
- 一三 縣内ノ主ナル史蹟ヲ記セ
- 一四 何時代ノ史蹟最モ多キカ
- 一五 縣ノ歴史ヲ考ヘヨ
- 一六 奈良ニ於ケル神社佛閣ノ著名ナルモノヲ問フ

奈良縣 (2) (日本地理八三)

三 交通

奈良線  
關西本線 名古屋ヨリ來リ 木津奈良ヲ經テ大阪市ニ至ル  
櫻井線 奈良ヨリ櫻井ヲ經テ高田ニ至ル  
和歌山線 王寺ヨリ高田及ビ五條ヲ經テ和歌山市ニ至ル

吉野群山地方ハ車馬ヲ通セザル所多シ。

四 物産

縣下一帶ニ森林多キニヨリ、産業中森林業最モ發達シ良材ヲ出ス事本邦ノ首位ヲ占ム。吉野、群山ハ杉、檜、松等ノ良材ニ富ミ盛ニ之ヲ伐リ出シテ一ハ吉野川ヲ下シ和歌山市ニ集メテ各地ニ散シ、他ハ十津川、北山川ヲ下シテ新宮ニ集メテ之ヲ散ス世ニ新宮材トイフモ是ナリ。又吉野ヨリハ吉野紙。吉野葛粉ノ名産アリ。盆地ノ西南部ニハ木綿織ノ産アリ、高田ヲ其ノ中心トス。

奈良市ニハ筆、墨、紙等ノ文房具ノ産アリ、又根來塗聞ユ。

五 史蹟

神武天皇橿原奠都以來、奈良七朝迄ノ宮居ノ地ナレバ、史蹟甚ダ多ク、寸土尺地モコレ皆我祖先ノ足跡、一木一石モマタ皆活ケル歴史ヲ語ラザルナシ。

奈良縣 (3)

- 一 地置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 史蹟
- 六 都會

奈良市、郡山、法隆寺、畝傍山、多武峰、吉野、

(日本地理八四)

參考問題

- 一 地形ト都會ノ分布トノ關係ヲ問フ
- 二 奈良市ノ性質如何
- 三 主ナル神社佛閣ヲ問フ
- 四 史蹟ハ何時代ノモノカ
- 五 奈良市ニ於ケル學術ノ機關ヲ問フ
- 六 法隆寺ニツキテ記セ
- 七 畝傍山ニツキテ述ベヨ
- 八 多武峰ニツキテ
- 九 吉野山ニツキテ
- 一〇 吉野川以南ノ山地ハ人文上如何ナル位置ヲ有スルカ
- 一一 吉野ニ於ケル重ナル史蹟ヲ數ヘヨ
- 一二 其ノ歴史ヲ語レ
- 一三 十津川ニツキテ



奈良縣 (3) (日本地理八四)

六 都會

奈良市 (三、二) 平城七朝ノ帝都ナリシカバ名所  
 舊跡甚々多ク、東大寺、興福寺、正倉院、西大寺等  
 アリ。市ノ東方ハ所謂春日野ニシテ群鹿來リ戯ル、  
 様面白シ、奈良公園ト稱スルモノ是ナリ。春日神社  
 ノ背後ニアル黒山ハ三笠山ニシテ其ノ北ナルハ若草  
 山ナリ。市街ハ唐ノ長安ノ形式ヲ採用セルモノニテ  
 今尙甚盤形ヲナス。

帝室博物館 女子高等師範學校等アリ。

郡山 奈良市ノ西南ニアリ縣下第二ノ都會ナリ。

法隆寺 本邦最古ノ建築ニカ、ハル法隆寺ノ巨刹ア  
 リ。

畝傍山 大和三山ノ一ニシテ其ノ東北ニハ神武天皇  
 ノ御陵アリ、西南ノ橿原神宮ハ神武天皇ヲ祭ル官幣  
 大社タリ。

多武峰 談山神社アリ、藤原鎌足ヲ祭ル別格官幣社  
 ニテ、境内風景頗ル佳ナリ。

吉野山 南朝ノ事蹟ニ名高キ所ニテ又櫻花ノ名所タ  
 リ。

吉の山霞の奥は知られども

見ゆる限りは櫻なりけり

これはこれほとばかり花の吉の山

歌書よりも兵書に悲し吉の山

吉水神社、吉野神社ハ官幣大社ニシテ、如意輪堂ノ  
 側ニハ御醍醐天皇御陵アリ。

和山

縣歌 (1)

- |   |        |
|---|--------|
| 一 | 位置及ビ境界 |
| 二 | 地形     |
| 三 | 交通     |
| 四 | 物産     |
| 五 | 都會     |

(日本地理八五)

參考問題

一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

本縣ノ位置ニツキテ語レ  
 境界ニツキテ語レ  
 地形ノ大體ヲ述ベヨ  
 紀伊ノ山系トハ何ゾ  
 如何ナル系統カ  
 高野山ト那智山トニツキテ記セ  
 河野山ト熊野山トノ關係ニツキテ記セ  
 紀ノ山川ト熊野川トノ異同ヲ述ベヨ  
 和泉山脈ニツキテ語レ  
 紀淡海峽ニツキテ知レル所ヲ記セ  
 海岸ノ形式ニツキテ述ベヨ  
 何故ニカ、ル海岸ヲナスカ  
 潮岬ニツキテ語レ  
 熊野浦トハ如何  
 縣内ノ平野少キハ何故カ  
 交通ノ不便ナル理由レニアルカ  
 鐵道ノ主ナルモナシ云ヘ  
 海上ノ交通ハ如何

## 和歌山縣 (1) (日本地理八五)

一 位置及ビ境界 近畿地方ノ最南端ニ位シ、北ハ大阪府ニ、東ハ奈良三重ノ二縣ニ、南及ビ西ハ海ニ面ス。

二 地形 四國ヨリ紀伊水道ヲ渡リテ縣内ニ入り東走シテ三重縣ニ向フハ紀伊山脈ニシテ數條ノ山脈ヨリ成リ、高野山、大塔峰、那智山等アリ。大阪府トノ界ヲナスハ和泉山脈ニシテ葛城山聳ユ。

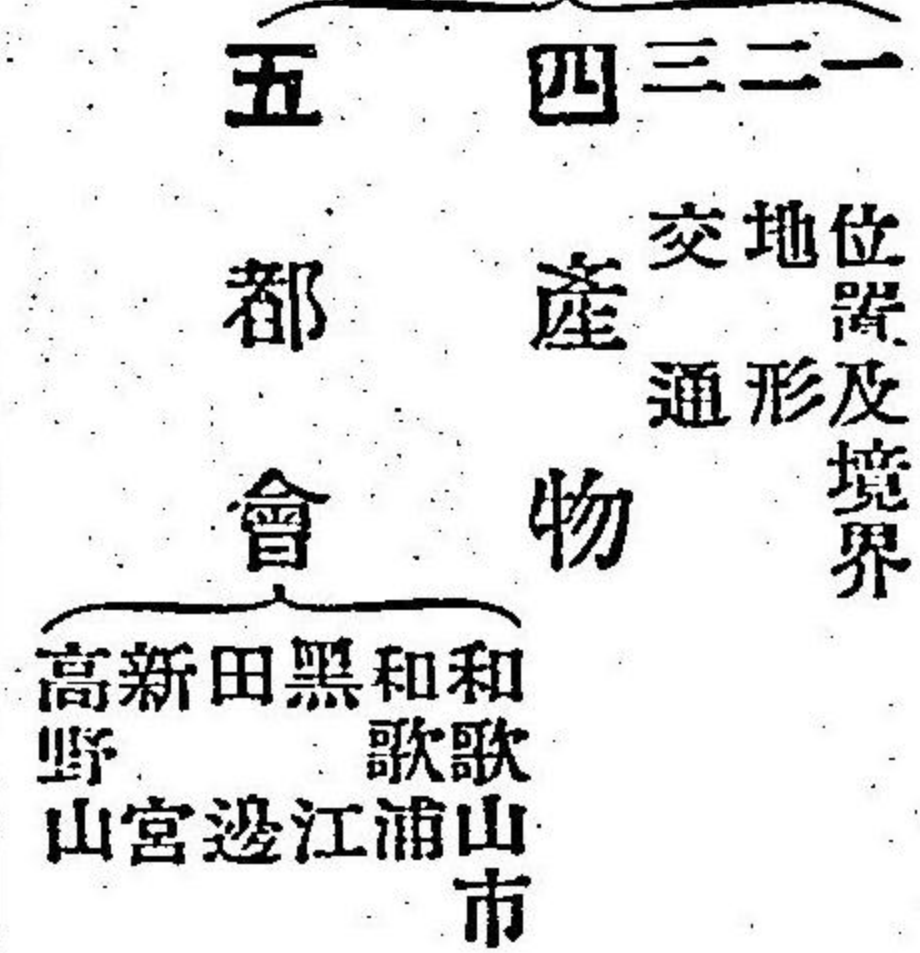
河流モ山脈ノ方向ニ支配セラレテ多ク西流ス、紀ノ川、有田川、日高川等トス。紀ノ川下流ハ狹キ平地ヲ作レドモ其他ハ峽谷ヲナシ平地ナシ、熊野川ハ著名ナル横谷ニシテ兩岸絶壁多シ。

由良海峽ハ大阪灣ヲ扼シ交通軍事上要衝ノ地ナレバ特ニ要塞ヲ設ク、コレヨリ日御崎ニ至ル間ヲ紀伊水道トイフ。潮岬ハ潮流早ク舟航危険ナレバ有名ナル燈臺ノ設ケアリ。

三 交通 地形上ノ如クナレバ交通モ極メテ不便ナリ。王寺ヨリ五條ヲ經テ和歌山市ニ來ルモノハ和歌山線ニシテ、大阪市ヨリ來ルモノハ私設南海鐵道ナリ。和歌山以南ハ交通極メテ不便ニシテ沿岸航路便利ナリト云フ可カラズ。奈良縣界ノ山地ニハ殆ンド人跡至ラザル所アリテ交通甚ダ難事タリ。

## 和山

### 縣歌 (2)



(日本地理八六)

### 參考問題

- 一 縣下ノ主要物産ヲ列擧セヨ
- 二 何故ニ蜜柑ヲ産スルカ
- 三 塗器ニツキテ記セ
- 四 都會ノ分布ニツキテ記セ
- 五 和歌山市ニツキテ記セ
- 六 市ノ物産ハ如何
- 七 市ノ海岸ニツキテ記セ
- 八 黒江ニツキテ述ベヨ
- 九 縣内ノ名高キ港ヲ列擧セヨ
- 一〇 新宮ニツキテ記セ
- 一一 新宮附近ノ名高キ神社ニツキテ記セ
- 一二 高野山ニツキテ記セ
- 一三 和歌山市以外ニ大都會ナキハ何故カ
- 一四 水産業ノ發達スル理由ヲ問フ

和歌山縣 (2) (日本地理八六)

四 物産 山多ク森林業盛ナリ、高野山及ビ那智ハ其ノ中心ニシテ、一ハ紀ノ川ヲ流シ他ハ新宮ニ集ム。密柑ハ古來紀州密柑ト稱セラレ、有田川及紀ノ川流域ニ多ク出ス。工業ハ綿フランネルノ機業盛ニ、黒江ヨリハ黒江塗ヲ出ス、共ニ全國ニ冠タリ。又水産業大ニ發達シ、熊野沖ハ捕鯨及ビ鱈漁ニ名アリ、一般ニ海事ニ堪能ニ北米或ハオーストラリア等ニ移住スルモノ多シ。

五 都會

和歌山市 (七、二) 徳川藩五十五萬石ノ城地ニシテモト御三家ノ一ナリ。水陸交通ノ便アリ商工業盛ナリ。綿フランネルヲ産ス。  
 和歌浦 一ニ明光浦トイフ。風光愛スベシ。  
 黒江 黒江塗ヲ出ス、又小錨地タリ。  
 新宮 新宮材ノ集マル所ニテ、附近ニ名高キ熊野三社アリ。西方那智山ニハ那智ノ飛瀑アリ海上ヨリ眺ムレバ白布ヲ懸クルガ如シ。  
 高野山 僧空海ノ開キシ金剛峯寺アリ、眞言宗ノ本山タリ。頂上高野町ハ一ノ小區城ヲナシ、人家多ク、高野豆腐ノ産アリ。登山スルニハ北方學文路ヨリスルヲ便トス。金山森林齋齋ヲシテ繁リ稀有ノ靈境ナリ。

(日本地理八七)

大阪府(1)

- 一 位置及ビ境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

參考問題

- 一 位置ヲ問フ
- 二 境界ハ?
- 三 地形ノ大體ヲ語レ
- 四 河流ニツキテ語レ
- 五 平野ニツキテ記セ
- 六 大阪灣ニツキテ記セ
- 七 山系ニツキテ
- 八 大阪市ハ交通上如何ナル地位ニアルカ
- 九 鐵道ノ主ナルモノヲ列舉セヨ
- 一〇 海上ノ交通ヲ問フ
- 一一 河流ノ交通ハ?
- 一二 下ノモノハ何國ニアルカ(三十三年士官校)
- 一三 横須賀 舞鶴 吳 佐世保 關ヶ原 石橋山
- 一四 一ノ谷 城山 田原坂 金剛山 壇浦

# 大阪府 (1) (日本地理八七)

- 一 位置及ビ境界 大阪灣ノ東岸ニ位シ、北ハ兵庫縣京都府ニ界シ、東ハ京都府及ヒ奈良縣ニ接シ、南ハ和歌山縣ニ隣リ、西ハ大阪灣ニ臨ム。
- 二 地形 府内大部ハ大阪平野ニテ土地肥エ交通便利ナリ。府ノ北部ノ山地ハ丹波高原ノ餘波ニシテ、東ナルハ葛城山脈、南ナルハ和泉山脈ナリ、西方遙カニ淡路島アリ。河流ニハ淀川大和川アリ、淀川下流ハ分流甚ダ多ク安治川、尻無川、木津川等ニ分ル、新淀川ハ人工ノ開鑿ニ係ル、大阪市ハコノ三角洲ノ上ニ建テラレタル都會ニ過ギス。大和川ハ奈良縣ヨリ流レ來リテ住吉附近ニテ海ニ入ル。海岸ハ一帯ニ平滑ニシテ出入少シ大阪灣モ又深カラズ、大阪堺等ノ良港アリ。
- 三 交通 本邦交通中心ニアリ、一ハ東部ニ於ケル東京市ニシテ、他ハ西半ニ於ケル大阪市ナリ。大阪ハ陸上ノ交通ノ中心ノミナラズ海上ノ交通モ盛ナリ。今其ノ主ナル線路ヲ表記スレハ
  - 東海道線
  - 阪鶴線
  - 關西線 (關西本線(奈良ヨリ湊町ニ來ル) 櫻ノ宮線(木津ヨリ網島ニ來ル))
  - 南海鐵道(和歌山市ニ至ル)
  - 河内鐵道(柏原—長野)
  - 高野鐵道(大阪市—長野)

# 大阪府 (2)

(日本地理八八)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

大阪府 堺市 岸和田 吹田 池田 櫻井 千早 四條 曙

## 參考問題

- 一 主要物産ヲ列舉セヨ
- 二 大阪市ノ特質ヲ語レ
- 三 交通上ノ大阪市ハ?
- 四 工業ノ大阪市ハ?
- 五 商業ノ大阪市ハ?
- 六 大阪市ノ外國貿易ニツキテ述ベヨ
- 七 市中ノ交通ハ如何
- 八 堺市ニツキテ語レ
- 九 岸和田ニツキテ
- 一〇 池田ニツキテ
- 一一 四近ノ史蹟ニツキテ記セ
- 一二 本邦師團所在地ノ名稱ヲ列舉セヨ (三十七年機關校)

大阪府 (2) (日本地理八八)

四 物産 平野ヨリハ米及菜種ノ産アリト雖モ本府ノ産業トシテハ工業ヲ第一トス、大阪市中中心トシテ大工場甚ク多ク、煤煙ヲ蔽ヒ煙突林立ス、其ノ詳細ハ都會ノ條ニテ説クベシ。又河内ニハ河内木綿ノ産アリ。

五 都會

大阪市 (一一二二) 本邦第二ノ大都會ニテ商工業ノ盛ナル却テ東京市ヲ凌グ、無數ノ大工場多ク綿織及木綿紡績業タリ。商況甚ク活潑、關西ノ商業ノ中心タルノミナラズ外國貿易モ門司ト共ニ我國第二流ニテ多ク東洋向ナリ。又交通上要點ニシテ鐵道ノ集中點加之海上ノ交通甚ク盛ニテ安治川口ノ如キハ出船千艘入船千艘ノ稱アリ。有名ナル大阪商船會社モ此ノ河岸ニアリ、船舶十一萬噸ニ達シ主ニ大阪以西清韓ノ航路ヲ掌ル。市街ノ交通トシテハ多ク運河ニヨル、眞ニ日本ノ水市タリ。第四師團司令部及控訴院等アリ。

堺市 (六六) 刃物段通酒等ヲ出ス古來要津タリ。

岸和田 和泉ニ於ケル各色ニテ紡績業盛ナリ。

吹田 朝日ビールノ産地宏大ナル會社アリ。

池田 清酒ノ産地タリ。

櫻井驛 楠公父子袂別ノ地、史上ニ名高シ。

其地千早城址、四條畷等楠公父子ニ關スル名蹟甚ク多シ。

兵庫縣(1)

- 一 位置及ビ境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

(日本地理八九)

參考問題

- 本縣ノ位置ヲ述ベヨ
- 境界ハ大略ヲ語レ
- 地形ノ大略ヲ語レ
- 中國山脈ニツキテ記セ
- 何故ニ低山性トナルカ
- 丹波高原ニツキテ記セ
- 六甲山脈ヲ説明セヨ
- 其ノ岩石ハ如何
- 海岸ノ岩石ニテ記セ
- 河川ノ主ナルモノヲ列舉セヨ
- 河川ノ平野トノ關係如何
- 淡路島ニツキテ記セ
- 主ナル海峽ニツキテ記セ
- 瀬戸内海ニツキテ記セ
- 日本海ニツキテ記セ
- 朝來川ニツキテ記セ
- 左ノ諸地ノ位置ヲ別紙ノ圖中ニ記入セヨ(三十)
- 九ノ機關校ノ位置ヲ別紙ノ圖中ニ記入セヨ(三十)
- 舞鶴ノ八代ノ石卷 室蘭 小濱 洲本 嚴原
- 下ノモノハ何國ニアルカ(三十三年土官校)
- 横須賀 吳 舞鶴 佐世保 川中島 賤ヶ岳
- 一ノ須賀 湊川 田原坂 壇浦

兵庫縣

(1)

(日本地理八九)

一 位置及境界 近畿地方ノ西部ニ位ス、北ハ日本海ニ、東北ハ京都府、東ハ大阪府ニ界シ、南ハ大阪灣及由良海峽ニヨツテ大阪府、鳴門海峽ヲ隔テ、徳島縣ト相對シ、西ハ鳥取岡山ノ二縣ニ連ナ

二 地形 縣内ノ山地ハ悉ク中國山脈ニ屬スルモノニシテ、高峻ナル山岳ナク、恰モ高臺ノ如シ、其ノ東部ハ丹波高原ナリ。神戸ノ北ニハ屏風ヲ立テ巡セルガ如キ山脈アリ六甲山脈トイフ、全山花崗岩ヨリ成リ其ノ分解サレタルハ白砂トナリ、老松其上ニ生ヒ茂リテ碧水ト相映ズル所風景愛スベシ。中國山脈ハ幅廣ク分水嶺不明瞭ナリ、日本海斜面ニアル河流ハ朝來川ニシテ、生野銀山附近ニ發源シ、豊岡ヲ過ギ城崎ニテ海ニ入ル。南流シテ瀬戸内海ニ入ルモノニハ武庫川、加古川、市川、楯保川、千種川等アリ、播磨ノ諸川ノ其下流ニハ播磨平野アリ。海岸ハ極メテ平滑ニシテ平原相連ナル、只攝津ノ海岸ハ六甲山脈近ク迫リ須磨等ノ勝地アリ。淡路トノ間ナル明石海峽ハ船ノ通航繁シ。淡路島ハ三海峽ニヨリテ他ノ地方ト界シ大阪播磨灘及ヒ紀伊水道ノ間ニ介在ス、全島平原少ク海岸ノ出入極メテ少シ、其ノ北半ハ中國山脈ニ屬シ、南半ハ四國ノ讃岐山脈及ヒ和泉山脈ト相連絡スルモノナリ。

兵庫縣(2)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

(日本地理九〇)

考考問題

一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一

交通ノ大體ヲ述ベヨ  
 山陽山陰ノ交通如何  
 鐵道ノ交通如何  
 海上ノ交通如何  
 交通ノ主要物産ニツキテ述ベヨ  
 本縣ノ主要物産ニツキテ述ベヨ  
 米酒トハ何ゾ  
 灘酒トハ何ゾ  
 何ガ故ニ讓造業盛ナルカ  
 神戸市附近ノ工業ヲ問フ  
 但馬ノ物産ヲ記セ  
 所謂神戸牛トイフモノハ何ゾ  
 水産ニツキテ記セ  
 赤穂鹽ニツキテ記セ  
 龍野ニツキテ語レ  
 豊岡附近ノ物産ヲ問フ  
 生野ニツキテ記セ  
 本邦師團所在地ノ名稱ヲ列舉セヨ (三十七年機  
 關校)

兵庫縣 (2) (日本地理九〇)

三 交通 瀬戸内海沿岸地方ハ交通便利ナレドモ、日本海沿岸地方ハ極メテ不便ナリ。鐵道ハ神戸驛ヲ界トシテ東ハ東海道本線ニシテ以西ハ山陽本線ナリ。此ノ他阪鶴線ハ大阪府神崎ヨリ起リ、篠山柏原ヲ經テ京都府ノ福知山ニ出テ新舞鶴ニ至ル。飾磨ヨリ北進シ生野豐岡ヲ經テ城崎ニ至ルモノハ、山陽線ノ播但線トス。

海上ノ交通ニハ神戸港アリ東洋航路ノ主要ナルモノニテ内外汽船ノ出入甚ダ多シ。

四 物産 物産マタ甚多シ、播磨平野及ヒ伊丹附近ハ米作盛ニシテ本邦一流ニ居リ。伊丹西ノ宮附近ハ釀造業盛ニシテ所謂灘酒ト稱スルモノ是ナリ。此ノ米作ト清酒トハ共ニ花崗岩トノ關係深ク其ノ分解セラレタル土壤ハ米作ニヨロシク且ツコレヨリ湧出スル水泉マタ釀酒ニ適ス。

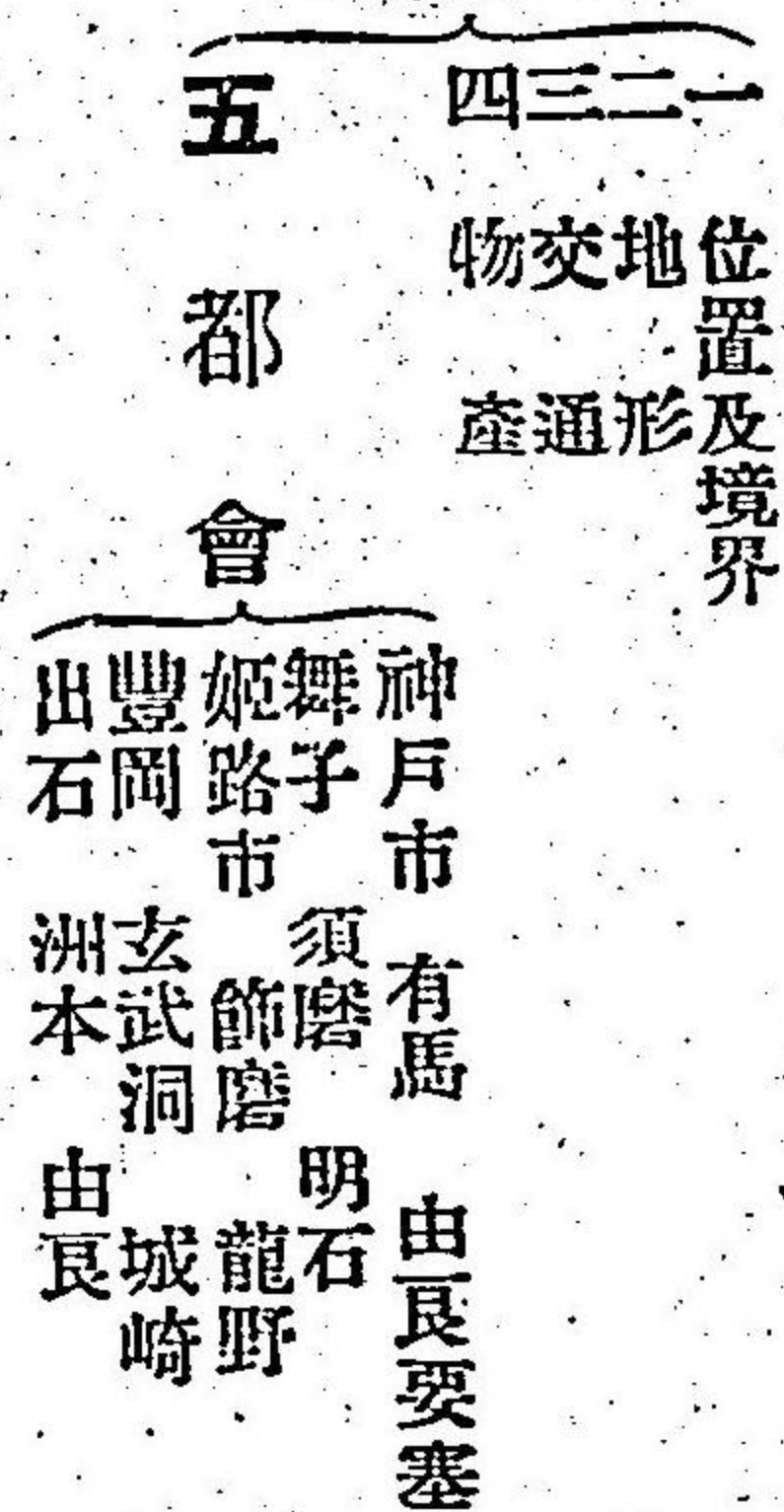
神戸市附近ニテハマツチノ製造盛ニシテ、其ノ産額全國ノ首位ヲ占メ、盛ニ清緯地方ニ輸出ス、又綿絲紡績ノ業盛ナリ。

但馬ハ養蠶牧牛ニ名高ク、淡路ニハ紙ト水産物多シ。播磨ノ沿岸到ル處ニ鹽田ノ設ケアリテ産額全國ニ冠タリ。赤穂鹽トシテ聞ユ。

生野ニハ金銀ノ産アリ龍野ハ關西ニ於ケル醬油ノ良産地ニシテ關東ノ野田ト共ニ聞エ、龍野醬油ト稱シ販路廣シ。

姫路ニハ革細工アリ、豐岡ニハ柳行李アリ。

兵庫縣 (3)



(日本地理九一)

參考問題

- 一 神戸市ニツキテ記セ
- 二 姫路市ニツキテ記セ
- 三 豐岡ニツキテ記セ
- 四 玄武洞トハ如何
- 五 由良要塞ノ必要何レニアルカ
- 六 龍野ニツキテ
- 七 縣内ノ著名ナル温泉ヲ列舉セヨ
- 八 本邦内公私立造船所ノ所在地ヲ問フ (三十四年 機關校)

兵庫縣 (3) (日本地理九一)

五 都會

神戸市(三八) 本縣著名ノ貿易港ニシテ、横濱ガ輸出ヲ主トシアメリカトノ關係深キニ反シ、神戸ハ輸入多ク主ニ東洋及ビヨーロッパトノ關係深シ。輸入ノ主ナルモノハ綿織鐵及米ニシテ。輸出ノ主ナルモノハ銅綿絲マツチナリ。

港灣ヨロシク船舶ノ出入ノ多キ事第一二位ス。市街壯麗外人ノ在住多ク附近大工場アリ、川崎造船所、高等商業學校及ビ楠公ヲ祀レル別格官幣社湊川神社名高シ。  
有馬 ハ古來著名ナル溫泉場ニシテ、浴客常ニ絶エズ。

神戸ノ西方一帯ノ海岸ハ風景明媚ニシテ舞子、須磨、明石 等ノ勝地アリ、富豪ノ別邸甚々多シ。

姫路市 (三、八) 米其他ノ集散地ニシテ第十八師團司令部置カル、革細工ノ産アリ。

飾磨 播但線ノ起點ニシテ姫路市ノ港タリ。

龍野 醬油ノ産地トシテ聞ユ。

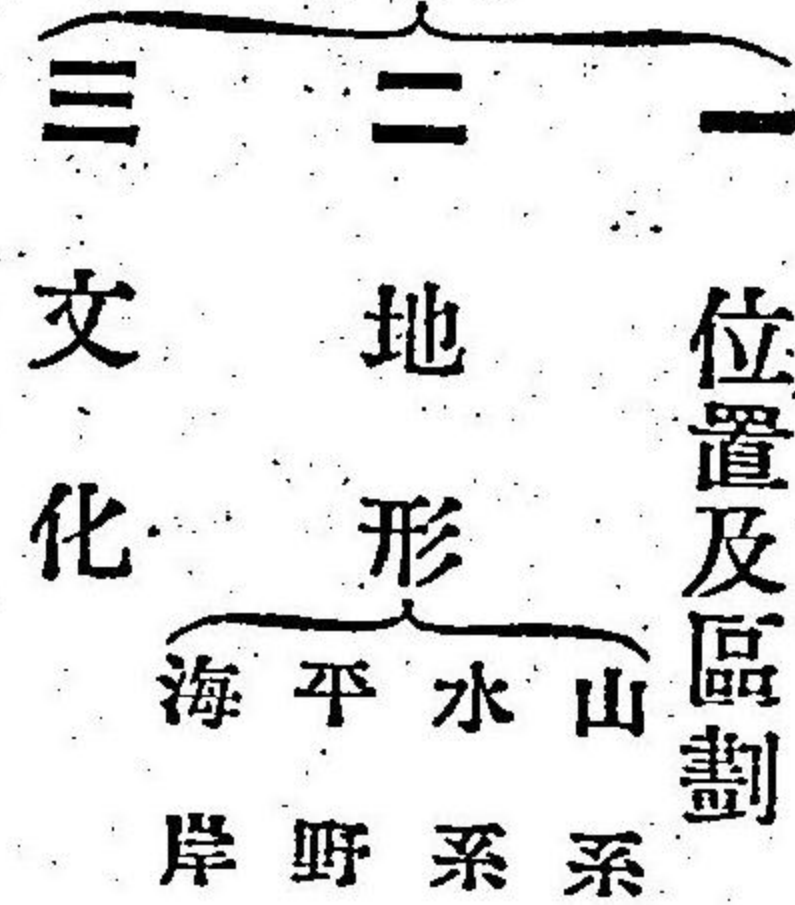
豊岡 但馬ノ中心ニシテ柳行李ヲ産ス、其ノ北方ニ玄武洞アリ。

城崎 ハ溫泉地トシテ聞ユ。

出石 ヨリハ出石焼ヲ出ス。

淡路ニハ都會トイフ程ノモノナシ、只漁業ニテ名高キ洲本アリ、要塞司令部ノアル由良アリ、由良要塞ハ大阪灣ヲ保護シ、大阪神戸兩市ノ貿易商業交通ヲシテ安全ナラシム。

中國地方論



(日本地理九二)

參考問題

- 一 中國地方ノ區劃ヲ記セ
- 二 地形ノ大體ヲ語レ
- 三 中國山脈ニツキテ語レ
- 四 所謂低山性山脈トハ何ゾヤ
- 五 河流ヲ斜面ニテ分テ
- 六 日本海斜面ノ主ナル河流ヲ問フ
- 七 瀬戸内海斜面ハ?
- 八 江ノ川ノ性質ニツキテ記セ
- 九 平野ニツキテ記セ
- 〇 平野ノナキハ何故ナルカ
- 一 海岸ニツキテ記セ
- 二 日本海岸ト瀬戸内海岸トヲ比較セヨ
- 三 瀬戸内海岸ノ特質ヲ問フ
- 四 神戸ヨリ小樽ニ至ル日本郵船會社西巡線定期汽船ノ寄港地ノ名稱及ビ其ノ所在ノ國名ヲ問フ



中國地方 (日本地理九二)

一 位置及ビ區劃 近畿地方ノ西ニ位シ本州ノ西端ニ當リ、鳥取、島根、岡山、廣島、山口ノ五縣ヨリ成ル。

二 地形

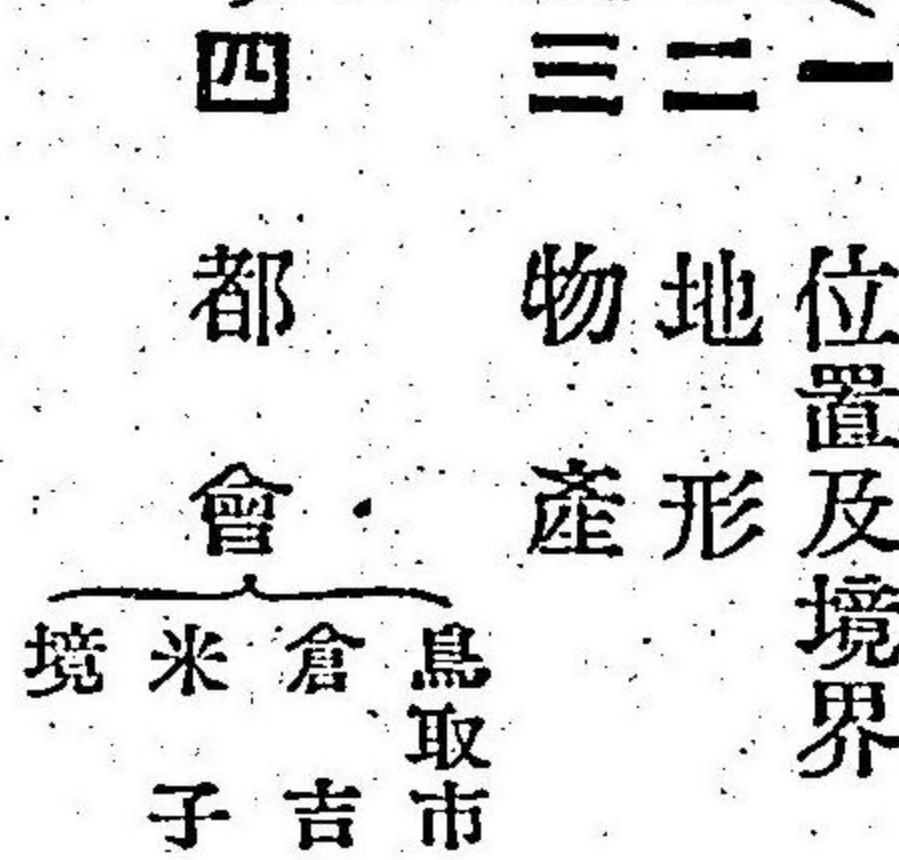
山系 其ノ中央ヨリ北ニ偏シテ横走スルモノ即チ中國山脈ニシテ、低山性ヲ帶ビ高峻ナル山岳少ク、分水嶺不明瞭ナリ。白山火山脈ハ白山ヨリ西走シテ中國山脈ノ北側ヲ走ル、中國ノ高山ハ悉ク此ニ屬スルモノニテ大山、船上山、三瓶山、徳佐峰其ノ主ナルモノナリ。

水系 日本海瀨戸内ノ兩斜面ニ注グ。日本海ニ注グモノハ流水短シ、千代川、日野川、斐伊川ノ如キ是ナリ、只江ノ川ハ中國山脈ノ主軸以南ヨリ流レ來ルヲ以テ大ナリ。瀨戸内ニ注グモノハ吉井川、旭川、川邊川、太田川、岩國川等アリ、何レモ水量多ク下流ニ平野ヲ作ル。

平野 中國山脈ガ非常ニ幅廣キニヨリ大ナル平野ナク、只海岸又ハ大河ノ下流ニ小平野アリ岡山平野、出雲低地ハ其ノ主ナルモノナリ。  
海岸 日本海海岸ハ出入少ク、只島根半島及ビ夜見濱ノ斗出アリテ、中海ノ潟湖ヲ抱クノミ、瀨戸内海ハ出入極メテ多ク、又嶋嶼無數ニ横ハリテ幾多ノ港灣海峽ヲナス、其ノ主ナルモノハ見島半島、水島灘、備後灘、江田島、廣島灣、大島、周防灘、下關海峽トス。

三 文化 中國山脈ノ向背ニヨリテ大ニ異ナリ、南方山陽道ハ交通便ニ産業進ミ都會發達スレドモ、山陰道ハ全ク之ニ反ス、是レ地形ノ然ラシムル所ナリ。

鳥取縣



參考問題

- 一 地形ヲ問フ
- 二 主ナル河流ヲ舉ゲヨ
- 三 大山ニツキテ記セ
- 四 主要物産ヲ列舉セヨ
- 五 交通ヲ記セ
- 六 海上ノ交通ニツキテ述ベヨ
- 七 鳥取市ニツキテ
- 八 倉吉町ニツキテ記セ
- 九 米子ニツキテ
- 一〇 境港ハ?
- 一一 船上山ニツキテ知レル所ヲ述ベヨ
- 一二 夜見濱ニツキテ語レ

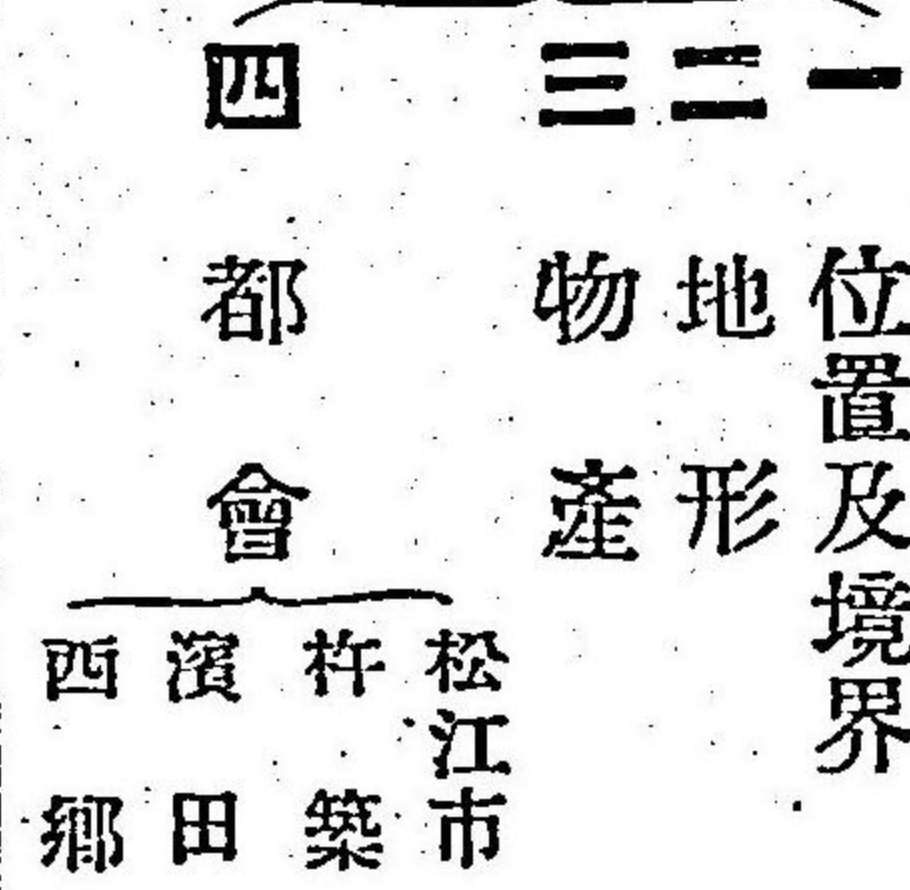
鳥取縣

(日本地理九三)

- 一 位置及境界 中國地方ノ東北隅ニ位シ、北ハ日本海ニ面シ、東ハ兵庫縣ニ界シ、南ハ岡山縣及ビ廣島縣ニ隣リ、西ハ鳥根縣ト相對ス。
- 二 地形 縣ノ南境ヲ走ルモノハ中國山脈ニシテ、之ヲ横ギル四十曲峠ハ米子津山間ノ交通路タリ。此ノ山脈ノ北側ニハ白山火山脈ニ屬スル大山及ビ船上山アリ、大山ハ千八百十五米ニ達シ中國第一ノ高山タリ、其ノ裾野遠ク引キテ完全ナル圓錐形ヲナス、呼ソテ伯耆富士又ハ出雲富士トイフ、北麓大山ケ原ハ牧馬ノ業盛ニシテ、軍馬補充部支部アリ。船上山ハ南朝ノ遺跡ニヨリテ名高シ。河流ニハ千代川、天神川、日野川アリ、下流ニ小平野ヲ作ル。海岸ハ至ル所小絶壁ヲナシ單調ナリ、只西方ニ夜見濱アリ遠ク海中ニ斗出シテ世ニ大天橋ト稱ス。
- 三 物産 牧畜業盛ナリ、縣下至ル所牧畜ヲ業トシ大山ノ北麓ニハ牧馬盛ナリ、又養蠶ノ業盛ニ、因幡ノ浦富ヨリハ俗稱白珊瑚ヲ産ス。
- 四 都會 鳥取市 (三、二) 縣廳ノ所在地ナリ、山陰本線ハ目下コレヨリ起リ鳥根縣ノ実道ニ至ル。倉吉 天神川ノ中流ニアリ、縣内第一ノ繁昌ノ地ニシテ、生絲、羽二重、稻扱等ノ産多ク、商業盛ナリ。米子 (二、) 水陸交通ノ要衝ニ當ル、縣内第一ノ良ニシテ商業盛ナリ、又生絲ノ産アリ。境 夜見濱ノ尖端ニ位シ貿易港タリ、出雲國ノ咽喉ニ當ル大船ハ美保關沖ニ碇泊ス。

鳥根縣

(日本地理九四)



參考問題

- 一 地形ニツキテ記セ
- 二 白山火山脈ニツキテ述ベヨ
- 三 出雲低地ノ成因ハ?
- 四 主ナル湖沼ヲ舉ゲヨ
- 五 主要物産ヲ列舉セヨ
- 六 石見ト出雲トヲ比較セヨ
- 七 出雲文明ニツキテ知レル所アルカ
- 八 松江市ニツキテ記セ
- 九 松江市ノ交通如何
- 〇 縣内ノ交通系ヲ問フ
- 一 柞築ノ祭神ニツキテ語レ
- 二 隱岐ノ史蹟ヲ問フ
- 三 西郷港ニツキテ語レ
- 四 濱田港ニツキテ
- 五 左ノ縣廳ノ所在國名及ビ地名ヲ問フ (三十三年)
- 六 幼年校)
- 七 岩手 群馬 福島 栃水 山梨 富山 島根
- 八 香川 佐賀 宮崎

# 島根縣

(日本地理九四)

一 位置及境界 島根半島ノ南方一帯ノ地ヲ占メ、北ハ日本海、東ハ鳥取縣南ハ廣島縣及ビ山口縣、西ハ日本海ナリ。

二 地形 南境ニアルハ中國山脈ニシテ斐伊川之ニ發源ス、只江ノ川ハ廣島縣ノ中央ノ山地ヨリ流レ、山脈ヲ横ギツテ峽流ヲ作り、横谷ノ好適例ナリ。三瓶山ハ白山火山脈ニ屬シ、山雲石見ノ境ニ峙立ス、其ノ炭酸孔ハ有名ナリ。出雲ノ海岸ニハ東西ニ走ル一ノ低地アリ、西方杵築平野ヨリ、宍道湖、中海トナリ、夜見濱ニ至ル、其ノ北ハ宍道山脈アリテ島根半島ヲ作ル、今宍道湖、中ノ海ハ次第ニ湖面縮少スルヲ以テ見レバ、此レモト一鳴嶼ナリシナラン。海岸絶壁多ク良港ナシ、只島根半島ノ内側ニヤ、見ル可キモノアリ。

三 物産 出雲ハ米、麻ヲ産シ、石見ニハ紙、瓦ヲ出ス。中國山脈ハ砂鐵、大森ハ銀ヲ以テ著ハル、隱岐ニハ烏賊ノ名産アリ。

四 都會 遠ク神代ニ於テハ文化大ニ進ミ、所謂出雲文明ナルモノヲ作りシガ、他ノ地方ニ比シ大ニ劣ル。松江市(三、六)位置甚ダヨロシク交通ノ便アリ。商業亦盛ナリ、實ニ山陰第一ノ都會タリ、湖上ノ風景亦謂ハン方ナシ。  
杵築 有名ナル出雲大社アリ。  
濱田港 貿易港ニシテ日本海航路ノ重要點タリ。  
西郷港 隱岐ニアル好錨地ナリ。

# 岡山縣(1)

(日本地理九五)

- 一 位置及境界
- 二 地形  
山系 水系 平原 海岸
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

## 參考問題

- 一 本縣ノ境界ヲ語レ
- 二 地形ノ大體ヲ語レ
- 三 主ナル河流ニツキテ記セ
- 四 平野ニツキテ
- 五 河流ト平野トノ關係ハ?
- 六 海岸ニツキテ問フ
- 七 兒島半島ニツキテ語レ
- 八 交通ヨリ見タル兒島半島ハ如何
- 九 水島灘ニツキテ記セ
- 一〇 縣内ノ交通ヲ記セ
- 一一 交通上岡山市ハ如何ナル地位ニアルカ
- 一二 瀬戸内海ノ交通如何

岡山縣(1) (日本地理九五)

一 位置及境界 中國地方ノ東南端ニ位シ、北ハ島取縣ニ、東ハ兵庫縣ニ、南ハ内海ヲ距テ、香川縣ニ、西ハ廣島縣ニ界ス。

二 地形

山系 縣ノ北境ナルハ中國山脈ニシテ、三國山、蛭山、四十曲峠等アリ、四十曲峠ハ山陰ニ通ズル重要ナル交通路タリ。此等ノ山地ヨリ支脈南走シテ縣ノ中部ニ及ブ。

水系 三大河貫流ス、東ナルハ吉井川(或ハ東大川)ニシテ上流ニ津山盆地ヲ作り南流シ、岡山附近ニテ海ニ入ル。中ナルハ旭川(或ハ西大川)ニシテ蛭山ノ南麓ニ發源シ、岡山市ノ東ヲ過ギ、兒島灣ニテ海ニ注グ。西ナルハ川邊川(又ハ高梁川)ニシテ縣ノ西北山地ニ發源シ、東南流シテ高梁町ヲ過ギ、水島灘ニテ海ニ入ル。此ノ三川ハ何レモ水量多ク、灌漑運輸ノ便大ナリ。

平野 此ノ三大河流ノ下流一帯ノ地ハ即チ岡山平野ニシテ、稻田遠ク連ナリ、物産甚ク豊ナリ。  
海岸 出入甚ク多ク其ノ主ナルモノハ兒島灣及ビ兒島半島ニヨリテ、一葦帶水ノ間、香川縣ト相接シ交通至便ニ、大小無數ノ嶋嶼、散布シテ恰モ飛石ノ如シ。兒島半島ノ西ハ水島灘ニテ玉島笠岡等ノ小港アリ。

三 交通 中國街道、海岸地方ヲ西走ス、鐵道ニハ山陽本線ノ街道ニ沿ヒテ走ルアリ、又岡山ヨリハ二條ノ私設中國線、津山及ビ湛井ニ至ル、香川トノ交通ハ甚ク便ニシテ却テ陸上ニ勝ル。

岡山縣(2)

(日本地理九六)

一 位置及境界  
二 地形  
三 交通

四 物産  
農産  
水産  
工業

五 都會  
岡山市 津山 高梁  
倉敷 笠岡 玉島 宇野

參考問題

- 一 縣内ノ主要物産ニツキテ記セ
- 二 特ニ工業ニツキテ記セ
- 三 都會ノ分布ニツキテ記セ
- 四 岡山市ヲ詳説スベシ
- 五 津山ニツキテ記セ
- 六 宇野港ニツキテ記セ
- 七 笠岡ハ?
- 八 本邦師團所在地ノ名稱ヲ列記セヨ (三十七年海軍機關校)
- 九 山陰山陽二道ノ主ナル物産ヲ問フ (三十四年商船校)

岡山縣 (2) (日本地理九六)

四 物産 物産甚々多シ、

米 平地一帯ヨリ産ス

麥

煙草 備中、南部、美作ノ西部

牧牛 備中、美作ニ盛ナリ

水産

鹽

鹽 備中ノ東南部ヨリ出ツ

麥稈、真田 備中ノ西部ニ盛ナリ

綿織、紡績 岡山市其ノ中心タリ、

縮織 兒嶋半島ニ盛ニシテ小倉織ヲ出ス

五 都會

岡山市 (九、二) 商工業甚々盛ニシテ、交通ノ中心タリ、山陽本線ノ主驛ナルノミナラズ、中國線ノ分岐點ニ當ル。モト池田氏三十一萬石ノ城地ニシテ、第六高等學校、醫學專門學校、第十七師團司令部等アリ、後樂園ハ泉石ノ美ヲ以テ聞エ、孤兒院ハ石井氏ノ創ムル所ナリ。

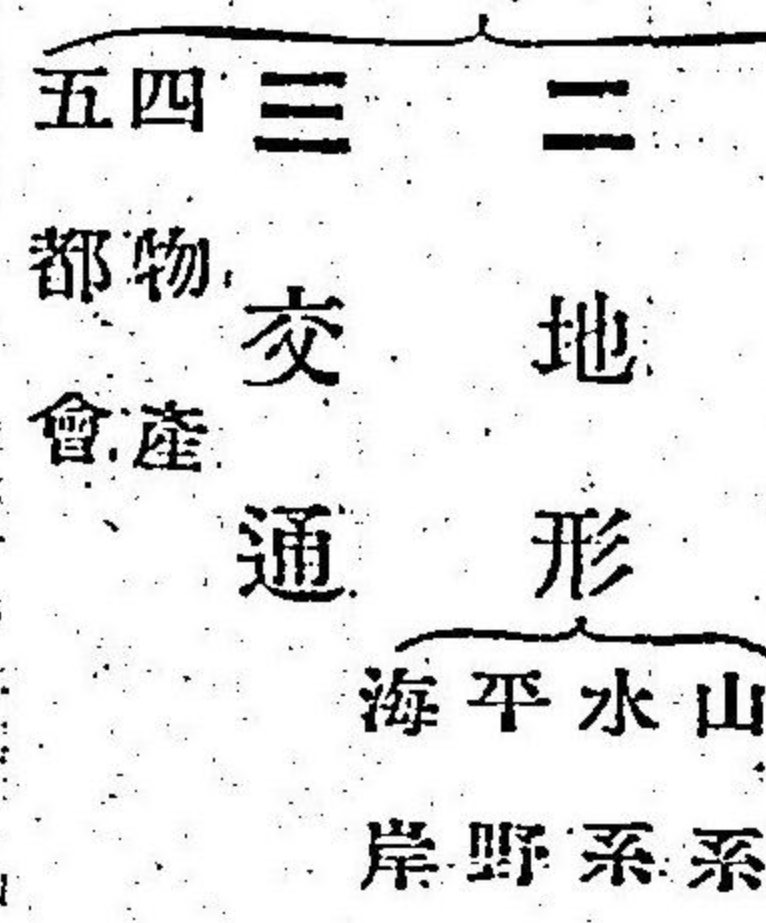
津山 津山盆地ノ中心ヲナシ、山陰ニ通ズル要路ニ當リ、生絲、雲齋織及ビ足袋ノ名産地ニシテ、地方的中心タルヲ失ハズ。

高粱 高粱川ニ臨ミ煙草及ビ麥稈真田ノ産地タリ。倉敷ハ鹽表ノ産地トシテ名高ク、笠岡ハ麥稈真田ヲ出シ共ニ商業盛ナリ。

玉島、水島灘ニ於ケル小港ナリ、宇野 兒嶋半島ノ南端ニ位シ、築港落成セリ、岡山市ヨリ鐵道開通ノ曉ニハ發展見ル可キモノアラン。

廣島縣 (1)

(日本地理九七)



參考問題

- 一 境界ヲ語レ
- 二 地形ノ大體ヲ問フ
- 三 日本海、瀬戸内海、兩斜面ノ分水嶺ニツキテ記セ
- 四 河流ニツキテ記セ
- 五 江ノ川ノ特質何レニアルカ
- 六 平野ニツキテ記セ
- 七 海岸ヲ大觀セヨ
- 八 主ナル島嶼ヲ列擧セヨ
- 九 主ナル灘及ビ灣ヲ擧ゲヨ
- 一〇 交通上ヨリ見タル沿海ハ如何
- 一一 縣内ノ交通ヲ略述セヨ
- 一二 吳線宇品線ハ如何ナル意味ヲ有スルカ

廣島縣(1) (日本地理九七)

一 位置及境界 中國地方ノ中央部ニ位シ、北ハ島根縣ニ、東ハ岡山縣ニ、南ハ内海ヲ距テ、愛媛縣ニ、西ハ山口縣ニ界ス。

二 地形

山系 中國地方中最モ複雑セル所ナリ、中國山脈ノ主軸ハ島根トノ縣界ヲ西走スレドモ、其ノ支脈縣ノ中央ニ入り來リ、分水嶺ハ却テ縣ノ中央部ニ於テ東西ニ走ル。

水系 隨テ河流モ日本海ニ注ケモノアリ、内海ニ注ケモノアリ、日本海ニ入ルモノハ江ノ川ニシテ、上流三川相合シテ三次盆地ヲ作り。西北流シテ遂ニ山脈ヲ横斷シ石見國ニ入ル。分水嶺已ニ縣ノ中央ヲ走ルガ故ニ、瀬戸内海ニ入ル諸川ハ何レモ小ニシテ、蘆田川、太田川稍ヤ聞エタルノミ。

平野 縣内平野ニ乏シク、只尾ノ道及廣嶋附近ニ小平野アリ。

海岸 内海中最も出入ニ富メル所ニテ、備後灘ヲ過ギ來レバ因島、向島、大崎上島、大崎下嶋等ノ諸島相列リテ四國ノ高繩半島ト相對ス、内海兩斷ノ虞ナカラシメンガタメニ、藝豫要塞ヲ置キテ之ヲ防備ス。其ノ西ナル海ハ安藝灘ニシテ、廣嶋灣内ニハ嚴島、江田島、倉橋島ノ諸島アリ。

三 交通

山陽本線笠岡ヨリ來リ、尾ノ道、廣嶋ヲ過ギ、山口縣ニ入ル  
 吳線 海田市ヨリ分岐シテ吳ニ至ル  
 宇品線 廣島ヨリ分レテ宇品ニ至ル

廣島縣(2)

(日本地理九八)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

尾ノ道市、糸崎港、藝豫要塞  
 吳市、江田島、廣嶋市  
 宇品港、嚴島、廣嶋灣要塞

參考問題

- 一 縣ノ主要物産ニツキテ記セ
- 二 備後ノ物産ハ
- 三 水産ニツキテ記セ
- 四 尾ノ道ニツキテ述ベヨ
- 五 糸崎港ニツキテ?
- 六 藝豫要塞ヲ説明セヨ
- 七 吳軍港ニツキテ述ベヨ
- 八 廣嶋市ニツキテ
- 九 宇品港ニツキテ
- 一〇 嚴島ニツキテ
- 一一 廣嶋灣要塞ノ必要ハ?
- 一二 本邦内公私立造船所ノ所在地ヲ問フ (三十四海軍機關校)
- 一三 海軍鎮守府ノ所在地ヲ問フ (同上)
- 一四 本邦師團所在地ノ名稱ヲ列記セヨ (同上)

廣島縣 (2) (日本地理九八)

四 物産 耕地ハ斜面ニモ及ビ 名産ニハ麻アリ。  
牛ノ産額ハ全國第一ニシテ、塚原ニハ國立種牛牧場  
ノ設アリ。又鹽表花苳モ古來名産トシテ聞ユ。  
水産ニハ備後ノ鹽、廣嶋灣ノ牡蠣養殖アリ、縣民一  
般ニ海ニ馴レ、アメリカ或ハハワイ等ノ出稼者多シ。

五 都會

尾ノ道市(三) 通運業發達セル長港ニシテ、四國  
ニ渡ル長港タリ、船舶ノ出入貨物ノ輻輳盛ナリ。  
糸崎港 鹽表及花苳ヲ輸出スル貿易港タリ。  
藝豫要塞 安藝ト伊豫ト高繩半島トノ間ヲ防禦シ、  
内海沿岸ノ商工業ヲ保護ス、司令部ハ忠海ニアリ。  
吳市 (九、三) 第二海軍鎮守府ノアル所ニシテ、有  
名ナル造船所アリ。前面多クノ嶋嶼ニテ圍マレ、浪  
靜カニ水深ク實ニ天然ノ良港タリ。加之人工ノ設備  
亦完備ス、實ニ帝國海軍ノ重鎮タリ。江田島ニハ海  
軍兵學校アリ。

廣嶋市(一三) 中國第一ノ大都會ニシテ商業盛  
ニ、交通ノ便ヨロシ、最近ノ二大戦争ニテ、軍國ノ  
重要地點トナレリ、第五師團司令部、控訴院、高等  
師範學校等アリ。  
宇品港 廣嶋市ノ外港ニシテ又軍隊輸送ノ港タリ、  
嚴島 或ハ宮島トイフ日本三景ノ一タリ。  
廣嶋灣要塞 吳軍港及軍國ノ重要地點タル廣嶋市、  
宇品港ヲ防禦スルモノニシテ廣嶋市ニ司令部アリ。

山口縣

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

防府 山口 山府 下關 角島

(日本地理九九)

參考問題

- 一 位置ニツキテ記セ
- 二 地形ニツキテ述ベヨ
- 三 交通ハ如何
- 四 主要物産ハ
- 五 都會ノ分布ニツキテ
- 六 三田尻ニツキテ述ベヨ
- 七 山口ニツキテ
- 八 下關市ヲ略述セヨ
- 九 交通上ノ下ノ關市ヲ詳述セヨ
- 一〇 縣下ノ主ナル史蹟ヲ列舉セヨ
- 一一 角島ニツキテ記セ
- 一二 左ノ海峽ノ位置ヲ問フ(三十九年海軍機關校)
- 鳴門 津輕 速吸 對馬 宗谷 下關 千島 壱岐

山口縣

(日本地理九九)

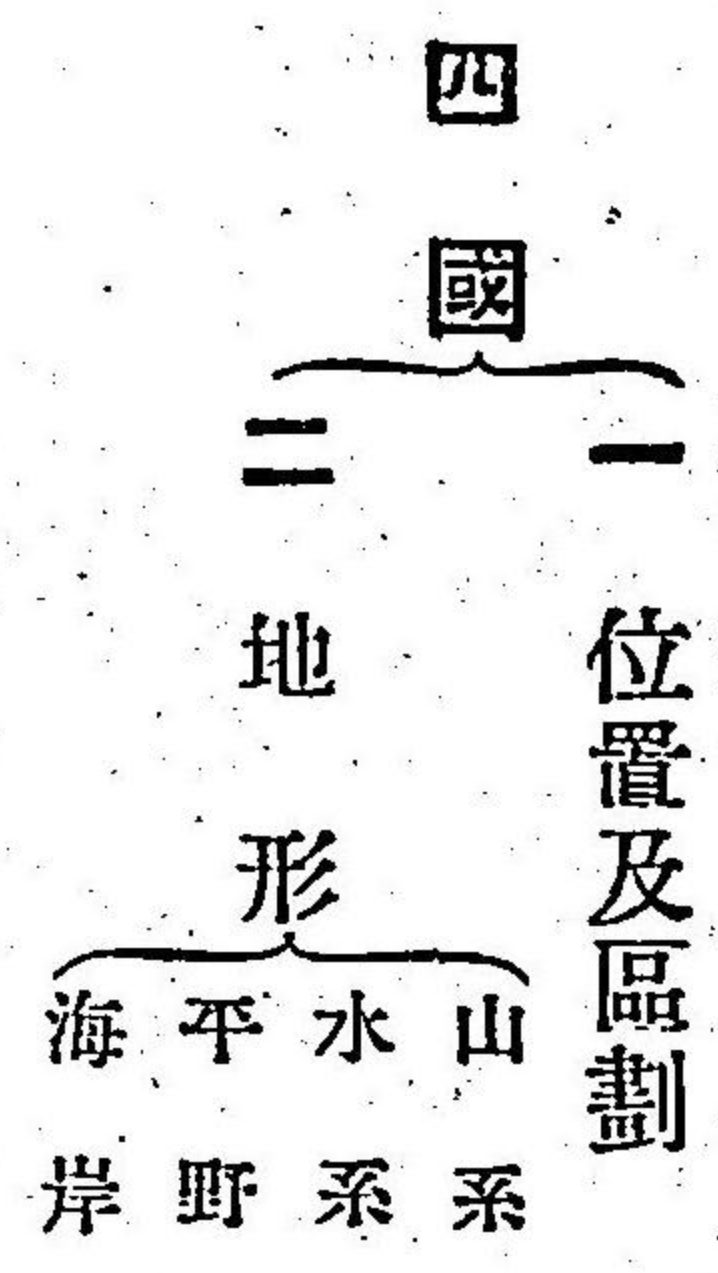
- 一 位置及境界 中國地方ノ西端ニ位シ、西及ビ北ハ日本海ニ面シ、東北ハ島根廣島ノ二縣ニ接シ、南ハ内海ニ臨ム、
- 二 地形 縣内ノ山岳悉ク中國山脈ノ末端ニシテ、一帯ニ低平ニ。丘陵起伏スルニ過ギザレバ、内地ノ交通モサマテ困難ナラズ、河流マタ甚タ多ク從テ小平地到ル所ニアリ。河流ノ主ナルハ岩國川ニシテ周防國ノ中央山地ヨリ發シ岩國町ニテ廣嶋灣ニ入ル、下流ニ名高キ錦帶橋アリ。内海海岸ハ比較的出入少ク、周防灘ト響灘トヲ連絡スルハ下關海峡ニシテ軍事上、交通上主要地點タリ、要塞ヲ以テ之ヲ固ム、司令部ハ下ノ關ニアリ。
- 三 交通 山陽本線、縣ノ南海岸ヲ西走シテ下ノ關市ニ達ス、分レテ大嶺ニ至ルモノハ大嶺線ナリ。
- 四 物産 米産アリ防長米ト稱ス、萩附近ニハ夏蜜柑ヲ産ス、岩國附近ハ綿織盛ニシテ小野田ニハセメント製造所アリ、又此縣ハ南北海ニ面スルニヨリ水産多ク製鹽、鯛、鱈、鯉ノ漁獲著シ、縣民競ヒテ遠洋漁業又ハ海外出稼ニ志ス。
- 五 都會

防府 (二、四) モト三田尻ト稱セリ製鹽業盛ナリ。  
 山口 (二、一) 縣廳ノ所在地高等商業學校アリ。  
 下關市 (五、七) 下關海峡ニ臨ミ交通甚タ盛ニ九州及ビ韓國ニ渡ルモノ皆此ノ地ヲ經由セザルナシ貿易港ハ對岸ノ門司ニ及バス、附近ニ史蹟多シ、壇ノ浦、赤間宮、春帆樓等是ナリ。  
 角島 無線電信局アリ。

六五四三二一〇九八七六五四三二一

四國地方ノ區劃ニツキテ記セ  
 何故ニ四國トイフカ  
 モト何道ニ屬セシカ  
 地形ノ外見ハ如何  
 四國ノ山脈ニツキテ記セ  
 四縣ノ山嶽ニツキテ記セ  
 重ナル河川ニツキテ說明セヨ  
 四國三郡ニツキテ詳説セヨ  
 平野ニツキテ記セ  
 海岸ニツキテ記セ  
 リアル式海岸トハ何ゾ。何が故ニ生ゼシカ  
 主ナル岬角ヲ舉グヨ  
 主ナル海峡ヲ示セ  
 鳴門海峡ニツキテ知レル所アルカ  
 左ノ諸海峡ノ位置ヲ問フ(三十九年海軍機關校)  
 臺灣門津輕速吸對馬宗谷下關千島

參考問題



(日本地理一〇〇)

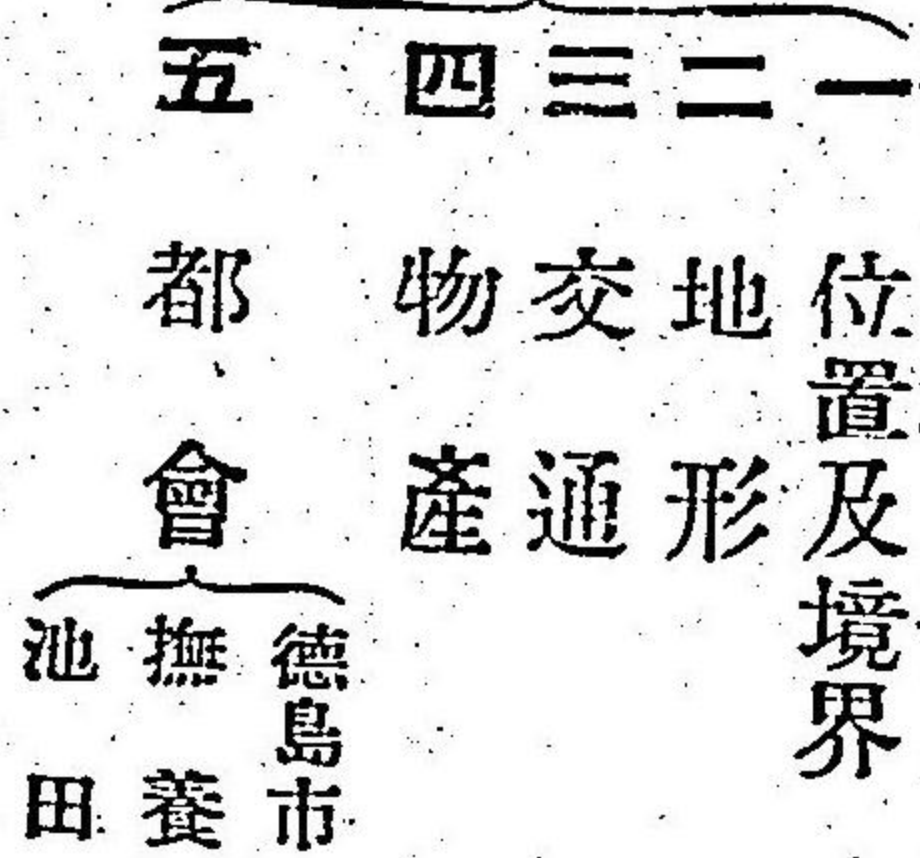


四國地方 (日本地理一〇〇)

一 位置及び區劃 近畿中國及び九州ノ間ニ横ナル島ニシテ、徳島、香川、愛媛、高知ノ四縣ニ分治セラル。

二 地形  
 山系 所謂四國山脈ニシテ西方ハ九州山脈ト連ナリ、東方ハ紀伊山系ニ亘ルモノナリ。面積小ナルガタメ山嶽甚ク高ク傾斜甚ク急ニ鬼ヶ城山、石槌山、笹ヶ峰、劍山其ノ主ナルモノナリ、就中劍山ハ二千二百四十二米ニ達シ實ニ四國第一ノ峻峰タリ。側脈ハ延ビテ高繩半島、室戸崎及ビ蹉跎岬(足摺岬)トナル。徳島香川ノ縣界ヲ東走スルモノハ讃岐山脈ニシテ、淡路ノ南端ヲ經テ和泉山脈ニ連ナル。  
 水系 内海斜面ニ注グモノニハ伊豫ニ重信川、肱川ノ二アリ、太平洋斜面ノ河流ハ割合ニ長大ニシテ吉野川、那賀川、物部川、仁淀川、四萬十川(渡川)等其ノ主ナルモノナリ。  
 平野 平野極メテ少ナク河流ノ沿岸又ハ海岸ニ狹キ平野アルノミ。  
 海岸 南北ヨリ大灣入り込ム、北ナルハ備後灘ニシテ讃岐高繩ノ兩半島之ヲ抱ク、南ナルハ土佐灣ニシテ東ニ室戸崎アリ、西ニ蹉跎岬アリ。東西ノ海岸ハ何レモリアス式海岸ニシテ、特ニ西海岸ニ於テ著シ、是レ山脈ノ海ニ没シタル所ニテ、堅牢ナル山脈ノミ海ノ浸蝕ヲ免レテ半島或ハ岬角トナレルナリ。海峡ノ重ナルモノニハ東ニ鳴門海峡アリ、北ニ來島海峡アリ、西ニ豊後海峡アリ。

徳島縣



參考問題

- 一 位置及び境界ヲ示セ
- 二 地形ニツキテ記セ
- 三 平野ニツキテ
- 四 祖谷山中ニツキ知レル所アリヤ
- 五 交通ヲ見ヨ
- 六 海上ノ交通ハ如何
- 七 主要物産ヲ列舉セヨ
- 八 吉野川ト物産等トノ關係如何
- 九 風俗習慣ガ大阪ニ似タルハ何故ナルカ
- 一〇 徳島市ニツキテ記セ
- 一一 鳴門海峡ニツキテ記セ
- 一二 撫養ニツキテ語レ
- 一三 本邦四大島ヲ分ツ海峡瀬戸ヲ問フ(三十四年商船校)

徳島縣 (日本地理一〇一)

一 位置及境界 四國ノ東端ニ位シ、北ハ香川縣ニ接シ、東南一帯ハ海ニ面シ、西南ハ高知愛媛ノ二縣ニ界ス。

二 地形 縣内到ル所山地タリ、香川トノ縣界チ東走スルハ讃岐山脈ニシテ、吉野川ヲ距テ、南方ノ山地ハ四國山脈ノ本脈タリ、峻峰劍山聳ユ、四國第一ノ巖山ニシテ登山者甚々多シ。

吉野川ハ或ハ四國三郎ト稱セラレ、四國第一ノ大河ニシテ、高知縣ノ中部山中ニ發源シ、中流ニテ横谷ヲナシ池田附近ニテ殆ソド直角ニ東折シテ鳴門海峽ニ入ル、下流分流多ク三角洲ノ發達著シク運輸灌溉ノ便多シ。中流ニ注ク祖谷川ノ溪谷ハ所謂祖谷山中ニシテ人跡殆ソド到ラザル所ナシトイフ。

三 交通 海上大阪トノ交通盛ナリ、サレバ風俗習慣ヨリ商業取引ニ至ルマテ大阪ト大關係アリ。鐵道ハ徳島線ニシテ吉野川ノ中流船戶ニ至ル。

四 物産 吉野川流域發達ス、上流ノ煙草、中流以下ノ藍名高シ、海岸ニハ撫養附近ニ齋田鹽ヲ出ス。

五 都會

徳島市 (六、五) 蜂須賀氏二十六萬石ノ地ニシテ四國第一ノ都會ナレドモ商工業ハ振ハズ。鳴門海峽ハ有名ナル潮流ノ速ナル所ニテ舟行甚々危険ナリ、撫養港之ニ面シ其ノ避難港タリ附近ヨリ鹽ヲ産ス。

池田 吉野川ノ上流ニアリ、煙草ノ名產地トシテ聞ユ。

香川縣

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

高松市  
丸龜市  
多度津  
善通寺  
琴平

(日本地理一〇二)

參考問題

- 一 位置ヲ問フ
- 二 地形ヲ明述セヨ
- 三 交通ニツキテ記セ
- 四 海上ノ交通ハ如何
- 五 縣内ノ主要物産ヲ記セ
- 六 人口稠密ニ都會多キハ何故ナルカ
- 七 都會ノ分布ヲ問フ
- 八 高松市ニツキテ語レ
- 九 丸龜市ニツキテ
- 一〇 多度津ニツキテ
- 一一 善通寺ハ?
- 一二 琴平ハ
- 一三 小豆島ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ
- 一四 本邦師團所在地ノ名稱ヲ列記セヨ (三十七年海軍機關校)

香川縣 (日本地理 1011)

- 一 位置及境界 四國ノ東北隅ニ位シ、北ハ内海ヲ隔テ、岡山縣ト相對シ、東西ハ播磨灘備後灘ニヨリテ限ラレ、南ハ徳島愛媛ノ二縣ニ界ス。
- 二 地形 面積甚ク狭ク、南方ニハ讃岐山脈ノ連亘スレバ河流モ又小二平野モ狭シ。鳴嶼ノ主ナルモノニハ小豆島及ビ鹽飽諸島アリ。
- 三 交通 二鐵道ハ高松市ニ起リ多度津ヲ經テ琴平ニ達スル讃岐線ノミナレバ、隣縣トノ交通甚ク不便ナリト雖モ、海上ノ交通ハ甚ク便利ニテ、高松、多度津、丸龜等ノ良港アリ、從テ人文ノ發達モ對岸ノ岡山縣ニ類ス。
- 四 物産 面積小ナリト雖モ生産力ニ富ミ、人口甚ク稠密ナリ。甘蔗ノ栽培ハ内地ノ首位ヲ占メ、製鹽業ハ一二ヲ爭ヒ坂出附近ヲ中心トス。近來工業大ニ發達シ麥稈眞田、木綿織等アリ。又小豆島ヨリハ醬油ヲ産ス。
- 五 都會 高松市 (四、二) 縣廳ノ所在地ニシテ内海航路ノ要津タリ、讃岐線ハ此地ヨリ起リ琴平ニ至ル。市ノ東ニハ史上ノ名高キ屋島アリ。丸龜市 (二、七) 商業盛ナリ。多度津 良港アリ、尾ノ道市ノ交通盛ナリ。善通寺 第十一師團司令部ノ所在地ニシテ僧空海ノ生地トシテ聞ユ。琴平 金刀比羅宮アリ船乗ノ信仰甚ク、三月、十月ノ大祭ニハ信者ノ參拜甚ク多シ。

愛媛縣

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 交通
- 四 物産
- 五 都會

(日本地理 1013)

松山市。道後。三津濱。高濱。宇和島。今治。新居濱。四坂島。別子

參考問題

- 一 地形ヲ略述セヨ
- 二 交通ニツキテ語レ
- 三 港ノ主ナルモノヲ述ベヨ
- 四 主要物産ハ
- 五 松山市ニツキテ語レ
- 六 高濱ニツキテ
- 七 宇和島ニツキテ
- 八 新居濱ハ如何ナル所ナルカ
- 九 別子銅山ニツキテ語レ
- 〇 左ニ記スル名稱ノ所在國名ヲ記セ (三十四陸軍幼年校)
- 一 琵琶湖
- 二 諏訪湖
- 三 猿間湖
- 四 霞ヶ浦
- 五 八郎潟
- 六 別子銅山
- 七 霧島山
- 八 阿蘇山

愛媛縣 (日本地理一〇三)

- 一 位置及境界 四國ノ西北隅ヲ占メ、北ハ伊豫灘、安藝灘、燧灘ニヨリテ限ラレ、東ハ香川、徳島ノ二縣ニ隣リ、南ハ高知縣ニ界シ、西ハ豊後水道ニ臨ム。
- 二 地形 縣ノ南境ヲ走ルモノハ四國山脈ニシテ、其ノ支脈北ニ延ビテ高繩半島トナリ、其ノ北端、來島海峽ニヨリテ燧灘安藝灘ヲ隔ツ。重信川下流ニハ松山平野アリ、肱川ノ西南ニ進メバ佐田岬多ク海中ニ斗出シテ豊後海峽ヲ距テ、大分縣ノ佐賀ノ關ト相對ス、豊後水道ニ面シテハ平地殆ンドナク純然タルリアス式ノ地相ヲ備フ。
- 三 交通 鐵道ハ松山市附近ニアルノミニシテ、悉ク私設伊豫鐵道ナリ。
- 四 物産 農産トシテハ米穀ノ外、蠶アリ、松山市附近ヨリハ伊豫絨、松山綿ヲ出シ、別子ヨリハ銅ヲ出シ、市川ニハアンチモニーノ産出アリ。沿海ハ製鹽業盛ナリ。
- 五 都會 人文ノ關係廣嶋縣ト相似タリ。松山市 (四、二) 重信川下流ニアリ、縣廳ノ所在地ニシテ私設伊豫鐵道アリテ交通ヲ助ク。附近ニ有名ナル道後溫泉アリ。三津濱。高濱。共ニ縣内ノ良港ニシテ松山市ノ門港ニ當ル。高濱ハ宇品港トノ間、鐵道連絡ノ航路アリ。宇和島。西海岸ニ於ケル主要ナル港ナリ。今治。綿ネルノ産地タリ。新居濱。別子銅山ノ外港ニシテ此ノ地ヨリ別子銅山專用ノ鐵道出ヅ。附近四坂島ニハ別子銅山ノ精煉所アリ。

高知縣

- 一 位置及境界
  - 二 地形
  - 三 物産
  - 四 交通
  - 五 都會
- 高知市、伊野、安藝、須崎、宿毛、

(日本地理一〇四)

參考問題

- 一 位置ヲ記セ
- 二 境界ヲ語レ
- 三 地形ト交通トノ關係ヲ述ベヨ
- 四 海上ノ交通ハ何レト行ハル、カ
- 五 地形ト氣候ト物産トノ關係ヲ問フ
- 六 主ナル水産物ハ如何
- 七 其ノ主ナル漁場ハ如何
- 八 高知市ニツキテ記セ
- 九 伊野ノ物産ニツキテ述ベヨ
- 一〇 宿毛ニツキテ記セ

高知縣 (日本地理一〇四)

- 一 位置及ビ境界 四國ノ南半ヲ占メ、北境一帯ハ愛媛徳島ノ二縣ニ界シ、南ハ太平洋ニ面ス。
- 二 地形 縣内利所山地ナリ、河流ニハ物部川、仁淀川、四萬十川(渡川)アリ、物部仁淀二川ノ下流ニ稍ヤ平地アリ。土佐灣ノ沿岸ハ出入ニ乏シク只高知市ノ南ニ浦戸灣アリ、室戸岬ト蹉趾岬トハ遠ク太平洋中ニ突出シ、附近ニ暗礁多シ。
- 三 物産 水産業甚ダ盛ナリ、鯨、鮪ノ漁甚ダ多ク、鱈節ハ實ニ天下第一品ナリ。又沿海ニハ珊瑚、眞珠ノ採集ニ名アリ、室戸岬蹉趾岬ヲ其ノ主産地トス。又南、海ニ面シ北、山ヲ負フニヨリ雨量多ク隨テ森林到ル所繁茂シ、樟ノ自然林アリ。仁淀川流域ノ製紙業盛ナリ。
- 四 交通 陸上ノ通甚ダ不便ナリ、サレバ古來特殊ノ發達ナシ、人ノ氣質等モ、他ト自ラ異ナリ。交通ハ只海路大阪トノ間ニ行ハル、ノミナレバ文化一般ニ劣ル
- 五 都會 高知市 (三、七) 山内氏二十四萬石ノ城地ニシテ縣廳ノ所在地ナリ。浦戸灣(吸江灣)ニ錨地アリ大阪トノ交通ヲ掌ル。伊野 製紙業ノ中心ナリ。安藝、須崎、共ニ港タリ航路ノ交通ヲ助ク。宿毛、

瀬戸内海

- 一 範圍
- 二 主ナル灘及ビ灣
- 三 交通
- 四 商業貿易
- 五 産業
- 六 軍事
- 七 風景

(日本地理一〇五)

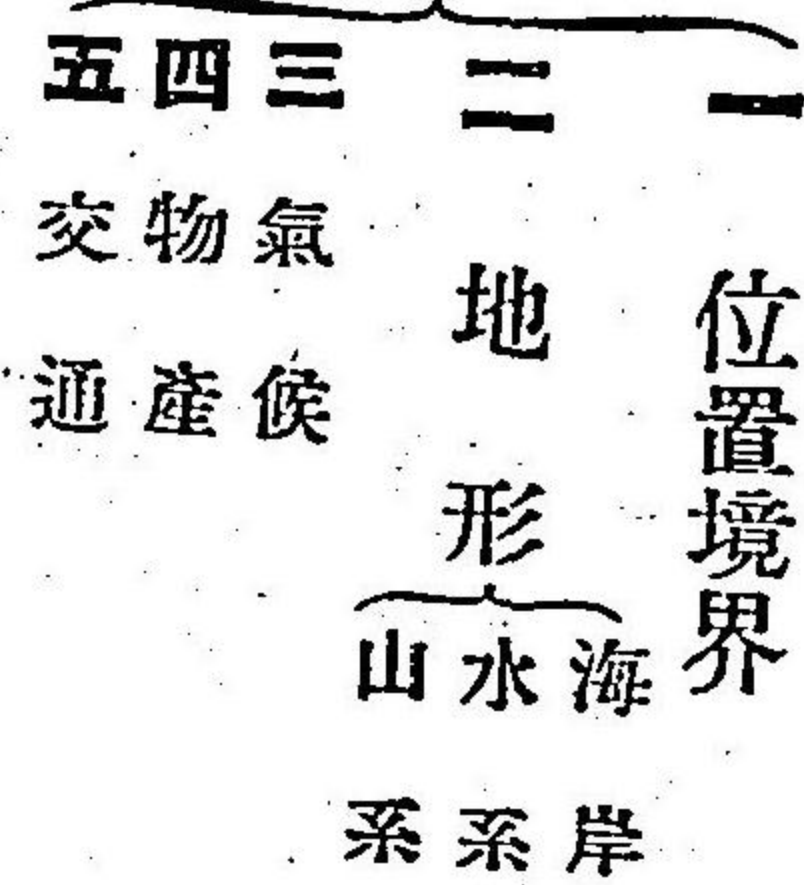
參考問題

- 一 瀬戸内海ノ範圍ヲ問フ
- 二 内海トハ如何ナルモノゾ
- 三 瀬戸内海中ノ主ナル灣入及ビ灘ヲ列舉セヨ
- 四 外洋ト通ズル海峡ヲ舉ゲ其ノ通有性ヲ示セ
- 五 交通上ヨリ見タル内海ハ?
- 六 古來史上ニ見エシ内海航行ノ主要ナル出來事ヲ記セ
- 七 沿岸ノ主ナル港ヲ列舉セヨ
- 八 沿岸ノ産業ニツキテ記セ
- 九 四國ノ北半ガ中國ト頗ル相似タルハ何故ナルカ
- 一〇 要塞ノ所在地ヲ記セ
- 一一 吳軍港ニツキテ語レ
- 一二 沿岸ニアル師團ニツキテ記セ
- 一三 内海ノ風景ハ如何
- 一四 瀬戸内海ノ産業交通氣候ニツキテ知ル所ヲ記セ
- 一五 (二十五年東京高師) 瀬戸内海ニ於ケル要港及ビ海峡ヲ記セ (三十年商船校)

瀬戸内海 (日本地理一〇五)

- 一 範圍、本州四國九州ノ間ニ包マレタル内海ヲ云ヒ紀淡、鳴門、豊豫、下關ノ四海峽ニヨリテ外洋ニ連ナル、何レモ潮流、速ナルガ、就中鳴門下關ノ二海峽有名ナリ。
- 二 主ナル灘及ビ灣、内海ハ數多ノ海ニ分ル稱シテ灘或ハ灣ト云フ。大阪灣、播磨灘、備後灘、安藝灘、廣嶋灣、伊豫灘、周防灘其ノ主ナルモノナリ。
- 三 交通 内海ハ恰モ一ノ湖水ノ如シ風波靜カニシテ長港灣ニ富ミ、沿岸諸縣ノ往來甚ク頻繁ナリ。大阪、神戸、宇野、尾ノ道、糸崎、宇品、下關、高濱、多度津、高松ノ諸港アリ。
- 四 商業貿易 從テ商業及貿易甚ク盛ナリ、貿易港ノ主ナルモノニハ大阪、神戸、糸崎、下ノ關等アリ。
- 五 産業 内海沿岸ノ地ハ概ネ産業相似タリ、特ニ製鹽業ニ於テ然リトス。内海ハ降雨少ク晴天ノ日多ク、且ツ波浪靜穩ニテ海岸マタ遠淺ノ砂濱ナレバ鹽田ヲ作ルニ適シ、蒸發烈シキニヨリ産額多シ。
- 六 軍事 内海ニ面シテ多クノ都會相連ナリ。大阪、神戸、廣嶋等ノ大都會アレバ、嚴重ニ防禦スルノ要アリ。已ニ見ル所アリ、由良要塞ト藝豫要塞、廣嶋灣要塞、下ノ關要塞ヲ設ケテ防備意リナシ。吳軍港亦此ニアリ、又陸軍ニハ大阪、姫路、岡山、廣嶋善通寺等ニ師團アリテ、眞ニ帝國軍事ノ重鎮タリ。
- 七 風景 又風景ノ美ニ富ミ碧海白帆相映シ、島變リ船還ル様ハ世界ノ樂園トモ稱ス可シ。

九州地 (1)



(日本地理一〇六)

參考問題

- 一 九州ノ地位ヲ問フ
- 二 南方ハ何處ト界スルカ
- 三 海岸ノ特徴ヲ擧ゲヨ
- 四 北岸南岸ノ差違ヲ問フ
- 五 西北海岸ニ長港多キハ何故カ
- 六 西北ノ海峽ヲ問フ
- 七 屬島ノ重ナルモノヲ擧ゲヨ
- 八 左ノ諸港ノ位置ヲ問フ  
鳴門 津輕 速吸 對馬 宗谷 下關 千島 壱灣(三十九年機關校)
- 九 左ノ縣廳ノ所在國名及地名ヲ記セ  
佐賀 宮崎(三十三年陸軍幼年校)
- 一〇 九州ノ海岸線ノ概況ヲ述ベヨ(三十三年商船校)
- 一〇 九州ノ海岸線及燈臺ノ所在地ヲ記セ(三十七年商船校)

九州地方(1) (日本地理一〇六)

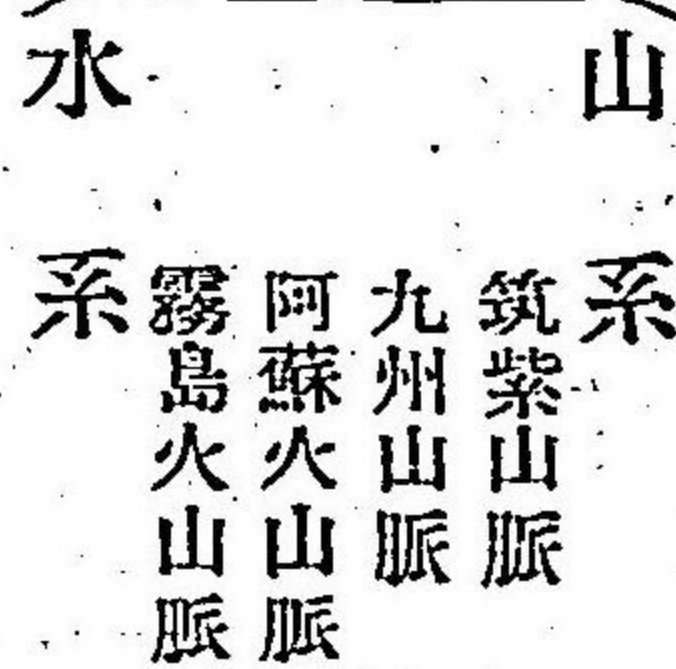
一 位置境界

九州ハ中國四國ノ南西ニ位シテ日本全體ヨリ之ヲ見ル時ハ中央ヨリ稍々西ニアリ、而シテ西北ハ朝鮮海峽ヲ隔テ、韓半島ニ對シ、西ハ東支那海ヲ隔テ、支那帝國ニ向フ、南ハ沖繩列島ト接シテ遠ク臺灣ニ連ナリ、東ハ眇々タル太平洋ニ面ス。

二 地形

海岸—九州本島ヲ見ルニ海岸線ハ頗ル長ク出入ニ富ム、此ノ海岸ニ於テモ南ト北トニ於テハ又各々特色ヲ有ス、南ハ大ナル出入アリテ、北ハ小ナル出入ニ富ム、即チ北岸ハ小肢體ノ發達ニ富ムナリ。今瀬戸内海方面ヨリ順次之レヲ見シニ、内海方面ニハ國東半島突出シテ南ヲ大分灣、北ヲ周防灘トナス。瀬戸内海ヨリ日本海方面ニ出ル所ガ所謂下ノ關海峽ニシテ、中國九州ノ連鎖ヲナシ本邦西部ノ門戸ヲナス、下ノ關海峽ヲ出ツレバ響灘ニシテ玄海灘トナリ風浪荒キ海ナリ、九州北岸ト朝鮮トノ間ニハ壹岐對馬ノ二島アリテ朝鮮ト對馬トノ間ヲ朝鮮海峽一名對馬東水道ト云フ。而シテ九州北岸ハ頗ル小肢體ニ富ミ唐津灣、東松浦半島、伊萬里灣、北松浦半島アリ、平戸瀬戸ヲ過ケレバ西彼杵半島ノ内側ニ大村灣アリ、島原半島ノ内ニ入レバ有明ノ海ヲナシ、其ノ南部ニ天草島アリテ内ニ八代灣ヲ抱ク、肥前ノ前面ニハ五島並ブ。南方ハ薩摩大隅ノ二大半島ノ内ニ鹿兒島灣ヲ抱キ之レヨリ南方ニ川邊十島奄美群島ヲ有ス、東面ハ一體ノ日向灘ナリ。

九州地方(2)



(日本地理一〇七)

參考問題

- 一 重ナル皺曲山脈ヲ云ヘ
  - 二 其ノ中重ナル山ノ名ヲ問フ
  - 三 火山脈ニハ如何ナルモノアルカ
  - 四 其ノ中重ナル山ノ名ヲ問フ
  - 五 阿蘇火山ノ形狀ヲ話セ
  - 六 九州ノ地形ノ特徴ヲ云ヘ
  - 七 分水嶺ノ様子ハ如何
  - 八 重ナル河ヲ舉ゲヨ
  - 九 最大河ハ何ナルカ
  - 一〇 最急流ハ何ナルカ
  - 一一 此等ノ流域ニアル平野ノ狀況ヲ述ベヨ
  - 一二 重ナル平野ヲ問フ
  - 一三 此等ノ平野ヨリ出ル産物ヲ云ヘ
  - 一四 左ノ名稱ノ所在國名ヲ記セ
- 阿蘇山 霧島山 (三十三年陸軍幼年校)

九州地方(2) (日本地理一〇七)

山系 九州ノ骨組ヲナス山脈ニ下ノ四ツアリ、

筑紫山脈(九州北部山脈)

九州山脈(九州南部山脈)

阿蘇火山脈

霧島火山脈

之レナリ。筑紫山脈ハ九州ノ北部ヲ東西ニ走り、則チ長崎縣ノ北ヨリ東向シテ雷山、寶滿山等ヲ起シ、豊前ノ北ニ及ブ。九州山脈ハ薩摩肥後ノ界ヨリ東北ニ延ビテ宮崎縣ト熊本縣ノ界ヲ走り市房山、祖母山(九州第一ノ高山)等ヲ起シ、大分縣ニ入り豊後水道ヲ越テ四國山脈ニ連ナル。阿蘇火山脈ハ長崎縣ニ於テハ温泉岳等ヲナシ、熊本縣ノ東北ニ於テ首峯阿蘇山ヲ噴出シ、之レヨリ大分縣ノ中央ヲ東北ニ延ビ、國東半島ヨリ四國ノ北ニ及ビテ高繩半島讃岐半島ノ方ニ至ル、阿蘇山ハ有名ナル二重火山ナリ。次ニ霧島火山脈ハ日向大隅ノ界ニ於テ首峯霧島山ヲ噴出シ、之レヨリ西南ノ方向ニ走りテ御嶽、開聞岳等ヲ起シ、之レヨリ川邊十島ヲ經テ沖繩縣ノ内側ノ島々ヲ連ネテ臺灣ノ北岸ニ及ブ。以上述ベシ如ク九州ハ大ナル山脈ガ殆ンド東西南北ニ連亘スルヲ以テ、分水嶺ノ如キモ一定セズ、河ハ四方ニ流ル、北ニハ遠賀川流レ、西ニ入ルガ筑後川、白川、球摩川ニシテ又九州第一ノ長流、川内川アリ、東ニハ大淀川五箇瀬川等ガ日向灘ニ注ギ、瀬戸内海ニハ大野川等アリ。平地ハ割合ニ少ナク筑後川ノ流域ニ筑紫平野、肥後ノ西北岸ニ肥後平野アリテ何レモ米ノ産地ナリ。

(日本地理一〇八)

九州地方(3)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 氣候
- 四 物産
- 五 交通

參考問題

- 一 九州ノ氣候ハ如何
- 二 北部ト南方トニ差違アルカ
- 三 南方ニ雨多キ理由ヲ述ベヨ
- 四 黒潮ノ流ル、方向ヲ云ヘ
- 五 其ノ本流支流ヲ問フ
- 六 礦物ノ重ナルモノヲ擧ゲヨ
- 七 礦物ハ北方ト南方トニテ差違アルカ
- 八 金及ビ石炭ノ鑛山ヲ云ヘ
- 九 農産物ノ重ナルモノヲ云ヘ
- 一〇 工藝品ニハ如何ナルモノアルカ
- 一一 林産ニハ如何ナルモノアルカ
- 一二 人吉本線ノ南端ヲ云ヘ
- 一三 其ノ外重ナル鐵路ヲ云ヘ
- 一四 航路ヲ問フ



九州地方(3) (日本地理一〇八)

一 氣候—九州ノ氣候ハ一體ニ溫和ニシテ南部ニ至ルニ從ヒ亞熱帶的ノ氣候トナル、殊ニ南部ニハ雨多ク大島ノ如キハ日本最多雨ノ所タリ、之レ一ハ黒潮ノ影響ニヨル。黒潮ハ南フイリツピン群島附近ヨリ起リテ、琉球列島ニ沿フテ東北ニ流レ、大隅ノ南端ニ於テ二分シ、本流ハ尙東北向シテ日向ノ海岸ヨリ四國ノ沖ヲ東ニ流レテ東北ニ向フ。支流ハ九州ノ西方ヲ流レテ對馬海峽ヲ通り日本海ニ入ル、此ノ黒潮ガ多クノ水蒸氣ヲ齎ラス。

二 物産—九州ハ頗ル礦物ニ富ム、北部福岡縣ヨリハ石炭ヲ出シ殆ンド全國ノ七割ヲ占ム、南方鹿兒島縣ハ金ニ富ミ、之レ又全國第一位ニ位ス。其ノ他北部南部ニ於テハ農産物ノ上ニ又多少ノ別ヲ認ムルコトトナ得、北部ハ肥後平野筑紫平野等ヨリ米ヲ出シ、南部ハ薩摩芋ヲ産ス、尙ホ南ニ至ルニ從ヒ粟及ビ砂糖ノ産多シ、尙薩南諸島ニ波レバ熱帶植物芭蕉榕樹等ヲ見ル。工製品ニ於テハ陶器ニ於テ有田燒、薩摩燒等ヲ出シ、織物ニ於テ小倉織、博多織及ビ多クノ飛白織ヲ産ス。

三 交通—九州ノ幹線ヲナセルハ鹿兒島線ニテ九州ヲ縦貫ス、今重ナル鐵路、航路ヲ舉ゲンニ

- 鹿兒島線 (門司—鹿兒島)
- 長崎本線 (島栖—長崎)
- 北清航路 上海航路、歐洲航路ノ寄港、
- 韓國航路
- 臺灣航路

福岡縣(1)

(日本地理一〇九)

- 一 位置境界
- 二 地形 (海岸、山脈、下河流)
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

參考問題

- 一—福岡縣ハ九州ノ何處ニ當ルカ
- 二—又本縣ハ何方ノ海ニ出ルカ
- 三—四圍ノ縣名ヲ舉ゲヨ
- 四—海岸ノ出入ヲ云ヘ
- 五—有明海ノ特徵ヲ云ヘ
- 六—何山脈ガ通ルカ
- 七—又重ナル山ヲ云ヘ
- 八—河ハ何方ニ流ルカ
- 九—重ナル河ヲ問フ
- 一〇—平野ノ有様ヲ説明セヨ
- 一一—名高キ物産ヲ舉ゲヨ
- 一二—石炭ノ産出地ヲ云ヘ
- 一三—工製品ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 一四—農産物ヲ云ヘ
- 一五—日本ノ石炭産地ニツキ知レル所ヲ記セ (三十九)
- 一六—九州ノ炭田及港ノ所在ヲ記セ (三十六年商船校)
- 一七—九州ノ炭田及港ノ名稱ヲ記セ (四十年商船校)

### 福岡縣

(1)

#### 一 位置及境界

福岡縣ハ九州ノ北部ヲ占メ、中國地方ト下ノ關海峽ヲ以テ相對ス、北ハ日本海ニ臨ミ、西ヨリ西南方ハ佐賀縣、有明海ニ接シ、南ハ熊本縣、東ハ大分縣ヨリ瀬戸内海ニ及ビ。筑前、筑後及豊前ノ北半ヲ占ム。

#### 二 地形

海岸 福岡縣ハ東ハ周防灘、北ハ日本海、西南ハ有明海ニ出テ、三面海ニ出タル特徴ヲ有ス。周防灘ヨリ下ノ關海峽ニ入レバ其ノ最モ峽キ所ヲ早瀬ノ瀬戸ト云ヒ、西ニ彦島横ハル、響灘、玄海灘ニ出ツレバ小肢體發達シテ博多灣唐津灣等アリテ門司、若松、博多等ノ開港場ヲ有ス。遠ク海上ニハ常陸丸、ノ名殘リヲ止メシ沖島アリ、有明海ハ淺クシテ潮ノ干満甚シク大牟田ノ開港場アリ。山脈ト河流ト國中、筑紫山脈東西ニ連亘シテ丘陵性ノ地形ヲナシ、西佐賀縣トノ界ニ雷山、背振山アリ、縣ノ中央ニ寶滿山立ツ。南邊ニハ阿蘇火山脈來リテ、熊本大分二縣ノ界ヲナス。而シテ此ノ兩山脈ノ間ニ筑紫二郎ノ稱アル筑後川流レテ、其ノ流域ヲ筑紫平野トナス、有名ナル米ノ產地ナリ。此ノ平野ハ北岸ノ博多灣附近ノ平野ト連絡ス。遠賀川ノ流域モ峽長ナル平野ヲナス。

#### 三 物産

石炭ノ産出全國ノ三分ノ二ヲ出シ遠賀川ノ流域ハ有名ナル筑豊炭田ナリ、又筑後ニハ三池炭田アリ。其ノ他米ハ新瀉縣ニツギ、生蠟ハ全國一ナリ、而シテ工藝品多ク綿絲、吳藍、清酒、醬油、緋、縞等アリ。

### 福岡縣(2)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

福岡 大宰府 芥屋大門 若松 (以下次號)

#### 參考問題

- 一 本縣ヲ通ズル鐵路ヲ舉ゲヨ
- 二 重ナル航路ヲ問フ
- 三 福岡市ノ形ヲ問フ
- 四 福岡市ノ特徴ヲ舉ゲヨ
- 五 福岡ノ物産ヲ云ヘ
- 六 福岡附近ノ古蹟ヲ問フ
- 七 大宰府ハ如何ナル所カ
- 八 芥屋大門ハ如何ニシテ出來タルカ
- 九 若松市ノ特徴ヲ舉ゲヨ
- 〇 九州ノ大都會ハ何處カ

福岡縣 (2)

四 交通

鹿兒島線ハ門司ヨリ起リテ博多、鳥栖、久留米、等ヲ過ギテ熊本縣ニ入ル。

豐州線(小倉—宇佐)

筑豐線(若松—上山田) 田川線(行橋—添田)

伊田線(直方—伊田)

博多灣鐵道(西戸崎、宇美)

航路ハ門司ガ歐州航路ノ出入點ニ當リ、又釜山トハ定期航海アリ。又博多ヨリ滿韓地方ニ至ル航路アリ。

五 都會

福岡市(七、六) 博多灣ニ臨ミ那珂川、市ノ中央ヲ流レテ以東ヲ博多ト云ヒ、以西ヲ福岡ト云フ。博多港ハ開港場ナリ、本市ハ有名ナル博多織ヲ産シ、又福岡醫科大學アリテ九州ノ學問ノ中心ヲナス、高取燒ヲ産ス、市外ニハ東公園、西公園アリ。海ノ中通ニ至ル途中ニ箱崎宮、香椎宮等アリ。此ノ邊ハ元寇ニ有名ナル多々良濱邊ニシテ其ノ遺址多ク、箱崎宮ハ應神仲哀ノ二天皇ヲ祭ル。香椎宮ハ仲哀神功皇后ヲ祭神トス、即チ仲哀ノ熊襲征伐ノ時ノ行在所タリ、太宰府—福岡ヨリ東南ニ位シ府趾アリ、又太宰府神社ニハ菅原道眞公ヲ祀ル。芥屋ノ大門ハ福岡ヨリ西岸唐津灣ニ臨メル海岸ニシテ、海水ノ爲メニ岩石侵蝕サレ奇岩突出シ奇景ヲ以テ世ニ知ラル。若松—(二、七) 洞海ノ入口ニ臨ミテ開港場ヲナシ支那ノ大冶鐵山ヨリ鐵ヲ輸入シ又石炭ヲ輸出ス。

福岡縣 (3) 都會

八幡 小倉 門司 久留米 若松 柳河 大牟田 概要

參考問題

- 一 八幡ニハ何がアルカ
- 二 其處ノ鐵ハ何處ヨリ持チ來ルカ
- 三 小倉ノ特徴ヲ舉ゲヨ
- 四 小倉織ハ何ニ用フルカ
- 五 門司ハ何ノ盛ナル港カ
- 六 門司ノ發達セル原因ヲ云ヘ
- 七 久留米ノ産物ハ何カ
- 八 筑紫平野中ニアル重ナル都會ヲ舉ゲヨ
- 九 大牟田ハ如何ナル港カ
- 一〇 福岡縣ニハ幾ツノ市アルカ
- 一一 又幾ツノ開港場アルカ
- 一二 本縣ノ發達セル原因如何
- 一三 小倉ノ位置市況ヲ記セ(三十三年東京美術校)
- 一四 西海道ニ於ケル貿易港ヲ舉ゲ其ノ所屬縣名ヲ舉ゲヨ(三十六年神戸高商校)

福岡縣

(3)

(日本地理一一一)

八幡 (三) 有名ナル製鐵所ノアル所ニシテ一ニ枝光製鐵所ト云フ。洞ノ海南岸ニ位シ若松ニ入り來リシ大治ノ鐵ハ此ノ地ニテ製鍊サル近來長足ノ發達チナセル地ナリ。

小倉市 (二、八) 鳥渡人吉線ト豊州線ノ合點ニ位シテ、袴地トシテ丈夫ナル小倉織チ出ス。此處ニハ第十二師團司令部アリ。

門司市 (五、三) 此ノ地ハ下ノ關海峽チ隔テ、下ノ關ト相對シ、殆ンド一ツノ港ノ觀チナシ、本邦西部ノ門戶チナセル重要ナル開港場ナリ、背後ノ筑豊炭田ノ石炭チ輸出シ全國ノ三分一以上ノ石炭ハ此ノ地ヨリ輸出ス。人吉本線ハ此ノ地ニ起リ歐州航路ハ此ノ地ニ寄港セルナリ。船舶ノ出入ハ唯ダ神戸ニ一步チ讓ヅルノミナリ、又下ノ關要塞地帯ニアリ。本邦ニ於ケル新興地ノ一タルニ逆カズ。

久留米市 (三、三) 筑紫平野ニ出ヅレバ筑後川ノ曲リ目ニ位シテ久留米市アリ、米ノ取引盛ニシテ又久留米飛白、及綿チ産ス久留米綴ハ價廉ニシテ實用ニ適ス。

若津港 ハ河港ニシテ米ノ集散地

柳河 ハ疊表ノ産多シ  
大牟田 ハ開港場ニシテ有明海ニ臨ミ内部ニ有名ナル三池炭田チ有シテ此ノ石炭ノ積出港タリ。  
概要 以上述ブル如ク福岡縣ハ生産ニ富ミ石炭ハ山チナシ工藝品多クシテ文化ノ發達セル全國一二ニ位ス、開港場ノ如キ門司、若松、博多、大牟田ノ四港チ有シ又門司、小倉、福岡、久留米ノ四市チ有ス。

佐賀縣

- 一 位置境界
- 二 地形
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

(日本地理一一二)

參考問題

- 一 佐賀縣ノ位置ヲ問フ
- 二 本縣ハ何海ニ面スルカ
- 三 何山脈ガ通ルカ
- 四 如何ナル種類ノ物産アルカ
- 五 鐵路ヲ舉ゲヨ
- 六 佐賀ノ狀況ヲ云ヘ
- 七 重ナル港チ舉ゲヨ
- 八 名護屋ハ如何ナル所カ
- 九 朝鮮ニ渡ル海底電線ハ何處ヨリ海ニ入ルカ
- 〇 佐賀縣人ノ特質ヲ云ヘ

佐賀縣 (日本地理 一一二)

一 位置境界

佐賀縣ハ肥前ノ東半ヲ有シ肥前半島ノ脚部ニ當レリ、西前面ニハ長崎縣横ハリ東ハ福岡縣ニ接ス。南ハ有明海ニ出テ北ハ玄海灘ニ臨メリ。

二 地形

縣ノ北部ヲ東西ニ走レルカ築紫山脈ニシテ福岡縣トノ界ニ背振山アリ。長崎縣ノ界ニハ阿蘇火山脈中ニ屬スル多良岳立テリ。南方有明海ハ遠淺ノ海ニシテ此ノ沿岸ガ福岡縣ヨリノ續キナル築紫平野ナリ。有明ナル米ノ産地ナリ。北岸ハ小肢體發達シテ良港アリ。

三 物産

石炭ハ縣内ヨリ多ク出テ其ノ産額福岡縣ニ次ク。燒物ニハ有名ナル磁器有由燒アリ。(産地ハ有田、伊萬里ナリ)

四 交通

長崎本線(鳥栖—長崎)此ノ支線ニ  
唐津線(久保田—西唐津)  
伊萬里線(有田—伊萬里)

五 都會

佐賀市 (三、五) 佐賀ハ築紫平野ノ中心ニ位シ、鳥栖ヨリ遠カラズ。縣廳所在地ニシテ清酒ノ産名高シ。人民一體ニ元氣ヲ帯ビ學生ハ多ク海軍ヲ志望スル傾キアリ。有明海岸ニハ住ノ江開港場アリ。唐津 唐津灣頭ニ位シテ開港場タリ、重ニ石炭ヲ輸出ス。唐津燒ヲ出ス。唐津線ハ町ノ西方西唐津ニ延ベリ。名護屋ト呼子。共ニ東松浦半島ノ頭ニアリテ名護屋ハ秀吉朝鮮征伐ノ陣所タリ。呼子ハ壹岐對馬ヲ經テ釜山ニ至ル海底電線ノ起點ナリ。

長崎縣(1)

- 一 位置境界
- 二 地形 (海岸 陸部)
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

(日本地理 一一三)

參考問題

- 一 本縣ノ位置ヲ問フ
- 二 地形ノ上ノ特徴ヲ云ヘ
- 三 重ナル出入ヲ云ヘ
- 四 重ナル島嶼ヲ舉ゲヨ
- 五 本縣ニ良港多キハ何故カ
- 六 陸部ノ狀況ヲ云ヘ
- 七 如何ナル種ノ物産多キカ
- 八 海産物ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 九 陸上ノ産物ヲ云ヘ
- 一〇 鐵路ヲ云ヘ
- 一一 航路ヲ云ヘ
- 一二 五島列島中ニアル島名ヲ大小ノ順ニ記セ(三十二年水産講習所)

## 長崎縣 (1) (日本地理 一一三)

### 一 位置境界

長崎縣ハ肥前半島ノ前面部ヲ占メ肥前ノ西半ヲ有ス、東ハ佐賀縣ニ接シ北、西、南ノ三方ハ海ニ面ス。

### 二 地形

海岸 長崎縣ノ地形ハ海岸ノ出入及ビ島嶼多キコトガ其ノ特色ナリ。即チ縣ノ内側ハ有明海ニシテ島原半島突出シ熊本縣ニ對ス。前面ニハ西彼杵半島横ハリテ内ニ大村灣ヲ抱ク。此ノ灣ト有明海トノ間ノ最モ峽キ所ヲ諫早ノ地峽ト云フ。平戸瀬戸ヲ通リテ北岸ニ出ヅレバ伊萬里灣入り込ム。而シテ北岸ト壹岐島トノ間ハ壹岐海峽ニシテ更ニ西北ニ對島横ハリ上ノ二島ヨリ成ル、壹岐トノ間ヲ對馬海峽一名對馬西水道ト云フ。對馬ハ朝鮮ト相對シ朝鮮海峽一名對馬東水道ヲナス。縣ノ前面ニハ平戸ノ西南ニ列チナシテ所謂肥前ノ五島横ハレリ、即チ宇久、中通、奈留、久賀、福江ノ五島ナリ。

陸部 一體ニ丘陵性ノ地形ヲ成シ北ニハ築紫山脈ノ西端來リ、南ニハ阿蘇火山脈來リテ溫泉岳。多良岳等ヲ有ス。

三 物産 海産物頗ル多ク、五島附近ハ鯨、烏賊多ク、其ノ他鰯、鱈、海鼠多シ。陸上ニテハ甘藷出テ米ハ少ナシ。又島原半島ニハ牧馬多シ。次ニ高島、端島ノ石炭ハ有名ナリ。

### 四 交通

長崎本線(長崎—島栖)  
佐世保線(早岐—佐世保)  
航路ニハ北清航路、南清航路アリ。

長崎縣(2)

- 一 位置境界
  - 二 地形
  - 三 物産
  - 四 交通
  - 五 都會
- 長崎 佐世保 嚴原  
 竹敷 鹿見 佐須奈  
 福江島

參考問題

- 一 長崎ト外國トノ關係ヲ云ヘ
- 二 長崎ノ發達セル理由如何
- 三 長崎ノ輸出入品ヲ舉ゲヨ
- 四 長崎ノ細工物ヲ問フ
- 五 長崎ヨリノ外國航路ヲ云ヘ
- 六 佐世保ノ軍事上ニ於ケル位置ヲ云ヘ
- 七 第三海軍區ヲ云ヘ
- 八 重ナル開港場ヲ舉ゲヨ
- 九 海軍要港ヲ問フ
- 一〇 無線電信局ノアルハ何處カ
- 一一 左ノ諸地ノ位置ヲ別紙ノ圖ニ記入セヨ  
 舞鶴 八代 嚴原 小濱 室蘭 石卷(四十年  
 海軍機關校)
- 一二 下ノモノハ何國ニアリヤ  
 佐世保 城山 田原坂(三十三年士官校)

長崎縣 (2) (日本地理一四)

五 都會

長崎市(一七) 長崎市ハ彼杵半島ノ面部ニ位シテ西方ハ滿韓ヨリ支那ノ地ヲヒカヘ、自然ノ好位置ニアリ。本邦最古ノ開港場ニシテ、慶長年間オランダ人ガ平戸ニ來リ住セシガ、降ツテ寛永ノ頃ニ至リ長崎ニ來リテ出島ニテ貿易ヲ許サレ、安政年間ニ至ツテ開キシナリ。東洋航路ノ要地ニシテ天津及ビ上海ニ至ル航路ヲ有シ、又上海、ウラジホストツクニ至ル海底電信アリ。

輸出ノ重ナルハ 石炭、錫、  
輸入ノ重ナルハ 米、石油、豆糖

又鼈甲細工ヲ産シ東洋第一ノ三菱造船所、縣廳、控訴院、高等商業學校、醫學專門學校アリ。門司開港サレテヨリ少シク盛況ヲ奮ハル、ノ感アレドモ、尙ホ九州第一ノ大都タルヲ失ハズ。口ノ津ハ開港場ニシテ島原半島ノ鼻ニ位ス、

佐世保市(七、四) 北松浦半島ノ前面ニアリテ第三鎮守府所在地ナリ、我が國西部ニ於ケル最モ大切ナル軍港ニシテ、對島海峡ヲ扼クシ、又要塞アリテ軍事上ノ要地タリ、佐世保線來ル。

嚴原 開港場ニシテ警備隊アリ、對馬上島ニアリ。竹敷 上島ニアリテ下島ニ向フ。海軍要港タリ。

鹿見 共ニ下島ニアリテ開港場タリ。  
佐須奈

福江 良錨地ナシ長崎ヨリ海底電線アリ。而シテ其ノ東南ノ大瀬崎ニハ無線電信局アリ。平戸 松浦氏ノ居城地ナリキ。



熊本縣(1)

- 一 位置境界
- 二 地形 山系水系  
海岸
- 三 物産
- 四 交通
- 五 都會

參考問題

- 一 本縣ノ位置ヲ云ヘ
- 二 本縣ハ何レノ方面ガ高キカ
- 三 如何ナル山脈アルカ
- 四 山脈中ノ重ナル山名ヲ舉ゲヨ
- 五 阿蘇山ノ形式ヲ説明セヨ
- 六 阿蘇山ヨリ流ル、河ハ地文學上何種ノ河カ
- 七 河ニハ如何ナルモノアルカ
- 八 球摩川ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 九 日本三急流トハ何々カ
- 〇 海岸ノ出入島嶼ヲ云ヘ
- 一 如何ナル産業盛ナルカ
- 二 牧馬地方ハ何處カ
- 三 本縣ノ地形上ノ特徴ヲ云ヘ

### 熊本縣 (1)

#### 一 位置境界

九州ノ中央西斜面ニ位シ、肥後ノ國ナリ、西ハ海ニ面シ、北ハ佐賀縣、東ハ宮崎縣、南ハ鹿兒島縣ナリ。

#### 二 地形

山系水系一南ヨリ東方宮崎縣ノ堺ニハ九州南部山脈走リテ高地ヲナシ、市房山、三方山、祖母岳(九州第一ノ高山)アリ。球摩川ハ此ノ山中ニ發シテ凹形ヲナシテ縣ノ南方ヲ流レ海ニ入ル。此ノ河ハ峽谷ヲナシテ流レ、所々ニ急湍ヲナス、所謂最上川、富士川ト共ニ日本三急流ト稱セラル。又縣ノ北東ニカケテ阿蘇火山脈走ル、其ノ主峯阿蘇山ハ有名ナル活火山ニシテ、今日活動セル山ハ中央ノ中岳ナリ。立派ナル二重火山ニシテ舊噴火口ハ東西四里南北六里ニ渡ル世界第一ノ大火口ナリ。火口原ニハ今日十萬ノ人口ヲ有シ馬ノ牧畜盛ナリ。此ノ火口原ヨリ流レ出ル火口瀨ガ所謂白川ニシテ熊本ヲ通リテ海ニ入ル。白河ノ南ニ縁川、北ニ菊地川アリテ此處ニ肥後平野ヲ作り米ノ產地タリ。

海岸一縣ノ中央ヨリ西ニ突出セルガ宇土半島ニシテ、北ガ有明海、南ガ八代海ヲナス。八代海ノ前面ニハ上下ノ天草島横ハレリ。即チ熊本縣ノ地ハ東ヨリ西ニ傾キテ河モ西行シ、北ニ肥後平野ヲナセルナリ。

三 物産一米ハ肥後平野ヨリ産シ有名ナリ、其ノ他農産物ニハ粟、麥アリ。

又馬(阿蘇地方)  
無煙炭、陶土(上下天草島)

### 熊本縣(2)

#### 一 位置及境界

#### 二 地形

#### 三 物産

#### 四 交通

#### 五 都會

熊本、隈府、山鹿  
田原坂、植木、百貫石  
三角、八代、人吉

#### 參考問題

- 一 本縣ヲ通ズル鐵路ヲ舉ゲヨ
- 二 熊本ニアル學校ヲ舉ゲヨ
- 三 熊本市ハ如何ナルコトガ重ナル事カ
- 四 成趣園ノ有様ヲ云ヘ
- 五 熊本附近ノ古戰場ヲ舉ゲヨ
- 六 隈府山鹿ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 七 三角ノ情況如何
- 八 八代ノ生業ハ何カ
- 九 人吉ハ如何ナルコトガ重カ

### 熊本縣 (2)

#### 四 交通

人吉本線(門司—人吉)三角線  
鹿兒島線(人吉—鹿兒島)

此ノ鹿兒島線カ矢嶽ヲ越ル所ハ新式ノ縲狀式軌道ヲ用ヒタルモノニシテ、山ヲ一回シテトンネルニテ向フニ通ズル仕掛ケナリ。

#### 五 都會

熊本市 (五、六) 肥後平野ノ中央ニ位シ白河ニ跨レリ、細川氏五十四萬石ノ舊城地ニシテ、此ノ城ハ町ノ中央ニ位シ加藤清正ガ築ケルナリ。今ハ城内ニ第六師團司令部アリ。町ノ北部ニハ第五高等學校及ビ高等工業學校アリ。木綿織ヲ産ス。氣候ハ不良ノ地ナリ。而シテ町ノ南邊ニ有名ナル成趣園アリ。隈府 菊地川ノ上流ニ位シ、菊地氏ノ根據地タリ。今菊地神社アリ。

山鹿 菊地川ノ中流ニ位シ、溫泉ニ名アリ。

田原坂 共二十年戦争ノ激戦ノ場所タリ。

植木 白河口ニアル良港

三角 宇土半島ノ突端ニアリテ開港場タリ、位置ノ引キ込メル爲メ、余マリ盛ナラズ、三角線ガ宇土ヨリ來レリ

八代 球摩川口ニアリテ、熊本縣南方ノ要都ナリ、水陸交通ノ要路ニ當リ、セメント製造盛ニシテ且ツ

高田燒ヲ産ス。  
人吉 人吉盆地ノ中心ニ位シ、人吉線、鹿兒島線ノ連續點ニ當レリ。北方山中ニ五家ノ莊アリ。

### 大分縣

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 物産
- 四 都會

#### 參考問題

- 一 大分縣ノ位置ヲ云ヘ
- 二 地形ノ特徴ハ如何
- 三 何山脈通ルカ
- 四 海岸出入ノ狀況ヲ云ヘ
- 五 重ナル河ヲ舉ゲヨ
- 六 山國川ノ景色ヲ云ヘ
- 七 平野ハアルカ
- 八 如何ナル物産アルカ
- 九 本縣内ニ溫泉多キハ何故カ
- 一〇 名高キ溫泉ヲ云ヘ
- 一一 宇佐ハ如何ナル所カ
- 一二 大分、日出ノ物産ハ何カ
- 一三 豊後水道中ノ港ヲ舉ゲヨ

# 大分縣

(日本地理一一七)

## 一 位置境界

九州ノ東北ニ位シテ、瀬戸内海ニ面シ、豊前ノ南半ト豊後トチ占ム。北ヨリ西ハ福岡熊本ノ二縣ニ境シ、南ハ宮崎縣ニ境ス。

## 二 地形

阿蘇火山脈ガ縣ノ中央チ東北ニ連亘シ、九重山、由布岳(豊後富士)、双子山等チ起シテ國東半島ヨリ海チ超ヘテ四國ノ北ニ連ナル、爲メニ國内山多ク又溫泉ノ多キコト全國有名ナリ。山國川ハ福岡縣ノ界チ流レテ内海ニ注ケ、此ノ河岸ガ有名ナル耶馬溪ニシテ奇岩突兀トシテ風景ニ富ム。山陽ニヨリテ世ニ紹介サレタルナリ。河口ノ邊ガ少シノ平野チ作ル。縣ノ南方宮崎縣トノ界ニハ、九州南部山脈來リテ祖母岳ノ高峯チナシ、海チ渡リテ四國山脈ニ連ル。大野川、大分川ノ河口ニ又少シ計リノ平野チ有ス。内海ハ國東半島ニヨリテ南北ニ分カレ、北ハ周防灘チナシ南ハ別府灣ナリ。地藏崎ハ佐田岬ト相對シテ豊豫海峽チナシ、以南ハ豊後水道ナリ。此ノ水道ノ海岸ハ小肢體發達シテ碇舶地チ有ス。

## 三 物産

蠶表ハ全國第一ノ産額チ有ス。其ノ原料蘭草ハ國東半島附近ニ生長ス、又内部ニハ硫黄多ク、水道附近ハ水産ニ富ム。

## 四 都會

宇佐ハ八幡宮アリテ宇佐線來ル。別府ハ溫泉。大分町ハ縣廳アリテ對岸ノ日出ト共ニ蠶表チ出ス。臼杵。佐伯ハ水道ニ於ケル良港ナリ。

# 宮崎縣(1)

- 一 位置境界
- 二 地形
- 三 氣候
- 四 物産
- 五 交通
- 六 都會

(日本地理一一八)

## 參考問題

- 一 宮崎縣ノ位置チ話セ
- 二 海岸ノ特徴ハ如何
- 三 本縣ノ傾斜ノ有様チ云ヘ
- 四 何山脈通ルカ
- 五 重ナル河チ舉ゲヨ
- 六 平野ハ如何ナル方面ニアルカ
- 七 本縣内ニ於ケル史上ノ名アル山チ記セヨ
- 八 氣候ノ特徴チ記セ
- 九 物産ノ重ナルモノチ記セ
- 〇 物産ノ上ニ於ケル特別ノモノチ記セ
- 一 交通ノ狀況如何
- 二 宮崎縣ハ山地多キカ
- 三 本縣内ニ良港ナキハ何故カ
- 四 日向灘ノ漁業ノ狀況如何
- 五 沿岸航路ノ有様チ云ヘ

宮崎縣 (1) (日本地理一一八)

一 位置境界

九州ノ中央東斜面ヲ占メテ、熊本縣ト脊合セテナス、北ハ大分縣ニシテ南ハ鹿兒島縣ニ境ス、而シテ東方ハ一面ノ日向灘ナリ。

二 地形

西方熊本縣トノ界ヲ走ルガ、九州南部山脈ニシテ市房山等ノ山ヲ起シ一體ノ山地ヲナシ、北ニ祖母岳アリ。西南鹿兒島縣トノ界ニハ霧島火山脈ノ主峯霧島山アリ、霧島山ハ東西ノ二峯ニ分カレテ、東ヲ高千穂峯ト云ヒテ活火山ヲナシ、西ヲ韓國岳ト云フ。此ノ山腹ニハ火口湖大浪池アリテ常ニ水ヲ有ス。即チ宮崎縣ハ西方高クテ余脈國中ニ亘リ平地少ナシ、河ハ皆西ニ發シテ海ニ入ル、其ノ中重ナルハ大淀川、一ノ瀬川、美々津川、五箇瀬川等アリ。

三 氣候

一體ニ溫暖ニシテ南部ハ雨多ク、熱帶植物生長ス。

四 物産

山地ニハ木材、薪炭、樟樹多ク南部ニハ蒲葵、珈琲、幾那等ノ熱帶植物アリ。椎茸ハ大淀川ノ上流地方ヨリ産ス。牧畜モ盛ニシテ霧島山ノ東麓高原附近ニハ軍馬補充部支部分リ。銅ノ産多クシテ北方五箇瀬川中流ニ位スル日平、槇峯ハ名高シ。近海ハ鰯ノ産多シ。

五 交通

交通ハ至ツテ不十分ニシテ、鐵道ハ未ダ本縣ノ用ニ充タズ、唯ダ鹿兒島ヨリ入ル道路ト、大阪ヨリ來ル航路アルノミナリ。

宮崎縣(2)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 氣候
- 四 物産
- 五 交通
- 六 都會

都會 都城、宮崎、佐土原、高鍋、細島、延岡、油津、飢肥、鶴戶

參考問題

- 一 宮崎縣ニ人口少ナキ理由如何
- 二 本縣ガ人文發達セザル所以ヲ問フ
- 三 人文發達ノ度ハ全國中何位ニ當ルカ
- 四 宮崎縣内ニ市アルカ
- 五 本縣内ノ重ナル都會ヲ舉ゲヨ
- 六 都城ノ賑ハシキ理由如何
- 七 宮崎ノ狀況ヲ問フ
- 八 宮崎神社ハ誰レヲ祭ルカ
- 九 本縣中ノ良港ヲ舉ゲヨ
- 一〇 熱帶的植物ノ生ズルハ何處ノ邊カ
- 一一 鶴戶神社ハ誰レヲ祭ルカ

### 宮崎縣 (2)

#### 六 都會

本縣ハ國史發展ノ地ニシテ、瓊々杵尊、天降アリシ地ナリ、神武天皇ハ此ノ地ヨリ、東方大和國ノ騷ガシキヲ見給ハレテ東征ノ軍ヲ興シ、宮崎ノ濱邊ヨリ船出シテ、創業ノ大業ヲ成シ遂ゲラレタリ。實ニ皇基發源ノ地ナリト雖モ、今日ハ人文未ダ十分ニ發達セズ、人口ノ密度至ツテ粗ナリ。故ニ市トナレル都會ハ一モナシ。

都城 此ノ地ハ鹿兒島縣ヨリノ人口ニ當ツテ、生絲、茶ヲ産シ、商況盛ナルコト縣内第一ナリ。萬年青ヲ産ス、元ト薩摩藩ノ領土ニシテ、今ニ其ノ氣風ヲ有スルハ注意ス可キコトナリ。

宮崎町 大淀川ニ臨ミテ縣廳アリ、神武天皇ヲ祭ツレル官幣大社宮崎宮アリ。近傍ヨリハ煙草及ビ半紙ヲ出ス。

佐土原 ハ一ノ瀬川ニ臨ミ伊東氏ノ城キシ所ナリ。

高鍋 地方ノ名邑タリ。

細島 此ノ港ハ縣下第一ノ良港ニシテ灣内可ナリニ廣ク、美々津川口ト五箇瀬川口トノ中央ニ位ス、而シテ大阪神戸ヨリ鹿兒島ニ通ズル汽船ノ寄港地タリ。

延岡 五箇瀬川ノ河口ニ位シテ地方ノ中心地ナシ近海ハ鱒ノ産多シ。

油津 ハ南方ニ於ケル良港ニシテ矢張り大阪神戸ヨリノ寄港地ニ當レリ。

飲肥 熱帶植物試驗地アリテ、珈琲、幾那ヲ出ス。

鶴戶神社 飲肥ノ東北三里計ノ海岸ニアリテ鶴鶴草茸不合草ヲ祭レル官幣大社ナリ。

#### 鹿兒島縣 (1)

- 一 位置及境界
- 二 地形
- 三 氣候
- 四 物産
- 五 交通
- 六 人情
- 七 都會

#### 參考問題

- 一 鹿兒島縣ノ位置ヲ記セ
- 二 大牛島ヲ何ト云フカ
- 三 大牛島内ノ灣ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 四 海岸出入ノ狀況ヲ問フ
- 五 吹上ガ濱ノ有様ヲ説明セヨ
- 六 薩南諸島ノ名稱ヲ記セヨ
- 七 此等ノ島々ノ成因ヲ問フ
- 八 霧島山ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 九 薩摩富士トハ何山カ
- 一〇 鹿兒島縣ノ地形ノ特徴ハ如何ナルコトカ
- 一一 高壘ヲナスニ至リシ理由ヲ問フ
- 一二 重ナル川ヲ云ヘ
- 一三 平野ハアルカ
- 一四 霧島山脈ノ方向ヲ云ヘ
- 一五 此ノ火山脈ニ屬スル重ナル山及ビ島ヲ記セ
- 一六 本縣ハ山地多キ方カ

鹿兒島縣

(1)

一 位置及境界

鹿兒島縣ハ九州ノ南ニ突出セル二大半島ト、薩南諸島トナ云フ。北ハ熊本縣宮崎縣ニ境シ、南ハ遠ク沖繩諸島ニ連ナル。

二 地形

半島部 薩摩大隅ノ二大半島突出シテ、内ニ鹿兒島灣ヲ抱ケリ。縣ノ中央ヲ東南ノ方向ニ、霧島火山脈走リテ、宮崎縣トノ界ニ霧島山ヲ起シ、櫻島ノ活火山ヲ噴出シ、開聞岳(薩摩富士)ヲナシテ、川邊十島ヲ作ル。其ノ噴出セル火山灰ノ爲メ、一體ノ臺地ヲナシ平地少ナシ。北方、熊本縣トノ界ニハ九州南部山脈横ナル。霧島山麓ニ發セル川内川ハ九州第一ノ長河ニシテ、此ノ沿岸ニ狹長ナル平野アリ。尙ホ有明灣岸ニモ少許ノ平野アリ。海岸ハ八代灣ヨリ出ヅル所。長嶋トノ間ニ黒瀬戸アリ、甌島ハ上下ノ二島ヨリ成ル。川内川口以南、野間岬ニ至ル吹上濱ハ有名ナル砂濱ニシテ砂丘發達シ老松幹ヲ没シテ風景ニ富ム。吹キ上ノ濱ノ眞砂ニ埋レテ老木ナカラノ

小松原哉

ノ句アリ。開聞岬ト佐多岬トガ鹿兒島灣ヲ抱ク。大隅ノ東岸ニハ有明ノ灣アリテ、水深ク灣内廣クシテ多クノ艦船ヲ舶スルヲ得。

嶋嶼部 大隅海峽ノ南ニ、屋久島種子島アリ、其ノ西方ニ並ベルガ八邊十島ナリ、此ノ中、口ノ島以南ヲ寶七島ト云フ。七島ノ南ニ弓形ヲナセルガ奄美群島(大島諸島)ナリ、其ノ中大島最モ大ナリ。

鹿兒島縣

(2)

- 三 氣候
- 四 物産
- 五 交通

參考問題

- 一 本縣ノ氣候ノ特徴如何
- 二 本縣ニハ雪降ルカ
- 三 雨多キハ何故ゾヤ
- 四 暴風ナキカ
- 五 家ノ構造ハ如何ナル風力
- 六 鹿兒島縣ニ於ケル全國第一ノ物産ヲ記セ
- 七 金ノ産地ヲ問フ
- 八 煙草ノ産地ヲ問フ
- 九 錫ノ産地ヲ問フ
- 一〇 工業品ヲ舉ゲヨ
- 一一 名産物ハ何カ
- 一二 水産物ハアルカ
- 一三 農産物ノ重ナルカ
- 一四 山林ノ状況ヲ記セ
- 一五 山産物ノ重ナルカ
- 一六 熱帯的産物ヲ記セ
- 一七 交通ノ状況ヲ云ヘ
- 一八 沖繩ニ於ケル茶及葉煙草ノ主要産地ヲ問フ
- 一九 我國ノ專門校
- 二〇 我國ノ古屋高工校
- 二一 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二二 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二三 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二四 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二五 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二六 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二七 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二八 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 二九 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ
- 三〇 我國ノ漆器陶器ノ重ナル産出地ヲ問フ

### 鹿兒島縣 (2)

#### 三 氣候

一體ニ溫暖ニシテ雨量多シ、之レ暖流ノ影況ニヨルナリ、半島部ハ雪ヲ見ルコトハ往々アレドモ、鳴嶼部ハ全ク雪ヲ見ズ。亞熱帶的ノ氣候ナリ、大島ハ本邦中最多雨ノ地タリ。且ツ秋ニ至レハ時々暴風來襲シテ農作ヲ害スルコトアリ。從フテ家ハ平屋多シ。

#### 四 物産

本縣ハ本邦中、有名ナル物産頗ル多シ。甘藷 全國第一ノ産額ヲ有シ、縣内ノ臺地ノ火山灰層ニハ至ル所ニ生長ス。次ハ沖繩縣、熊本縣ナリ。煙草 質ハ全國一ニシテ殊ニ國分、垂水、指宿、出水ノ煙草、世ニ名高シ。又粟 蕎麥ノ農産物アリ

馬 ノ多キコト全國一タリ。霧島山ノ西麓牧園村ニハ、國立種馬牧場アリ。次ハ熊本縣、岩手縣ナリ。金 全國一。(山ヶ野、牛尾、芹ヶ野、鹿籠)

錫 全國ノ大半ヲ有ス。(鹿兒島ノ南、谷山) 此ノ外鱈節、鰯、烏賊ノ水産物多ク、薩摩燒、薩摩

繻、大島紬、砂糖、アリ、又材木、樟樹アリ。櫻島大根ハ名産ニシテ、周リ四尺許リアリ、質柔カ

ニシテ味佳、漬物ニ用ヒ、代價三錢位ナリ。

#### 五 交通

鹿兒島線ハ門司ヨリ通ジ、本邦縦貫鐵道ノ完成ヲ見シガ昨四十二年ナリ。海ニハ神戸、大阪トノ航路アリテ沖繩ニ向フ、海底電線ハ大隅ノ小根占ヨリ起リテ沖繩及ビ臺灣ニ通ズ。

### 鹿兒島縣 (3)

#### 六 人情

#### 七 都會

鹿兒島 加治木 國分  
霧島神社 山川港 坊  
之津 川内 種子島  
屋久島 名瀬

#### 參考問題

- 一 人情ノ特質ヲ云ヘ
- 二 鹿兒島市ハ何的市カ
- 三 鹿兒島ニアル學校ヲ云ヘ
- 四 市内ノ古蹟ヲ云ヘ
- 五 市ノ工藝品ヲ舉ゲヨ
- 六 鹿兒島ニ來ル鐵路ヲ何ト云フカ
- 七 加治木ノ産物ヲ云ヘ
- 八 沿岸ノ良港ヲ云ヘ
- 九 種子島ノ物産ヲ問フ
- 一〇 屋久島ノ物産ヲ問フ
- 一一 名瀬ハ何處ニアルカ
- 一二 本縣ニ市少キハ何故カ



鹿兒島縣

(3)

六 人情

本縣ハ古來一種ノ特色ヲ有シ、民情質朴ニシテ剛氣ナリ、至ツテ正直ニシテ、物ニ熱中スル性質ナレバ、軍人ニ適ス、學生モ多ク軍人官吏ヲ望ム。

七 都會

鹿兒島市 (六) 鹿兒島灣ノ西北岸ニ位シ。前ハ海ニ臨ミテ、櫻島ハ築山ノ如ク立チ、後ニハ城山ヲ負ヒテ景色ニ富ム、島津氏七十七萬石ノ舊城地ニシテ、縣廳所在地ナリ、第七高等學校造士館、高等農林學校アリテ九州南部ノ學府ヲナス、薩摩燒、緋、錫器ヲ産ス。城山ハ十年戰役ノ時南州翁沒滅ノ地ナリ、今日ハ東京ヨリ四十六時間ニシテ至ルコトヲ得。

加治木 灣頭ニ位シテ鍋釜ノ產地。

國分 加治木ノ東隣ニアリテ煙草ノ產地。此ノ地ニ

アル鹿兒島神社ハ、彦火々出見尊ヲ祭レル官幣大社。

霧島神社 霧島山ノ西麓ニアリテ瓊々杵尊ヲ祭レル

官幣大社。

山川港 灣口ニアル火口港。

坊之津 野間岬ノ南邊ニアル古ノ碇泊地。

川内 川内川ニ臨ミテ向田ヲ中心トシテ商況盛ナ

リ。

種子島 製糖、牧畜盛ナリ。

屋久島 ヨリハ杉材及ビ夜光貝ヲ出ズ、海底電信線

來ル。

名瀬 大島ノ良港ニシテ砂糖ヲ出シ、鹿兒島ヨリノ

寄港地ナリ。

沖繩縣

- 一 位置
- 二 地形
- 三 氣候
- 四 物産
- 五 都會

參考問題

- 一 沖繩縣ノ位置ヲ問フ
- 二 沖繩縣ノ諸島ハ日本全體ヨリ見テ何處ニアルカ
- 三 幾ツノ群島ニ分カレタルカ
- 四 群島ノ名稱ヲ舉ゲヨ
- 五 沖繩縣ノ諸島ハ何山脈ニ屬スルカ
- 六 諸島ノ兩方ノ海ノ深淺ヲ説明セヨ
- 七 良港ナキハ何故カ
- 八 氣候ハ如何
- 九 物産ハ如何ナル種ノモノアルカ
- 一〇 物産ノ各々ヲ舉ゲヨ
- 一一 工藥品ニハ如何ナルモノアルカ
- 一二 琉球人ノ風俗ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 一三 都會ヲ舉ゲヨ
- 一四 航路ヲ云ヘ
- 一五 海底電信線ヲ舉ゲヨ
- 一六 八重山列島ノ位置ヲ述ベヨ(三十五年高商校)

沖繩縣 (日本地理一三三)

一 位置

沖繩縣ハ元ト琉球ト云ヘル地方ニシテ、豊臣秀吉ノ時代ニ島津氏ニ降屬セリ。薩南諸島ヨリ連續セル五十余ノ島嶼ヨリ成リ。臺灣ニ向フ。

二 地形

島ハ弓形ナシテ並ビ、支那山系ノ副系ヨリ成リ内側ニ霧島火山脈ニ屬スル小島散在ス。重ナル島ハ沖繩群島(沖繩嶋)

先島群島(宮古列島(宮古嶋) 八重山列島(石垣嶋、西表等))

此等列島ノ外側ナル太平洋方面ハ水深カケレドモ内側タル東支那海方面ハ淺シ。沿岸ハ珊瑚礁多クシテ、暗礁アリテ良港ニ乏シ。

三 氣候

亞熱帶性ニシテ降雪ヲ見ズ、雨量多ク、颶風來襲シテ、人家ハ平屋テ石壁ヲ廻ラス。

四 物産

熱帶的ノ植物生長シテ芭蕉、榕樹、蒲葵、蘇鐵、榕樹アリ、農産物ニハ甘藷、甘蔗アリ、戸毎ニ豚ヲ飼養ス。琉球繻、芭蕉布、紬、琉球表、泡盛、及ビ有名ナル琉球塗ヲ産ス。

五 都會

琉球人ハ芭蕉布ヲ著、鬘ニ簪ヲサセルコト男女同一ナリ。那覇區(四、五) 開港場、鹿兒島ヨリノ航路及ビ海底電線通ズ、物産多シ。首里巴ハ舊王城テ諸學校アリ。又連天、船浮ノ二港アリ。

臺灣(1)

一	位置
二	地形
三	海岸
四	水系
五	物産
六	商業
七	住民
八	政治

(日本地理一二四)

參考問題

- 一 臺灣ノ位置ヲ明カニセヨ
- 二 臺灣ノ中央ヲ東西ニ通ル大切ナル緯度ヲ云ヘ
- 三 臺灣ノ南、西ハ何國ト界スルカ
- 四 臺灣ト日本トノ關係ヲ述ベヨ
- 五 臺灣ノ形ハ何ノ形ニ似ルカ
- 六 東西岸ノ出入ノ差違ヲ云ヘ
- 七 島嶼ノ重ナルモノヲ云ヘ
- 八 何山脈アルカ
- 九 最高ノ山ハ何カ
- 一〇 東山脈ノ東西兩面ハ何レガ平地ナルカ
- 一一 人文ハ何レノ方面ニ發達セルカ
- 一二 河流ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 一三 臺灣ノ地形ノ特徴ヲ云ヘ
- 一四 臺灣海峽ガ軍事上大切ナル理由如何

臺灣 (1) (日本地理 一二四)

一 位置

本邦ノ最西南ニ位スル臺灣島、及ビ附近ノ諸島ヲ云フ。南ハバシ海峡ヲ隔テ、米領フィリッピンニ對シ、西ハ臺灣海峡ニヨリテ清國福建省ニ對ス。北緯二十三度半ノ緯線ガ、丁度臺灣ノ中央ヲ通過ス。本島ガ支那ノ領トナリシハ、二百四十餘年前、清初ノ頃ナリ。邦人ハ之レヲ高砂嶋ト呼ビ來リ、明治七年ニ臺灣征伐アリ、同二十八年本邦領トナル。

二 地形

海岸 本島ハ恰カモ木ノ葉片ノ形ナシ、出入少ナシ、北ニ富貴角、三貂角アリ、最南端ガ南岬ニシテ、南西岬ト並ビ、バシ海峡ニヨリテ米領ニ對ス。西ハ臺灣海峡ヲ以テ清國ニ對シ、此ノ間ニ澎湖諸島アリ。山系水系 本島ノ稍々東ニ扁シテ、南北ニ連ナルガ臺灣山脈(新高山脈)ナリ、大部ハ未ダ探見十分ナラズト雖モ、高山多ク、本邦第一ノ高山新高山ヲ始メ、シルビヤ山等ノ高山アリ。東岸ハ山迫マリテ絶壁ヲナシ、平地ナク卑南大溪ノ河口ニ平野アルト、北ニ宜蘭ノ平地アルノミナリ。西方ハ傾斜緩ニシテ海岸ニ沿フテ峽長ナル平地ヲ作り、淡水河、大肚溪、大突溪、下淡溪等アリテ、下流多ク數多ノ分流ヲナス、大屯火山脈ハ澎湖諸島ヨリ來リ、本島ノ北端ニ於テ大屯山ヲ起シ、霧島火山脈ニ連ナル。即チ本島ノ地形ノ特色トシテハ、西岸ニ峽長ナル平野アリテ、且ツ西岸ニ多クノ港ヲ有スルコトナリ。

臺灣 (2)

- 三 氣候
- 四 物産
- 五 商業
- 六 住民

(日本地理 一二五)

參考問題

- 一 溫暖ナルハ何故ナ
- 二 臺灣ノ氣候ノ特別ナル點ヲ云ヘ
- 三 乾季雨季ノ起ル原因ヲ説明セヨ
- 四 季候風トハ如何
- 五 何故ニ颶風起ルカ
- 六 林産ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 七 農産物ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 八 動物ヲ舉ゲヨ
- 九 米ノ收穫ガ一年ニ數度出來ルハ何故ナ
- 一〇 農産物ノ出來ルハ何レノ方面カ
- 一一 臺灣ノ輸出品ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 一二 臺灣ハ重ニ何國トノ商業アルカ
- 一三 開港場ヲ舉ゲヨ
- 一四 住民ノ種族ヲ云ヘ
- 一五 生蕃ノ性質ヲ問フ
- 一六 總人口幾何
- 一七 北海道琉球臺灣ノ住民ノ性質及衣住食ハ如何ナルカ(二十四年高商校)

臺灣 (2) (日本地理一二五)

三 氣候

熱帶的ニシテ頗ル溫暖ナリ、ツマリ南半ハ熱帶ノ區域ニ入レルナリ、四季ノ變北ナク、一年ハ乾雨ノ二季ニ分ツコトヲ得ルナリ。雨季ハ夏ノ時節ニシテ、所謂西南季候風ノ吹ク時節ナリ、之レニ反シテ冬季ハ乾季ヲナス。西南季候風ト東北氣候風トノ交代期ニ、彼ノ颶風ヲ起スナリ。

四 物産

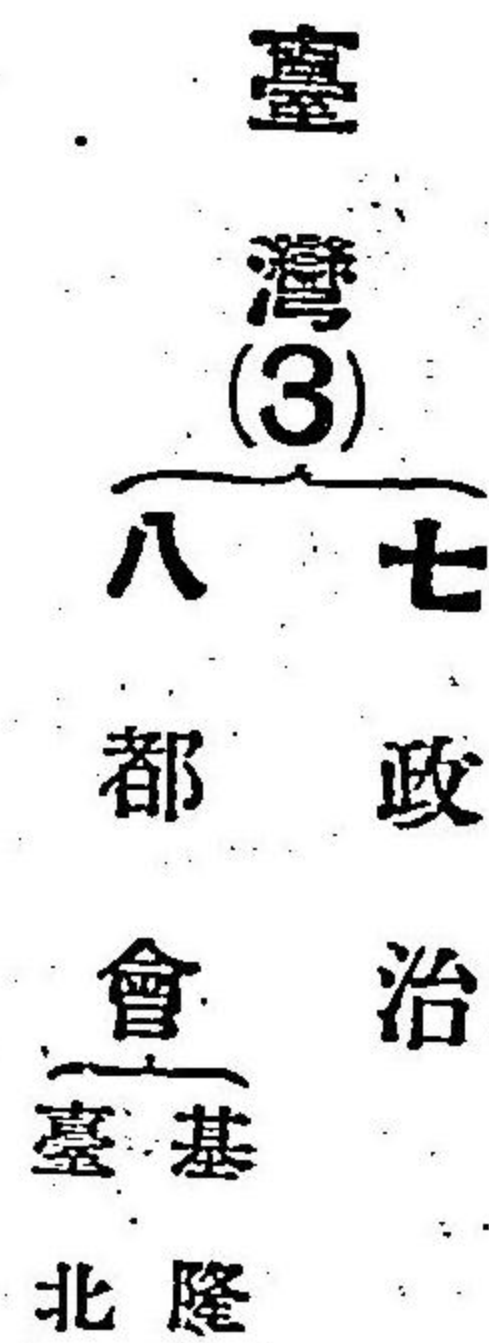
熱帶的ノ性質ヲ帶ビ、樟樹繁茂シ、樟腦油ハ世界ニ名高シ、藤ノ如キハ所々ニ叢生ス、又榕樹、竹、蒲葵、松、檜アリ、農産物トシテハ、西部平野ヨリ米、茶、甘蔗ヲ産ス、米ハ一年二回以上ノ收穫アリ、烏龍茶ハ世ニ名高ク支那ニ輸出ス、又甘藷、落花生、荳等ヲ産ス、鑛物ハ金(瑞芳金山)砂金、石炭ニシテ、北部ニ多ク、西岸ヨリ鹽ヲ出ス、豚ハ本邦第一ニシテ水牛モ名アリ。

五 商業

支那トノ取引盛ニシテ、重ナル輸出品ハ烏龍茶、米、樟腦等、内地ヘハ砂糖、米、樟腦ヲ入ル。輸入品ハ阿片ガ第一ニシテ、内地ヨリハ金巾、卷煙草等ヲ入ル。重ナル開港場ハ淡水、基隆、安平、打狗。

六 住民

凡ソ三百五十萬人ニシテ、内地ニ比セバ密度頗ル大ナリ、内地人ハ僅カニ五萬計アリ、蕃人十萬アリ、大部ハ漢人ニシテ、少許ノマレー人東部ニ住ス、蕃人中生蕃ハ山中ニ生活シテ、猛惡ナル性ヲ具フ、熟蕃ハ早クヨリ支那人ト交リ多ク耕作ニ従フ。



(日本地理一二六)

參考問題

- 一 臺灣ノ政治ヲ問フ
- 二 總督ハ如何ナル權力アルカ
- 三 軍備ノ狀況ヲ述ベヨ
- 四 教育ノ狀況ヲ述ベヨ
- 五 都會ノ構造ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 六 都會ハ如何ナル所ニ發達セルカ
- 七 内部ノ都會ト港トノ關係如何
- 八 基隆ハ如何ナル所カ
- 九 基隆ト内地トノ航路ヲ問フ
- 一〇 此處ヨリ起レル鐵道ヲ何ト云フカ
- 一一 臺北ノ市街ノ構造ヲ云ヘ
- 一二 臺北ノ位置ヲ云ヘ
- 一三 臺北ハ如何ナルコトガ大切ナル都會カ
- 一四 鐵道線ヲ云ヘ
- 一五 臺灣神社ハ誰レヲ祭ルカ

臺灣 (3) (日本地理一二六)

七 政治

上ニ總督府アリテ總督ハ文武ノ權ヲ有ス、全島ヲ二十廳ニ分ツ、軍備ハ第一守備隊ガ臺北ニ、第二守備隊ガ臺南ニアリ。  
 教育モ漸次進歩シテ、國語學校、國語傳習所、公學校、小學校及ヒ私立ノ義塾、書店等備ハリ、日ニ進運ニ向カヒ、今ヤ臺灣ノ收入ハ歳出ヲ補フテ餘マリアルニ至レリ。

八 都會

都會ノ特徴一町ノ周圍ニ城壁ヲ廻ラセルコト、全ク支那風ナリ。而シテ其ノ都會ノ分布ハ西部ニ多ク、自ラ二條ノ排列ヲナシテ、鐵道線ニ沿フテ並ベルモノト、此等ノ都會ハ各々海岸ニ港ヲ控カヘテ居ルコトナリ、此等ノ都會モ漸次内地風ニ化シ、今ハ煉瓦ノ建物並ビ立ツ所ヲ見ルニ至レリ。  
 基隆 (一、五) 内地ヨリ臺灣ニ渡ル門戶ニシテ、開港場ヲナシ、長崎、門司、鹿兒島ヨリノ航路及ビ沖繩諸島ヲ渡リ來レル海底電線上陸ス、臺灣縱貫鐵道ノ起點タリ、附近ハ石炭、金ノ産アリ。  
 臺北 (八) 臺北盆地ノ中心ニ位シ、淡水河ノ三支流、基隆河、新店河、大姑陷綫ノ合點ニ位シ、一方ニハ縱貫鐵道通シテ、淡水ヘ支線ヲ出シ、水陸ノ便多ク、臺灣第一ノ大都ナリ、市街ヲ三區ニ分カチ、北部大稻埕ハ新街ニシテ、烏龍茶ノ取引盛ナリ、中央城内ニハ總督府、覆審院等アリテ城壁ヲ有ス、西南艋舺ハ舊街ナリ、諸學校此ノ地ニアリ、臺北神社ハ北白川ノ宮ヲ祭ル官幣大社ナリ。

(日本地理一二七)

臺灣(4) 八都會

淡水	新竹	苗栗
臺中	彰化	埔里社
嘉義	臺南	安平
鳳山	打狗	恒春
宜蘭	媽宮	

參考問題

- 一 淡水港ノ輸出品ヲ舉ゲヨ
- 二 特別輸出港ヲ舉ゲヨ
- 三 臺中彰化ハ如何ナルコトガ盛カ
- 四 安平打狗ニツキ知ル所ヲ云ヘ
- 五 臺灣縱貫鐵道ノ起點終點ヲ問フ
- 六 媽宮ハ如何ナル所カ
- 七 臺灣ノ地圖ヲ畫キテ左ノ地名ヲ記入セヨ  
 臺東、臺北、基隆、安平、打狗(三十六年機關校)

臺灣 (4) (日本地理一三七)

九都會

淡水港 (滬尾) 開港場ニシテ、支那厦門へ烏龍茶、  
 罌腦ヲ出ス、淡水深支線、來リ盛況ヲ呈ス、北東ニ  
 大屯山ノ硫黃。北投溫泉アリ。  
 新竹 農産ノ中心、特別開港場(支那支ト貿易ス)舊  
 港ヲ控フ。  
 苗栗 樟腦ノ産多シ後壠ノ特別開港場アリ。  
 臺中 (元ノ臺灣府) 米ノ集散地。特別開港場塗葛  
 窟ト通ズ。  
 彰化 (一、五) 米ノ中心地。西ニ鹿港アリテ支那  
 船多ク出入ス。  
 埔里社 臺中ノ東方山中ニアリテ漢人蕃人ノ雜居地  
 タリ。  
 嘉義 ハ砂糖ヲ出シ、下湖口、東石港ノ二特別開港場  
 ナ控ユ、  
 臺南(五、二) 舊首都タリ、砂糖ノ中心地  
 安平 臺南ノ西ニ位シ重ナル開港場ニシテ砂糖、樟  
 腦ヲ厦門へ出ス、馬公へ海底電線通ズ  
 鳳山 砂糖ヲ産ス  
 打狗 開港場、米、砂糖、鹽ノ輸出多シ。鐵道ノ終點。  
 恒春 最南ノ名邑、北ニ牡丹社アリ。  
 東港ハ特別開港場テ淡水河口ニアリ、  
 宜蘭 平地ノ中心ニアリテ要地ヲナス、其ノ南岸ニ  
 蘇澳港アリテ、附近ヨリ、藤麻ヲ産ス。  
 媽宮(馬公)澎湖諸島ハ五十餘嶋ヨリ成リ、中ニ澎  
 湖、漁翁、白砂ノ三島ガ巴形ヲ成シテ、内ニ澎湖港  
 ナナシ、馬公ノ港アリ、要港ヲ要塞アリ。特別開港場。

一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八

北海道ノ位置ヲ説明セヨ  
 千島ハ如何ナル形ニ並ブカ  
 日本ノ最東端最北端ハ何島カ  
 本島ノ沿革ヲ云ヘ  
 本島ノ形ハ何ニ似タルカ  
 本島ノ山脈ハ何ニ合ヒタル處ハ何處ノ邊カ  
 重山脈ノ名ヲ舉ゲヨ  
 重山脈ハ何山系ニ屬スルカ  
 火山脈ガ幾ツアルカ  
 重ナル火山ノ方面ニ流ル、カ  
 河ハ如何ナル方面ニ流ル、カ  
 重ナル河ヲ云ヘ  
 平野ハ如何ナル處ニアルカ  
 海岸ハ如何ナル處ニアルカ  
 屬島ノ出入ヲ説明セヨ  
 北海道ノ地形及河流ニ就キテ記セ (三十九年商  
 船校)

北海道(1)

一 位置境界  
 二 氣候  
 三 物産  
 四 住民  
 五 政治  
 六 交通  
 七 都會  
 八 都會

(日本地理一三八)

參考問題

### 北海道 (1)

#### 一 位置境界

北海道ハ一二十州島ト云ヒ、南ハ津輕海峽ニヨリテ本州ニ對シ、北ハ宗谷海峽ニヨリテ樺太ニ對ス。本島ノ東ヨリ飛石ノ如ク列チナシテ、東北ニ並ベルチ千島ト云ヒ、露領カムチヤツカ半島ニ接シ、其ノ間チ千島海峽ト云フ。

本島ハ元ト蝦夷島ト云ヒ、明治二年ニ蝦夷ノ稱チ改メテ北海道ト云ヘリ。同八年ニ及ビ、露國ト樺太、千島交換チナシ、千島チ本島ニ加フ。

#### 二 地形

本島ハ恰カモ島ノ翼チ張レルガ如キ形チナシ、尾ニ當ル方ガ本州ニ對ス、即チ惠山岬、白神崎ハ青森縣ノ下北半島、津輕半島ト對シテ津輕海峽チナス、西ニ廻ハレバ、積丹半島アリテ小樽灣チ抱キ、中ニ小樽ノ良港アリ、西北海中ニハ利尻、禮文ニ島アリ、宗谷岬ハ樺太ノ西能登呂岬ニ向フ、オホーツク海岸ハ單調ニシテ猿轡、網走湖アリ、知床半島ノ端ハ知床岬ニシテ、花吹半島ノ端ハ納沙布岬ナリ。

本島ノ中央チ南北ニ走ル山脈ガ樺太山脈ノ續キニシテ、此ノ北半チ天鹽山脈、南半チ日高山脈ト云フ、中ニ天鹽岳、石狩岳、芽室山等アリ、而シテ此ノ山脈ト十文字チナシテ、千島ノ方ヨリ來ル山脈ガ、千島火山脈ナリ、中ニ雄阿寒岳、雌阿寒岳、又タツカムシユベ山、オプダシケ山等アリ、又本島ノ西部ハ千島火山脈ト那須火山脈ガ交又シテ火山叢チナス。即チ本島ハ中央高クシテ河ハ三斜面ニ流ル、石狩川、天鹽川、十勝川等ノ沿岸ニハ相當ノ平野アリ。

### 北海道 (2)

- 三 氣候
- 四 物産

#### 參考問題

- 一 氣温ノ低キハ何故カ
- 二 本島中最寒ノ地方ハ何處カ
- 三 東西海岸ニテ温度ノ差違アルハ何故カ
- 四 東岸ガ夏季ニ霧多キハ何故カ
- 五 本島附近ニ流レ來ル海流チ云ハ
- 六 如何ナル種類ノ物産アルカ
- 七 材木ノ重ナルモノチ舉ゲヨ
- 八 如何ナル礦物出ヅルカ
- 九 石炭ノ産地チ舉ゲヨ
- 〇 砂金ノ産地チ問フ
- 一 農産物チ舉ゲヨ
- 二 水産物ノ多キハ何故カ
- 三 水産物ノ重ナルモノチ舉ゲヨ
- 四 本島開墾ノ状況チ述ベヨ
- 五 出入品ノ重ナルモノチ舉ゲヨ
- 六 我國ニ於ケル石炭、石油、銅、鐵、硫黃、アンチモニ主ナル産地名各一チ舉ゲヨ (三十八年山口高商校)

### 北海道 (2)

#### 三 氣候

本州ニ比スレバ氣温ノ低キコト勿論ニシテ、降雪ハ半歳ニ及ビ、内部上川地方ハ、攝氏ノ零度以下四十一度ニ降りシコトアリ、而シテ寒暖兩海流ノ影響ニヨリ、東西ノ海岸ニハ自ラ差違アリ、西方ハ對島海流ノ爲メ割合ニ温和ナレドモ、東部ハ千島海流ノ爲メ海岸ハ氷ニ鎖サレ、翌年ノ三四月頃ニ至リ、氷ガ退却シテ冰山ヲナシ、霧深クシテ非常ニ航海ニ危険ナリ。

#### 四 物産

土地肥沃ニシテ、開墾事業發達シ、農業モ餘程進歩セリ、大麥、小麥、大豆、小豆、馬鈴薯、亞麻、米等アリ山ニ林産多クシテ蝦夷松、櫻松、白楊(鐵道枕木、マツチノ軸木)等名高ク。礦物ニハ石炭多クシテ福岡縣ニ次ケリ。夕張、幌內、幾春別、歌志内等ノ炭山、名アリ。又砂金、硫黄ノ産アリ、水産物ハ頗ル多ク、所謂世界三大漁場(ノルウエーノ近海、ニユーフオンドランドノ近海)ノ一ニ位スル地方ナレバ、其ノ産額頗ル多シ、鮭ノ如キハ諸川ノ中、石狩川ノ如キハ最モ多ク、鱒モ河海ニ多シ、鯨ハ搾粕トシテ肥料トナリ、其ノ金額ハ年ニ一千万圓ニ上ルト云フ、又鱈アリ。昆布ハ全國ノ産額ノ三分ノ一ヲ占ム。即チ北海道ノ物産ハ水産物、林産、農産物ノ三者ト礦物ナリ。輸出入品ノ重ナルハ、外國ヘ材木、マツチ、内地ヘハ水産物、材木、外國ヨリ石油、内地ヨリ米、反物、ナリ。

### 北海道 (3)

五 住民  
六 政治  
七 交通

#### 參考問題

- 一 總人口幾何
- 二 如何ナル種族住スルカ
- 三 アイヌノ根據地ヲ問フ
- 四 アイヌノ性質ヲ云ヘ
- 五 アイヌノ生活ノ狀況ヲ云ヘ
- 六 屯田兵トハ如何ナルモノナリシカ
- 七 アイヌノ男女ノ様子ヲ問フ
- 八 如何ニシテ治ムルカ
- 九 本島ノ地方政治ヲ問フ
- 一〇 鐵路ノ重ナルモノヲ舉ゲヨ
- 一一 各鐵路ノ起點終點ヲ云ヘ
- 一二 石狩平野ニ鐵路ガ集マリ居ルハ何故カ
- 一三 本島ノ内部ニ入り込ムニハ何線ニヨル可キカ
- 一四 本島ノ縦貫鐵道ハ何線カ
- 一五 本州地方トノ航路ノ狀況ヲ問フ
- 一六 樺太トノ航路ヲ云ヘ
- 一七 北海道ノ國名ヲ圖中ニ記入セヨ (三十四年兵學校)



### 北海道 (3)

#### 五 住民

總數ハ百十九萬以上ニ上リ。其ノ内大部分ハ勿論内地人ニシテ、一萬八千人位ガアイヌ族ナリ、アイヌハ日高地方ニ住シ、性質溫和ニシテ、男子ハ鬚多ク女ハ鰥ス、漁業ヲ業トスルモノ多シ、政府ハアイヌニ對シ々々ノ保護ヲ與ヘ居レリ。人民ノ密度粗ニシテ半島部種ハ割合ニ密ナリ、北海道開拓ヲ計ル爲メニ盛ニ内地人ノ移任ヲ獎勵セリ、先キニハ屯田兵ノ組織アリテ、開墾ノ傍ラ兵事ヲ練習スル制モアリキ、アイヌノ住居ヲ見ルニ、圓木ヲ地中ニ立テ、屋根ハ茅葺キトシ所謂掘立テ小屋ナリ、屋内ハ中央ニ爐ヲ切リテ、其ノ廻リニ板ヲ敷キ居間トセリ。迷信深クシテ屋外ノ一隅ニ御幣ヲ立ツ。

#### 六 政治

北海道ハ内地ト行政ヲ異ニシ、北海道廳ヲ札幌ニオキテ、全體ヲ總轄シ其ノ長ヲ長官ト云フ、其ノ下ニ三區十六支廳アリテ、全體ヲ管轄セリ。

#### 七 交通

- 鐵路 函館本線(函館旭川間)
- 幌内線(岩見澤—幌内)
- 歌志内線(砂川—歌志内)
- 手宮線(手宮—小樽)
- 室蘭本線(岩見澤—室蘭)
- 夕張線(追分—夕張)
- 釧路線(旭川—釧路)
- 天鹽線(旭川—名寄)

### 北海道(4) 都會(一)

- 函館
- 五稜廓
- 福山
- 江差
- 壽都
- 岩内
- 小樽
- 札幌(以下次號)

#### 參考問題

- 一 本島中都會ノ多キハ何處カ
- 二 函館ハ如何ナルコトガ盛ナルカ
- 三 本島ニ入り込ムニハ何處ヨリスルカ
- 四 函館ノ輸出入品ヲ云ヘ
- 五 西岸ノ漁業ノ中心地ヲ舉ゲヨ
- 六 五稜廓トハ如何ナル所カ
- 七 小樽ノ特徴ヲ舉ゲヨ
- 八 小樽ガ盛ニナリシ理由如何
- 九 小樽ニ何學校アルカ
- 一〇 札幌ハ何處ニアルカ
- 一一 札幌ハ何々ガ重ナル都會カ
- 一二 石狩平野ハ如何ナル産業ガ盛ナルカ
- 一三 北海道ノ略圖ヲ畫キ下ノ地名ヲ記入セヨ  
宗谷岬、襟裳岬、函館、室蘭、小樽、札幌、  
(四十年兵學校)
- 一四 下ノ地名ノ所在ヲ記セ(三十四年士官校)  
小樽、淡水、五稜廓、箱崎、鹿見港、伏木、

### 北海道 (4)

#### 八 都會

函館區 (八、八) 本州ニ向ヒタル交通上ノ要路ニ當リ、横濱トノ航路ハ勿論ノコト、青森トハ定期航路アリ、港灣ハ自然ノ良港ヲナシ、風波ヲ防ケニ十分ナリ、早クヨリ貿易港トナリテ商業盛ナリ、此ノ地ヨリ輸出スルモノハ、硫黄、昆布等ノ水産物  
輸入スルモノハ石油等

支廳、控所院、税關アリ、函館本線ハ此レヨリ内部ニ通ズ

五稜廓 函館ヨリ里計リ北方ニアリテ、函館戰爭ニ榎本武揚ノ據リシ所タリ、今ハ其ノ外濠ヲ製氷所トス。

#### 福山(舊松前)

江差 鯨、鱈、昆布ノ水産物多ク、内ニモ岩内最モ盛  
壽都 鱈、昆布ノ水産物多ク、内ニモ岩内最モ盛  
岩内

小樽區 (九) 小樽灣頭ニ位シテ本島第一ノ開港場、西廻ノ航路來リテ商業殷盛ナリ、陸ニハ函館本線アリ。又航路ノ終點ニ位シ、近時樺太ガ我が領土トナリシヨリ、其ノ門戸トナリ市況日ニ盛トナル。外國貿易ハ函館ヲ凌ギ、重ナル輸出品ハ木材ナリ、高等商業學校新設ノ地タリ。

札幌 (五、六) 豊平川ニ臨ミテ、石狩平野ノ中心ナス、チ整然タル市街ニシテ、道廳、東北大學ノ農科大學アリ、ビール、麻絲、砂糖ノ工業盛ナリ。函館本線通過ス、石狩平野ハ拓殖ノ中心地ニシテ森林、牧場連ル。

### 北海道(5) 八 都會 (二)

岩見澤 室蘭 旭川  
天鹽 増毛 紋別  
平取 浦河 大津  
帶廣 釧路 厚岸  
根室 網走 枝幸  
千島

#### 參考問題

- 一 岩見澤ハ如何ナル所カ
- 二 東北岸ノ港ヲ舉ゲヨ
- 三 釧路、根室、厚岸、花咲ニツキ記セ
- 四 東方ニ於ケル水産物ノ中心地ヲ舉ゲヨ
- 五 千島ノ列島ヲ舉ゲヨ
- 六 左ノ諸國ニ屬スル著名ナル港灣各一ツヲ舉ゲヨ  
渡島、後志、釧路、陸前、羽後、越中(三十二年機關校)
- 七 北海道東部ノ要港ヲ舉ゲヨ(三十五年高商校)

### 北海道 (5)

岩見澤 石狩平野ニ於ケル炭田及ビ農産地ノ中心ニシテ、鐵道線ノ衝ニ當リ貨物ノ集散大ナリ、支廳所在地タリ。

室蘭 繪鞆岬ノ内側ニアリテ、札幌へ入ル門戸ヲナシ、開港場タリ、鐵道之レヨリ内部ニ通ズ、即チ水陸ノ交通路ニ當リ、石炭ノ輸出多シ。

旭川 (三、三) 上川盆地ノ中心ニシテ、東西南北ノ交通線交又シ、一ハ十勝ニ通ジ、一ハ天鹽ニ向フ、第七師團司令部所在地タリ、支廳アリ。諸種ノ工場設置サレツ、アリ。

天鹽 天鹽川口ニアリテ昆布ノ取引盛大ナリ、増毛 鮭ノ積出多シ。

紋別 砂糖製造地。  
平取 沙流川ノ中流ニ位シテアイヌ多シ。  
浦河 支廳アリ。

大津 十勝川口ニアリテ鮭漁ニ名アリ。  
帶廣 十勝平野ノ中央ニアリテ支廳アリ。

釧路 釧路川口ニアリテ開港場タリ、夏季ハ霧深ク、冬季ハ結氷ノ爲メ十分ニ發達セズ、鐵道ハ内部ノ旭川ノ方ヨリ來リ通ズ。

厚岸 厚岸灣ニアリテ、波隱カナレド、水淺クシテ大船入ルヲ得ズ、灣内ハ牡蠣ノ産アリ。

根室 鮭ノ漁場ヲ有ス、冬季結氷ノ際ハ花咲ヨリ荷揚ス。  
網走 支廳アリ、夏季、船舶ノ出入多シ。  
枝幸 砂金ノ産地。稚内ハ漁業ノ中心地。  
千島 重ナル島ハ擇捉得撫色丹幌筵占守 阿頼度。

### 樺太南部 (1)

- 一 位置
- 二 沿革
- 三 地形
- 四 氣候
- 五 物産
- 六 住民
- 七 政治都會

#### 參考問題

- 一 樺太ノ位置ヲ云ヘ
- 二 樺太ノ西方北方ハ何國ト界スルカ
- 三 樺太ノ國境ヲ話セ
- 四 樺太ノ沿革ヲ云ヘ
- 五 現時ハ如何ニシテ治ムルカ
- 六 樺太ノ面積ハ本邦第何位ニ位スルカ
- 七 四方ノ岬灣ノ狀況ヲ云ヘ
- 八 間宮海峽ノ名ハ如何ニシテ起リシカ
- 九 内部地形ノ狀況ヲ説明セヨ
- 一〇 平野アルカ
- 一一 氣候ハ如何
- 一二 樺太近海ニ於ケル海流ヲ列舉セヨ (四十年水産講習所)
- 一三 樺太五十度以南ノ地圖ヲ畫キ左地ノ所在ヲ記入セヨ。片岡岬、海豹島、七郎灣、近藤岬、東伏見灣、對馬崎、千歲灣、重藏岬、海鳥島、間宮海峽(三十九年山口高商校)

### 樺太南部 (1)

#### 一 位置

北緯五十度以南ノ地ヲ云ヒ、北半ハ露領ナリ。西ハ  
間宮海峡ヲ隔テ、アジア大陸ノシベリアニ對シ、東  
ホツク海ナリ。南ハ宗谷海峡ニヨリテ北海道ニ對ハ  
オス。

#### 二 沿革

樺太ハ元ト奥蝦夷ト稱セラレ、何國ニ屬ス可キカ不  
明ナリシガ、幕末ニ及ビ、露人が段々南下シ來リシ  
ヲ以テ、我レトノ關係起リ、遂ニ明治八年ニ及ビテ、  
日本ヨリ榎本武揚ガ露國ニ使シ、千島樺太交換問題  
ヲ結着シテ收マリシガ、日露戰爭ノ結果遂ニ我が者  
トナリ、北緯五十度以南ノ地ヲ我レニ割讓セシナリ。  
現時樺太廳アリテ之レヲ治ム。

#### 三 地形

外國人ハ樺太ヲ呼ビテ、サハリン島ト云フ、我が領土  
ノ面積ハ、本邦大島中、第五位ヲ占ム。  
形恰カモ乾魚ノ如ギ形ヲナシ、東オホーツク海岸ニ  
ハ、片岡岬突出シテ七郎灣ヲ抱キ、近藤岬重藏岬ノ間  
ニ東伏見灣アリ。西方間宮海峡ハ、今ヨリ凡ソ百年  
前、間宮林藏氏ノ探見ニヨリテ發見サレ、樺太ガ島ナ  
ルコトヲ始メテ知リシナリ。域内ハ二條ノ山脈アリ、  
テ、所謂樺太山系ノ元ヲナシ、火山ハ至ツテ少ナク、  
概ネ死火山ナリ、中央ヲ幌内川南下シテ、其ノ河岸ニ  
平地アリ。

#### 四 氣候

北海道ヨリモ一層寒クシテ氣溫低シ。冬ハ沿岸氷結  
シ、夏ハ海霧多シ、寒流ハ島ノ東西ヲ南下ス。

### 樺太南部 (2)

- 五 物産
  - 六 住民
  - 七 政治都會
- 大泊 豊原 眞岡

#### 參考問題

- 一 如何ナル種類ノ物産アルカ
- 二 林業ハ如何ナル風力
- 三 如何ナル海産物アルカ
- 四 海産物多キハ何故カ
- 五 鑛産ノ狀況ハ如何
- 六 農業ノ狀況ハ如何
- 七 如何ナル土人居ルカ
- 八 ギリヤクノ風習ハ如何
- 九 オロツコノ風習ハ如何
- 一〇 此ノ二族ハ何處ニ住スルカ
- 一一 此ノ二族ノ人口ハ幾何
- 一二 如何ニシテ樺太ヲ治ムルカ
- 一三 政治ノ中心地ハ何處カ
- 一四 本島ニハ何處ヨリ入り込ム可キカ
- 一五 本島中唯一ノ不凍港ハ何處カ

樺太南部 (2)

五 物産

植物ハ寒帶的ノモノ多ク、針葉樹林ノ森林ニシテ、蝦夷松、樅松、落葉松等多シ。一面ニ地上ニ生ゼルハ、苔類ニシテ、彼ノ北氷洋岸ニテ見ルツンドラノ類ナリ。而シテ近海ハ世界三大漁場ノ一ニ位スルヲ以テ、水産物頗ル多ク、西岸間宮海峡附近ハ、鯨ノ漁業盛ニシテ、東岸オホーツク海方面ハ、鱒ノ産多ク、樺太ノ一大富源ヲナス、其ノ外海獸ニハ、臘胸獸、獵虎アリ。礦物ハ石炭ノ埋藏豐富ナルドモ未ダ十分ニ採掘サレズ、

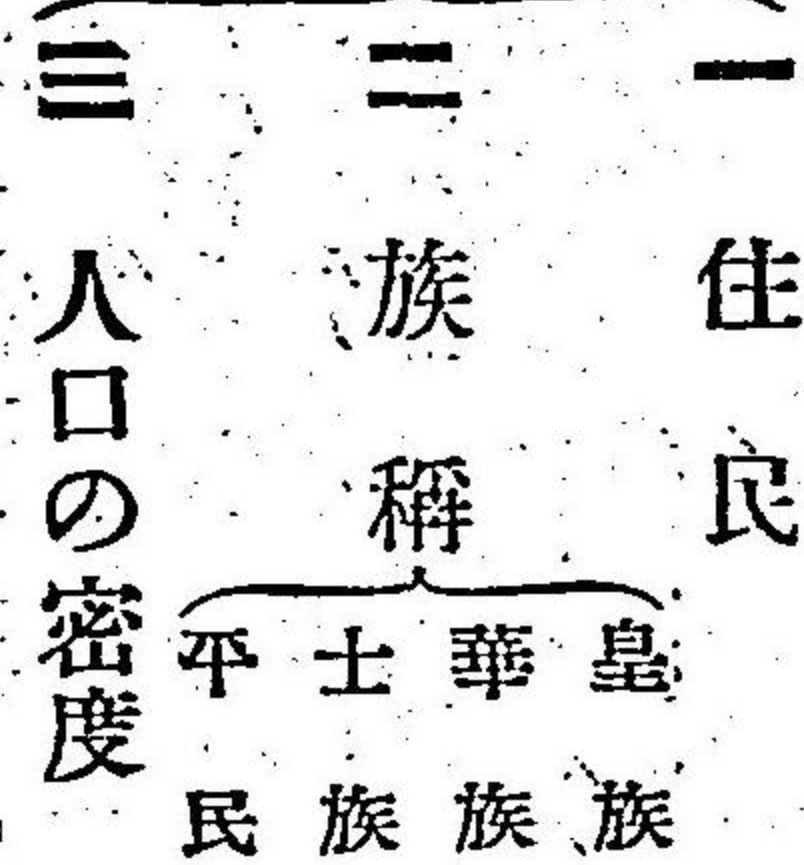
六 住民

本島ノ土人トシテ永ク住居シ居ルモノハアイヌ。オロツコ。ギリヤク。ナリ。ギリヤクハ髮ヲ剃ラズシテ、組ミテ後方ニ垂レ、或ハ捲髮トナス、獸皮ヲ着、肉類ヲ食シ又木ノ實ヲ食ス。人死スレバ箱ニ入レテ林間ニ放置スルノ習慣アリ。オロツコモ獸肉ヲ食ヒテ、髮ハ刈リテ短クセリ。此ノ二族ハ共ニ幌内川ノ流域ニ住シ、前者ハ約百人、後者ハ約三百人アリ。

七 政治、都會

現時ハ樺太廳アリテ、之レヲ治メ長官其ノ長タリ、地方ニハ三支廳アリ。(大泊、豊原、眞岡) 大泊 小樽トノ航路アリテ、内地ヨリノ門戸タリ。 豊原 政治、軍事(守備隊)ノ中心地。 眞岡 唯一ノ不凍港タリ。

概 括 (I)



參考問題

- 一 日本ノ全人口ハ何程アルカ
- 二 日本ノ人種ヲ擧ゲヨ
- 三 マライ人種ノ風習ヲ問フ
- 四 アイヌ、ギリヤク、オロツコハ何處ニ住スルカ
- 五 日本ノ各階級ヲ問フ
- 六 親王家ヲ云ヘ
- 七 王家ヲ云ヘ
- 八 日本ノ人口ノ密度ハ世界ノ何位ニ位スルカ
- 九 世界各國ノ人口ノ密度ノ割合ヲ問フ

概括 (I) (日本地理一三五)

一 住民

本邦ノ總人口ハ、五千五百萬ノ多數ニ達セリ、今此ノ人種ヲ見ルニ、勿論大和民族ノ一族タルニ相違ナケレドモ特別ナル種族ヲ擧ケレバ、マライ種族 臺灣ノ東部山中ニ住シ、マライ諸島ヨリ來リシモノナリ、男子ハ額ト頸ニ、女子ハ口ヨリ耳下ニ黥ス、而シテ男女共ニ竹ノ環ヲ耳飾リトス、麻ノ布類ヲ肩ヨリ掛ケテ衣服トナス、アイヌ族 北海道ニ住シ、愚鈍ナリ、ギリヤク 樺太ニ住ス。オロツコ 樺太ニ住ス。

二 族稱

皇族  
華族  
士族  
平民

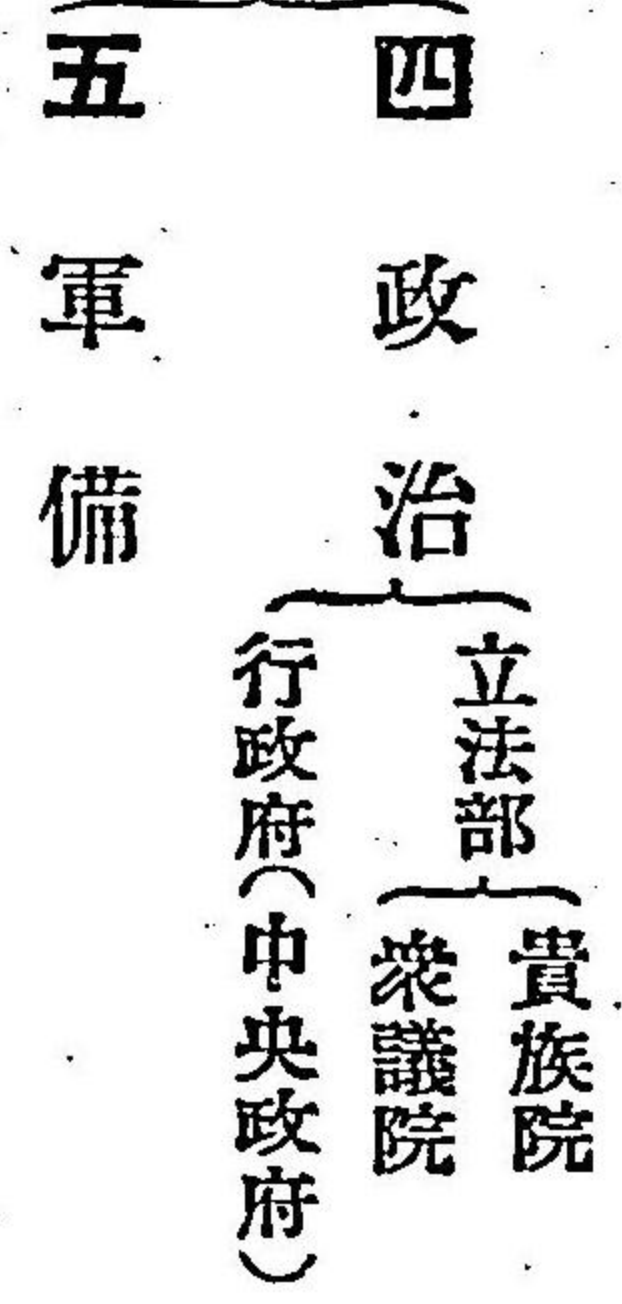
皇族

有栖川宮家、小松宮家、伏見宮家、閑院宮家、東伏見家ノ五親王家  
華項宮家、山階宮家、賀陽宮家、久邇宮家、梨元宮家、朝香宮家、東久邇宮家、北白川宮家、竹田宮家ノ九王家、

三 人口ノ密度 日本ハ世界第四位、今一方里ノ密度ヲ見ルニ

ベルギー(三、八〇〇人) 日 本(一、八〇〇人)  
ヤランダ(二、七〇〇人) イタリア(一、八〇〇人)  
イギリス(二、二〇〇人) ドイツ(一、七〇〇人)

概括 (2)



(日本地理一三六)

參考問題

- 一 立法部トハ何ゾヤ
- 二 貴族院ノ組織ヲ説明セヨ
- 三 勅選議員トハ如何ナルモノカ
- 四 多額納稅議員トハ如何ナルモノカ
- 五 衆議院トハ如何ナルモノカ
- 六 衆議院議員選舉權資格ヲ問フ
- 七 被選舉權者ノ資格ヲ問フ
- 八 行政府トハ如何ナル意味カ
- 九 中央政府ノ組織ヲ問フ
- 〇 地方政治ヲ説明セヨ
- 一 全國ニ幾師團アルカ
- 二 軍港所在地ヲ問フ
- 三 師團所在地ヲ問フ

概括 (2) (日本地理一三六)

四 政治

立法部 (帝國議會アリテ貴族院、衆議院ノ二院ヨリ成ル)

貴族院議員  
皇族中ノ成年ノ男子(終身)  
二十五歳以上ノ公侯爵(終身)  
伯子男爵ハ互選(二十五歳以上)(七年)  
勅選議員 (勳勞アル人又學者中三十歳以上ノモノ勅任者)(終身)  
多額納稅議員 (各府縣多額納稅者十五人中ヨリ互選ス)(七年)

衆議院議員  
有選舉權者  
一 二十五歳以上ノ男子  
二 地租十圓以上ノ納稅者  
三 其ノ他ノ直接國稅十圓以上ノ納稅者  
被選舉權  
一 三十歳以上ノ男子  
二 任期四年  
三 總數三百八十人

行政府

中央政府  
内閣、陸軍、海軍、内務、外務、文部、司法、農商務、逓信、大藏  
地方政治  
三府四十三縣、北海道、樺太ニ府、關東州ニ都督府  
廳、臺灣ニ總督府。朝鮮ニ統監

五 軍備

陸軍ハ十九師團アリ  
海軍ハ四ツノ海軍區ニ分ツ。

概括 (3)

六 條約國  
七 本邦の開港場

(日本地理一三七)

參考問題

一 本邦ノ條約國ハ幾ツアルカ  
二 アジアニ於ケル條約國チ舉ゲヨ  
三 ヨーロッパニ於ケル條約國チ舉ゲヨ  
四 アメリカニ於ケル條約國チ舉ゲヨ  
五 開港場ノ意義ヲ説明セヨ  
六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
二九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
三九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
四九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
五九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
六九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
七九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
八九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九一 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九二 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九三 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九四 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九五 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九六 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九七 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九八 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
九九 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ  
一〇〇 關東地方ニ於ケル開港場チ舉ゲヨ

概括 (3) (日本地理一三七)

六 本邦ノ條約國

アジア(清、シヤム、韓)

ヨーロッパ(ロシア、瑞典、ノルウエー、デンマ

ーク、獨逸、オーストリア、ハンガリ

ア、スウイス、オランダ、ベルギー、

希臘、佛蘭西、イギリス、イスパニア、

ポルトガル、イタリヤ)

アメリカ(合衆國、メキシコ、コロンビア、ペル

ー、ブラジル、アルゼンチン、チリ)

七 本邦ノ開港場

奥羽地方 (青森)

關東地方 (横濱)

中部地方 (名古屋、武豊、四日市、敦賀、七尾、伏木、新潟、夷)

近畿地方 (宮津、大阪、神戸)

中國地方 (下ノ關、濱田、境、絲崎)

九州地方 (那覇、三角、佐須奈、鹿見、阪原、長

崎、口ノ津、住ノ江、唐津、大牟田、

門司、若松、博多)

臺灣 (基隆、淡水、安平、打狗、蘇澳、後龍

舊港、梧棲、鹿港、下港口、東石港、

車港、媽宮)

北海道 (函館、小樽、釧路、室蘭)

此ノ開港場ノ中ニハ制限港カ、或ハ特別輸出港アリ。臺灣ノ特別輸出港ハ支那トノ貿易ノミナリ。

(日本地理一三八)

概括(4) 八 海岸線 九 海流

參考問題

- 一 日本ノ海岸線ノ延長ハ幾何
- 二 海岸線ト文化トノ關係ヲ説ク
- 三 本邦ノ海岸線ノ狀況ヲ説明セヨ
- 四 六大島中海岸線ノ長キハ何處カ
- 五 日本海岸ト太平洋海岸トヲ比較セヨ
- 六 太平洋ノ文化ノ發達セルハ何故カ
- 七 黒潮ノ方向ヲ説ク
- 八 對馬海流トハ如何
- 九 黒潮ノ氣候ノ上ニ及ス影響如何
- 一〇 日本ノ西南地方ニ雨多キハ何故カ
- 一一 冬季日本海岸ニ雪多キハ何故カ
- 一二 海流ト海産物トノ關係ヲ問フ
- 一三 千島海流ノ方向ヲ問フ
- 一四 樺太海流ノ方向ヲ問フ
- 一五 リマン海流ノ方向ヲ問フ
- 一六 寒流ト海産物トノ關係ヲ問フ



概括 (4) (日本地理一三八)

八 海岸線

本邦ハ海岸線割合ニ長クシテ、總延長七千九百里ニ達シ、良港至ル所ニ發達ス、而シテ太平洋海岸ト日本海岸トナ比較スレバ、太平洋岸が出入遙カニ大ニシテ、文化ノ度又從フテ大ナリ、見ヨ本邦中重ナル開港場ハ、悉ク此ノ方面ニ出來居ルナリ、海岸線出入ノ多少ガ、國ノ文化ニ影響スルヤ此クノ如ク大ナリ、今本邦ノ六大島ノ海岸線ノ比較ヲ見ンニ

- 第一九州 (割合一、四)
- 第二本州 (割合六、二)
- 第三四國 (割合五、五)
- 第四北州 (割合二、六)
- 第五樺太 (割合二、五)
- 第六臺灣 (割合一、八)

九 海流

黒潮 (暖流) ハフィリツピン諸島附近ヨリ起リテ東北ノ方向ヲ取リ、臺灣ノ東方ニテハ巾百里ニモ及ブト云フ、進ンテ沖繩諸島ヲ洗ヒ、九州ノ南方テニツニ分レテ、本流ハ九州ノ東方四國ノ南方本州ノ東方ヲ洗フテ、大峽崎附近ヨリ漸次東北ニ廻リテ、太平洋ヲ横ギリ、北米ノ西岸ニ及ブ、此ノ暖流ノ爲メニ其ノ通過スル一帯ノ海岸ニハ、雨多ク又鱈、鯨等ノ漁利多シ、支流ハ對馬海流トナリテ、對馬海峽ヲ通りテ日本海岸ヲ洗ヒ、北州ノ西岸ニ及ブ、冬季日本海斜面ヲ暖カニシ、且ツ雪ヲ多カラシム、ハ、寒流ニハ千島流アリテ、カムチヤツカ半島ヨリ千島ヲ洗ヒ、北州ノ東岸ヨリ南岸ヲ廻リテ金華山沖ニ至ル、又樺太海流ハ樺太ノ東方、リマン海流ハ大陸ニ沿フテ南下ス、鯨、鱈、鯨、海獸伴フ。

概括 (5) 十 教育

普通教育  
高等教育

(日本地理一三九)

參考問題

一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五 一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

普通教育ノ狀況如何  
小學生徒ハ幾何  
中學生徒ハ幾何  
大學ハ幾ツアルカ  
高等學校ガ幾ツアルカ  
高等師範ガ幾ツアルカ  
高等工業ガ幾ツアルカ  
高等商業ガ幾ツアルカ  
高等農林ガ幾ツアルカ  
醫學專門ガ幾ツアルカ  
大學ノ所在地チ云ハ  
高等師範ノ所在地チ云ハ  
高等工業ノ所在地チ云ハ  
高等商業ノ所在地チ云ハ  
高等農林ノ所在地チ云ハ  
醫學專門ノ所在地チ云ハ  
隣學專門學校ノ所在地チ云ハ

概括 (5) (日本地理一三九)

十 教育

普通教育 教育ハ日ニ月ニ進歩シ、下ハ小學校ヨリ上ハ大學ニ至ルマテ、實ニ著シキ進歩ヲ見ルニ至レリ、小學校ノ數モ二萬數千ニ達シ、師範學校ノ如キモ七十校ニ達ス、中學校高女學校合セテ四百校近クニ及ブ、生徒ハ小學生徒五百萬人、中學高女ノ生徒ハ殆ンド十五萬ノ多キヲ數フルニ至レリ、  
 高等教育 大學、高等學校頻リニ増加シ、今日ハ大學ガ三ツ、高等教育程度ノ學校ハ四十餘校アリ、  
 東京帝國大學(法、醫、工、文、理、農各分科)

大學

京都帝國大學(法、醫、文、工、理、各分科)  
 京都帝國大學 福岡醫科大學  
 東北帝國大學(理カ今年九月開校)  
 東北帝國大學 札幌農科大學

高等學校 (第一東京、第二仙臺、第三京都、第四金澤、第五熊本、第六岡山、第七鹿兒島、第八名古屋)

高等師範 男子ガ 東京ト廣島  
 女子ガ 東京ト奈良

高等農林學校(盛岡、鹿兒島)  
 高等商業(東京、神戸、長崎、山口、大阪)  
 醫學專門(千葉、仙臺、岡山、金澤、長崎、愛知縣、京都府、大阪高等醫學校)

高等工業(東京、大阪、名古屋、熊本、仙臺、京)  
 尙東京ニハ外國語、美術、音樂、陸海軍ノ學校アリ、

概括 (6)

一 畜業  
 二 蠶業  
 三 林業  
 四 水産  
 五 鑛業  
 六 工業  
 七 農業

(日本地理一四〇)

參考問題

- 一 農産ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 二 牧畜ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 三 林産ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 四 水産ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 五 鑛物ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 六 工業品ノ種目ヲ舉ゲヨ
- 七 蠶業ノ狀況ヲ説明セヨ
- 八 我國農業及農産物ニ就キ知レル所ヲ記セ(三十四年東京高師)
- 九 左ノ各品ニツキ本邦ノ産額最モ多キ府縣名ヲ舉ゲヨ 陶器、大豆、麻織、綿絲、和紙、羽二重米、茶、生絲、銀(四十年士官校)
- 一〇 我國ニ於ケル水産物輸出品ノ主ナルモノヲ三ヲ舉ゲヨ(三十六年水産講所)

概括 (6) (日本地理一四〇)

一 農産 米(一年二五千萬石餘ノ産出) 麥、甘蔗、大豆、小豆、粟、蕎麥、甘藷、馬鈴薯、棉、大麻、葉藍、葉煙草、

二 牧畜 牛、馬、豚、羊、山羊、鶏、鶩、

三 蠶業 繭 第一 長野、第二 埼玉、第三 群馬、第四 福島、第五 愛知

生絲 第一 長野、第二 群馬、第三 山梨、第四 愛知、第五 埼玉

一年ノ額一億四千萬圓餘

臺灣、北海道、樺太ニハ森林連ナリ其ノ他ノ地方ハ殖林盛ニシテ

一四 林業 杉、松、檜、落葉松、樺、樟樹、羅漢柏、櫻、竹材、樹皮、樹葉、木炭、茸類ノ副産アリ。

世界三大漁場(北海道ノ近海、歐ノ四北ノルウエーノ近海、北米ノ東岸ニユ

一五 水産 鮭、鱈、鯉、鰻、鮭、海豹、臘虎、鰻鮒、(以上ハ重ニ北海道近海)

一六 礦物 銅ハ秋田、栃木、愛媛、岡山ノ順

銀ハ秋田、兵庫、岐阜、島根ノ順

金ハ臺灣、鹿児島、秋田、新潟ノ順

一七 工業 陶磁器、漆器、絹織物、綿絲、綿布、毛織物、細工物

▲地方讀書家の便利▼

一本社は東京市内にて發行する書籍雜誌類を可成廉價に迅速に發送到に注意を加へて専ら地方讀書家の便宜を計るべく候

一 御注文書狀は楷書にて明瞭に書名、發行所、代價等を御認め被下度候

一 代價は凡て市内割引賣價に據る故に謄書、原書を除くの外は別に送料を要せず單に定價金額丈御送附相成候へば郵送料は本社にて負擔可致候

一本社は申込書到着日より三日間内に發送、返信、照會等の手續きを可致候

一 五十錢以上の物品には發送すると同時に發送通知書等を發し候故途中紛失延帶等の爲め空しく時日を費すの憂ひ無之候

一 包装は堅實を旨とし途中にて破損せざる様注意を加へ可申候

一 御照會其他返信を要すべき事項には必ず返信料を御添付相成度候

新案登録 平野式

カードブック

クロース表紙 綴手帳 正價十五錢

右は本カード式參考書と同形同式のものにて形は此外大小各種有之候

英語研究社販賣部

『英語研究』記者編輯

學年別

# 英語カード

- 第一學年 金卅八錢
- 第二學年 金卅八錢
- 第三學年 四十五錢
- 第四學年 四十五錢
- 第五學年 金五十錢
- 小包稅各函八錢
- 學年別英語カード索引 金八錢

英語を覚ゆるにカードを用ゆるの利便は今や大方の等  
 しく認むる所なり、されど坊間未だ其完全なるもの  
 發せざるを以て、未だ其如何なるものか、其製作  
 利便なるを聞くも、未だ其如何なるものか、其製作  
 せざる者多し、適々之を知るに、其如何なるものか、  
 入るに自ら之を爲さざるべからざるを以て、其製作  
 大なるに、辟易して完全なるものか、其如何なるものか、  
 十戰の盡力を得て、二十餘種百餘編、同科の友  
 涉獵し、一枚のカードとし、文例三句、悉くこれに  
 收めて、示し、且つ動詞の形、容詞の度、迄、五區  
 ば、其譯を併記し、且つ動詞の形、容詞の度、迄、五區  
 總て之を併記し、且つ動詞の形、容詞の度、迄、五區  
 別し、別に使用説明書を添附せり、各自己に  
 り高等に至るまで、在ゆる階級の英語生は、各自に  
 り種類を購求せ、即ち得べく、其カード式、暗誦の便  
 功大なる新法を實行し、得べく、其カード式、暗誦の便  
 其ナレツテ堅實ならしむる事を得べし。

東京市麴町區富士見町六丁目十番地

## 英語研究社

振替口座東京一八二三六番

何れを求むべき?

中學上級程度英語雜誌!!!

# 新英語

第一卷第二號四月一日發行 每月一回一日發行  
 定價一冊金五錢 郵稅五厘 一年分郵稅共金六十錢

理想的初等英語雜誌!!!

# 初等英語研究

第三卷第四號四月一日發行 每月一回一日發行  
 定價一冊金六錢 郵稅五厘 一年分郵稅共七十錢

第一讀本程度英語雜誌!!!

# 初步英語

第二卷第一號四月一日發行 每月二回一日、十五日  
 定價一冊金三錢 郵稅五厘 一年分郵稅共七十六錢

發行所

英語研究社

振替口座東京一八二三六番

東京市麴町區富士見町六丁目十番地

發行書目

英語研究 記者編輯 **初等英語叢書** 每冊約百五十頁 價廿五錢 郵稅四錢  
 英語初學者の爲めに未だ斯くの如く親切に斯くの如く解り易く説明したるものなし、毎編好評如潮十數版を重ねるものあるに至れり

- 1 初等英文作文の話 第十三版
- 2 初等英文法の話 第十三版
- 3 西洋幽霊の話 第四版
- 4 ローマ字の話 第二版
- 5 第二英文作文の話 第四版
- 6 第二英文法の話 第四版
- 7 アラデインのラムプ 第三版
- 8 ロビンソンクルイソ 第三版
- 9 第三英文作文の話 第三版
- 10 第三英文法の話 第三版
- 11 後のロビンソン 第二版

萬朝報英文記者今井信之先生著 (第四版) 總クローヌ製金字入 價五十錢 郵稅六錢  
 中學 **英文獨習書**  
 萬朝報英文記者今井信之先生著 (第三版) 總クローヌ製金字入 價六十五錢 郵稅六錢  
 英語 **紙の研究**  
 本多孝一先生著 (第三版) 總クローヌ製美裝 價廿五錢 郵稅二錢  
 會話作文 **英文暗記法**  
 應用自在  
 發行所 東京麴町區 富士見町 英語研究社

中等教科 **カード式參考書目錄**

- ▲日本史 全二綴 ▲國文法 全二綴
  - ▲東洋史 全一綴 ▲漢文故事 全一綴
  - ▲西洋史 全二綴 ▲漢文難語 全一綴
  - ▲日本地理 全二綴 ▲英文法 全一綴
  - ▲外國地理 全二綴 ▲算術 全二綴
  - ▲地文學 全一綴 ▲代數學 全三綴
  - ▲鑛物學 全一綴 ▲幾何學 全三綴
  - ▲動物學 全一綴 ▲三角法 全一綴
  - ▲植物學 全一綴 ▲物理學 全二綴
  - ▲生理學 全一綴 ▲化學 全二綴
- 正價各金拾六錢 ●郵稅各二錢宛

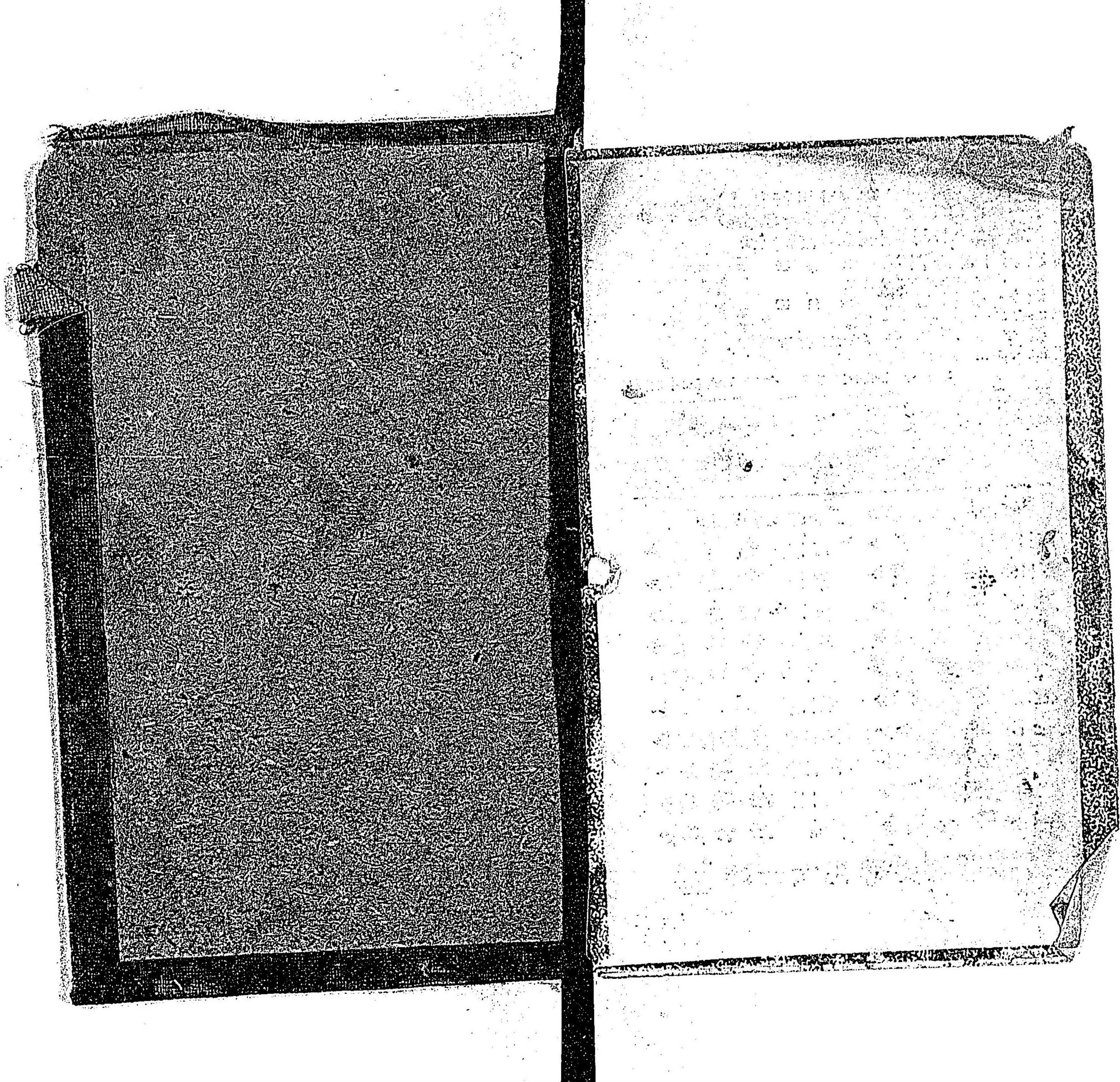
記入用 **白カード紙** 百枚綴定價金拾錢  
 罫線入 前記參考書の補充用紙也  
 平野式 **カードブック** 五十枚綴布表紙金十五錢  
 綴 參考書の補充別綴に便也

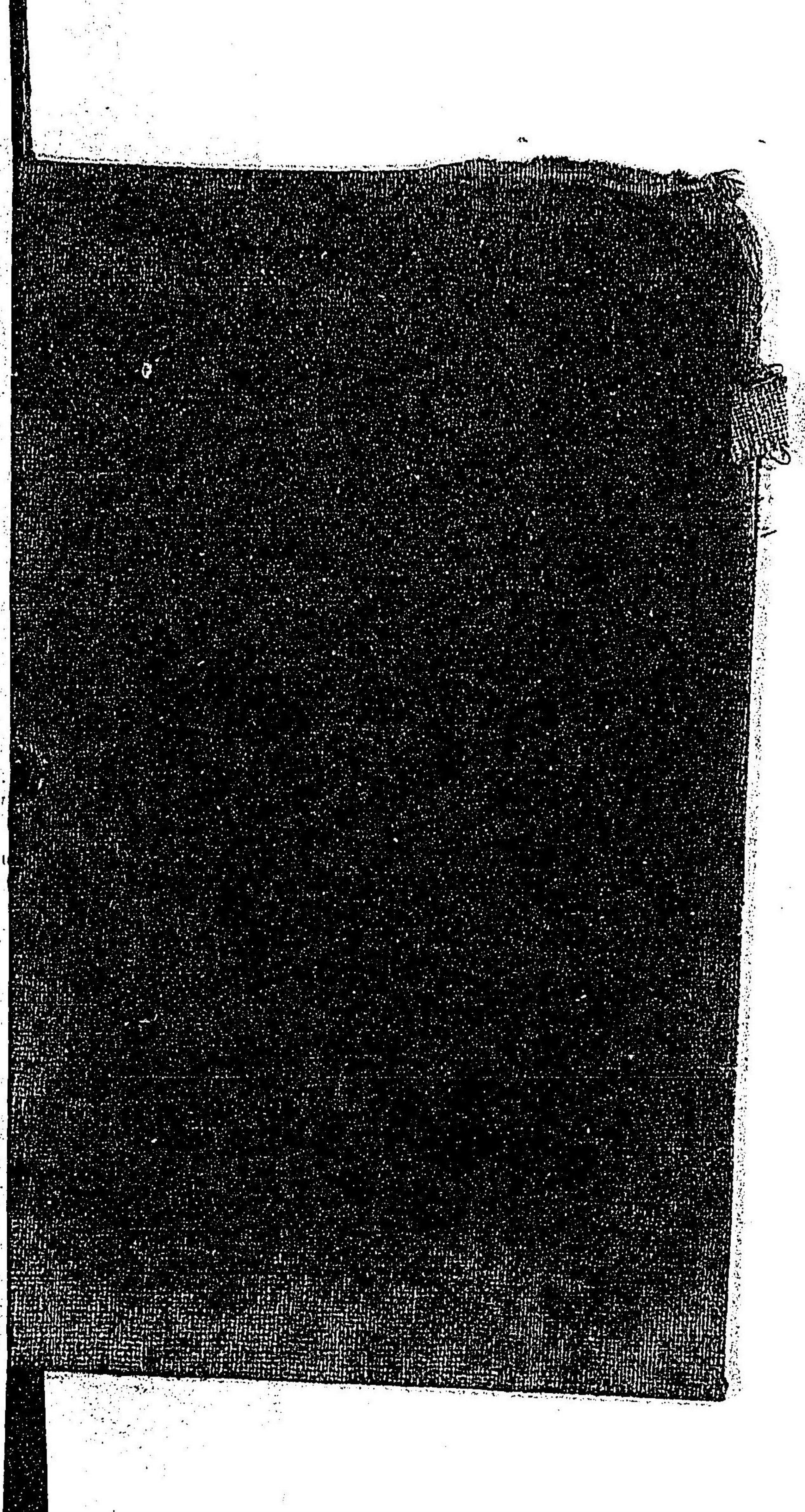
明治四十三年七月十二日印刷

明治四十三年七月二十日發行

編輯發行者 小酒井五一郎  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町二丁目  
 印刷所 飯田三千太郎  
 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目  
 市麴町區富士見町六丁目十番地  
 (座東京 三三六) **英語研究社**







發行の要旨及使用法

本綴は學生諸氏が繁雜なる復習を容易にし、記憶力を増進せしめんが爲に、從來の類書と異りたる新形式を以て編輯せられたるものなり。蓋力カード式の便利は何人も認むる所なれども、未だ各學科に亘れるものなきを遺憾とし、多年教授に經驗ある各專門大家に執筆を請ひ、綴り方に就き幾多の新工夫を凝らしたるもの即ち本綴なりとす。是れが使用法等に就きては、使用者自ら便宜の方法を執るべきも試みに其一二の例を示さん。

一 使用者は、カード表面の略表に依りて、其實を答へ、後裏面を見て答の正否を檢すべし。

一 右の方法に依り、毎日カードの數を定めて順序に復習し、記憶し終はりたる物は位置を換へ、記憶し難き物は殘し置きて更に復習すべし。

一 又各學科中より、特に復習せんとする部分又は記憶し難きもの、みを蒐めて練習するも一方法たり。

一 斯くして記憶し得たらば、左欄の參考問題につきて更に練習を試むべし。答案はカード中にて解するを得ん。

一 一學科の全體を通覽せんと欲せば、カードの裏面のみを見るべし。疑問あらば索引に依りて同じくカードの裏面を見ん、直に氷解すべし。

一 各教科書中の事項は網羅したれども尙數學に於ける問題の如き遺漏は使用者自らカードを製し、充分に補足して、完全のものとなせらるべし。

一 右の便利を計らん爲、本社に於て、同形同質の紙に罫を引き、穴を穿ち實費を以て發賣せり。

(實用新案登録一一六五一號)

新式日本地理下啓自火

近畿地方 山系 全  
 中國地方 水系 全  
 中國地方 總論 全

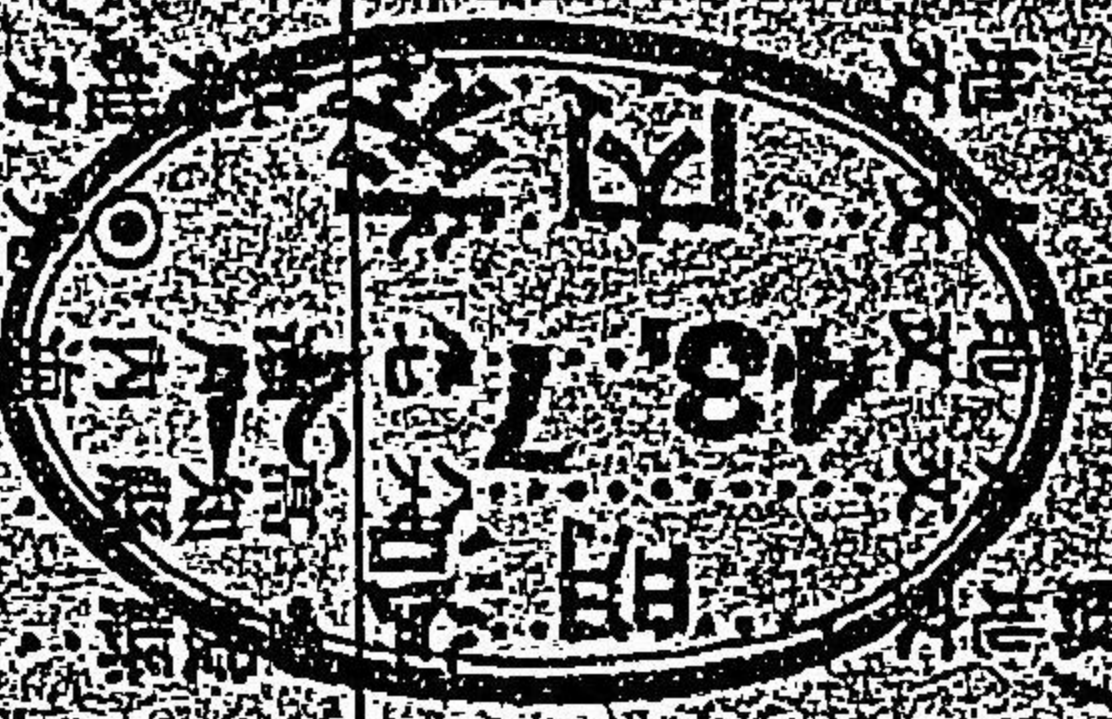
鳥取縣 人文 全  
 島根縣 人文 全  
 岡山縣 人文 全

三重縣 地文 全  
 京都府 地文 全  
 山形縣 物産交通 全

奈良縣 地文 全  
 京都府 人文 全  
 四國地方 總論 全

和歌山縣 地文 全  
 京都府 人文 全  
 香川縣 地文 全

大阪府 地文 全  
 兵庫縣 地文 全  
 九州地方 地文 全



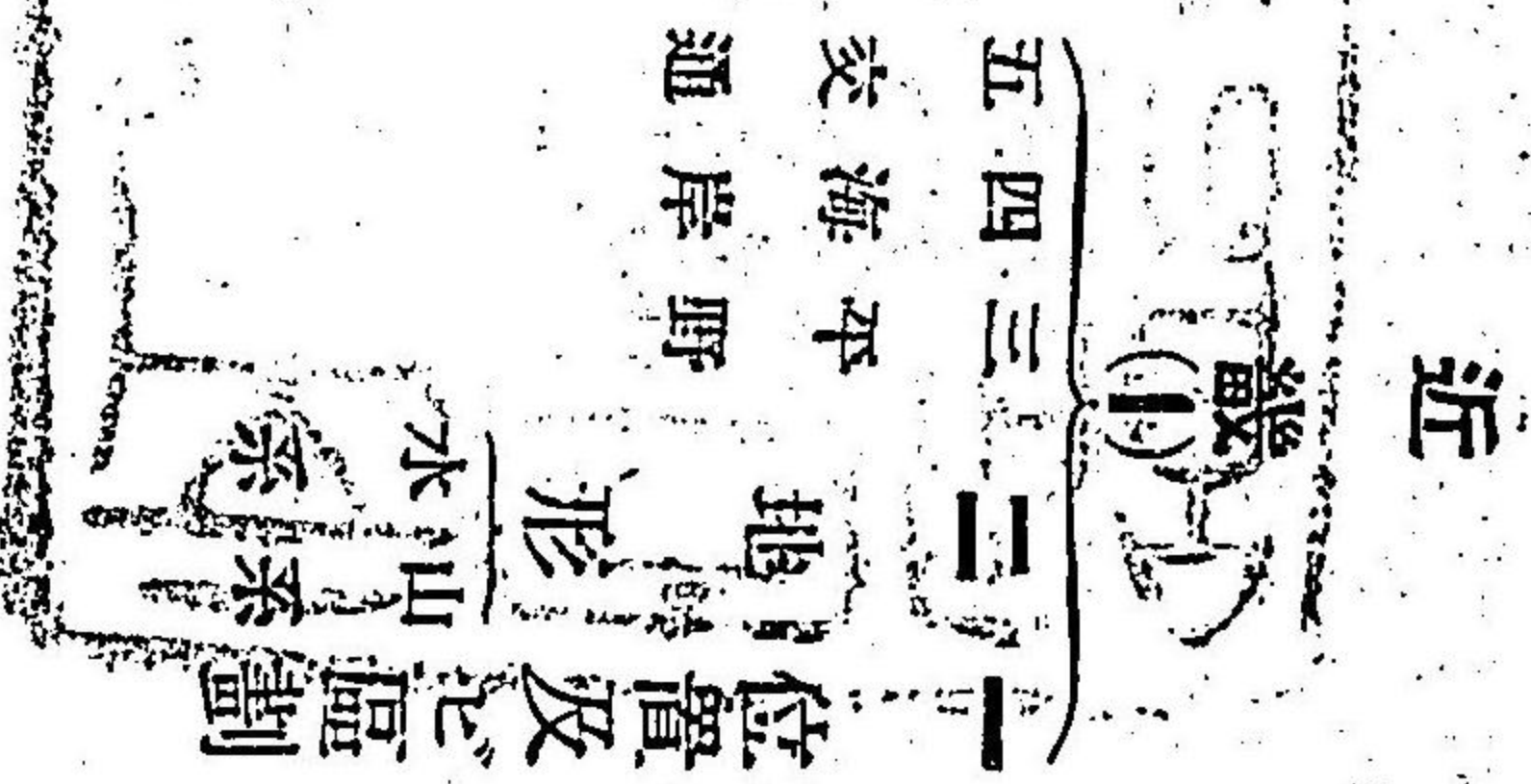
105  
104  
103  
102  
101  
100  
99  
98  
97  
96  
95  
94  
93  
92  
91  
90  
89  
88  
87  
86  
85  
84  
83  
82  
81  
80  
79  
78  
77  
76  
75  
74  
73  
72  
71  
70  
69  
68  
67  
66  
65  
64  
63  
62  
61  
60  
59  
58  
57  
56  
55  
54  
53  
52  
51  
50  
49  
48  
47  
46  
45  
44  
43  
42  
41  
40  
39  
38  
37  
36  
35  
34  
33  
32  
31  
30  
29  
28  
27  
26  
25  
24  
23  
22  
21  
20  
19  
18  
17  
16  
15  
14  
13  
12  
11  
10  
9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1



カ1下式日本地理下級 目次表

全	(2) 山系水系	三〇五
全	(3) 氣候人文	三〇五
全	福岡縣 總論	三〇九
全	交通線下都會	三二〇
全	都會	三二二
全	北海道地方	三二二
全	北海道總論(1) 地形	三二六
全	(2) 氣候物產	三三三
全	(3) 人文	三三三
全	(1) 都會	三三三
全	(2) 都會	三三三
全	◎福太南部	三三三
全	福太南部地方	三三三
全	人文	三四一
全	◎概括	三四一
全	(1) 住民	三四三
全	(2) 政治卜軍備	三四三
全	(3) 條約國卜開港場	三四三
全	(4) 日本近海	三四三
全	(5) 教育	三四三
全	(6) 物產	三四三
全	◎臺灣地方	三四三
全	臺灣總論(1) 地文	三四三

一	參考問題	二一
二	近畿地方ノ位置ニツキテ記セ	二一
三	區劃ハ如何	二二
四	何故三近畿地方ト稱スルカ	二三
五	畿内ト如何	二四
六	此ノ地方ヲ道分クニ分テ見ヨ	二五
七	此ノ地方ノ地形ノ特徴ハ何レニアルカ	二六
八	其ノ適例二三ヲ示セ	二七
九	琵琶湖及淀川ノ低地帯ヲ界トシテ地形ヲ分テ	二八
一〇	丹波高原ノ特性ヲ擧グヨ	二九
一一	斷層山脈トハ何ゾ	三〇
一二	斷層山脈トハ何ゾ	三一
一三	笠置山脈ヲ説明セヨ	三二
一四	近畿地方ニ於テ名高キ關址ヲ記セ	三三
一五	紀伊山脈ニツキテ記セ	三四
一六	吉野群山ニツキテ記セ	三五



(日本地理七一)